SONY

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ　KDL-40X1/46X1/52X1/46XR1/55XR1

SONY

4-113-150-06(1)

BRAVIA

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン
液晶テレビ　取扱説明書

KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-52X1/
KDL-46XR1/KDL-55XR1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2 ～ 5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。166ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検チェックリスト」（168ページ）に従って点検してください。
1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビを見ているときや、スタンバイ状態（画面が消えていて、本体のスタンバイランプが赤色に点灯中）のときに、テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーご相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災･感電･破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災･感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

風呂･シャワー室での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

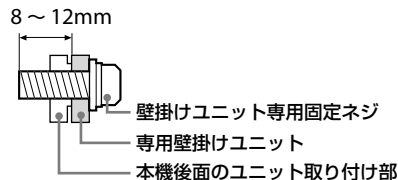
下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

次のことを守って、スタンドや壁掛けユニットに本機を設置する

誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

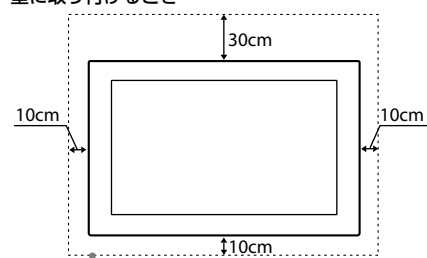
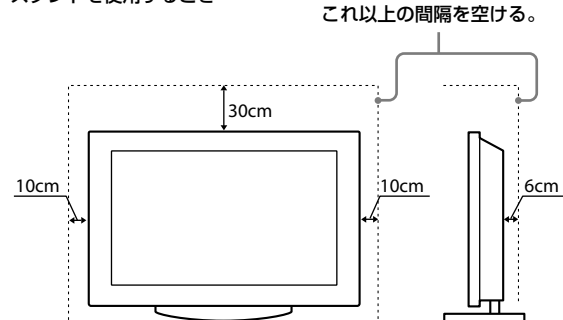
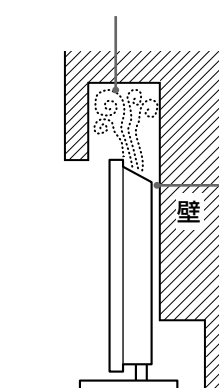
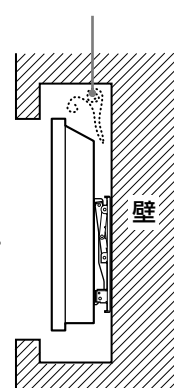
- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジをご使用ください。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが、8 ～ 12mmに設定されています（壁掛けユニットによってネジ径やネジの長さは異なります）。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。
本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。
風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

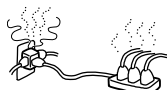
壁に取り付けるとき

スタンドを使用するとき

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。

電源（コード、プラグ）

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

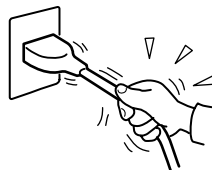
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口に交換をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

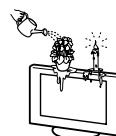
使用

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

移動、設置

正しい方法で運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
本機を持ち運ぶ際には、11 ～ 12ページをご参照の上、正しい方法で行ってください。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

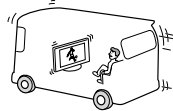
水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。
銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

禁止
乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

禁止
屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。
故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

禁止
本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。
ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。
また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。
蛍光管の種類によっては、水銀が含まれる場合があります。

禁止

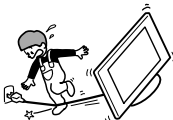
⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

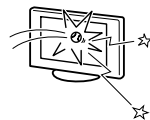
旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。
本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。
完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

禁止
液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

禁止
音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。
ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。
耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。
また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

目次

テレビを見るために準備する

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

他機器をつなぐ

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

基本的な使いかた

テレビを見る

見たい番組を探す

つないだ機器の映像を見る

ブラビアリンクについて詳しい説明
別冊の「ブラビアリンク接続･設定ガイド」

さまざまな設定／調整をする

次のページにつづく⇨

ネットワークで楽しむ

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

つないだ機器に映像を録画する

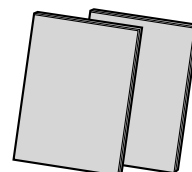
困ったときは

「Q&A」ホームページ
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

その他

付属品を確かめる

付属品一覧

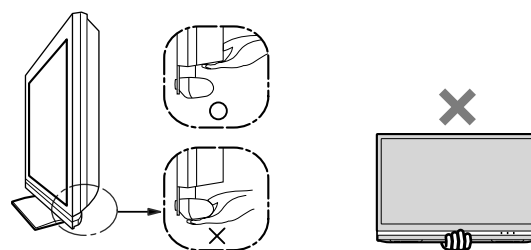
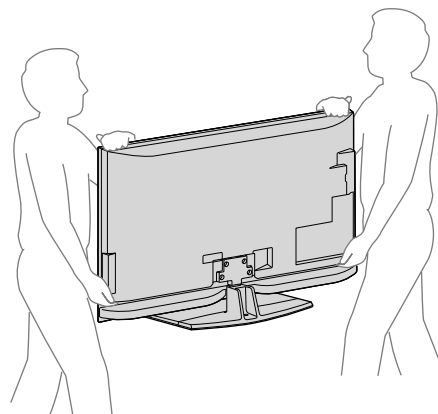
付属品	イラスト
• B-CAS(ビーキャス)カード(デジタル放送用ICカード)(1枚) • B-CAS用ユーザー登録はがき台紙(1枚)	B-CASカード
• マルチリモコン(1個) • 単4形乾電池(2個)	
• TVリモコン(1個) • 単3形乾電池(2個)	
• VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル(2.5m)(1本)	
• 電源コード(2m)(1本)	
• テーブルトップスタンド(1個) (KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-46XR1のみ)	 イラストはKDL-40X1の付属品です。
• 本体固定用ネジ(4本) (KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-46XR1のみ)	
• 転倒防止用ベルト(1本) • 取付用ネジ(M6×18mm)(1本) • 木ネジ(M3.8×20mm)(1本)	 取付用ネジ 木ネジ
• 取扱説明書 • かんたん設置ガイド • ブラビアリンク接続・設定ガイド • 保証書 • この機器の使用上の注意ラベル (各1部)	

別売りアクセサリーについて

他の機器との接続(☞20、27ページ)には、別売りアクセサリーが必要です。本書記載の別売りアクセサリーは、2008年9月現在のものです。万一品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビの持ち運びかた

KDL-40X1/KDL-46X1/ KDL-52X1のとき

正しい方法で運搬／移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがや故障をすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

プラグをコンセントから抜く

スピーカー部分や透明部分を握らずに、本体下部を支える。

下側を持たないでください。

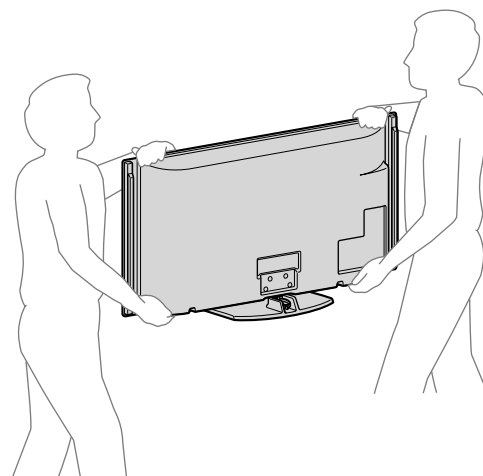
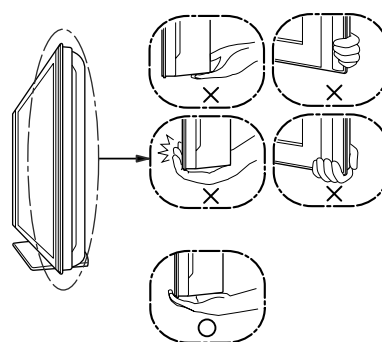
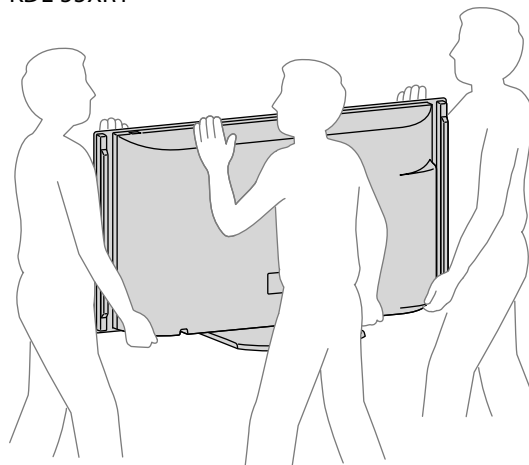
次のページにつづく⇨

KDL-46XR1/KDL-55XR1のとき

正しい方法で運搬／移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがや故障をすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人または3人以上で行ってください。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。
透明部分に力を入れるような持ちかたはおやめください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

プラグをコンセントから抜く

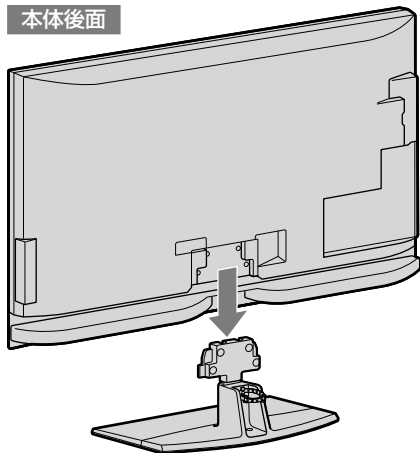
KDL-46XR1

KDL-55XR1

スピーカー部分や透明部分を握らずに、本体下部を支える。

スタンドの付けかた／はずしかた

スタンドの付けかた（KDL-40X1/KDL-46X1のとき）

本体を付属のテーブルトップスタンドに取り付けます。
取り付ける前に、付属のネジに合ったドライバーをご用意ください。

1 本体をスタンドに載せる。

本体後面のスタンド差し込み口にスタンドの接合部を合わせて、本体を載せてください。
必ず2人以上で行ってください。

ご注意

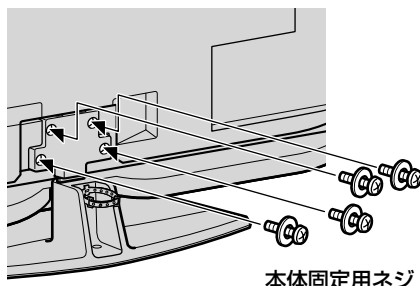
片方の手で底面を持ち、もう片方の手で本体上部を支えてください。

本体後面

2 本体とスタンドを本体固定用ネジ4本で固定する。

⬆の位置で本体固定用ネジを締め、スタンドを固定してください。

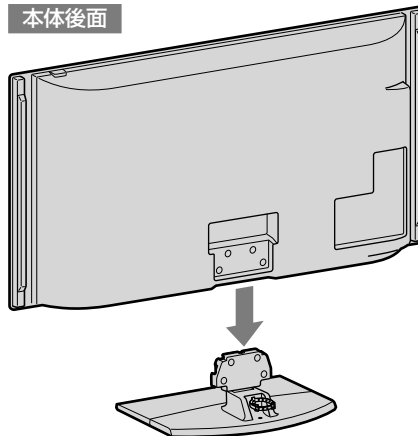
本体後面

ご注意

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N·m {15kgf·cm} に設定してください。

スタンドの付けかた（KDL-46XR1のとき）

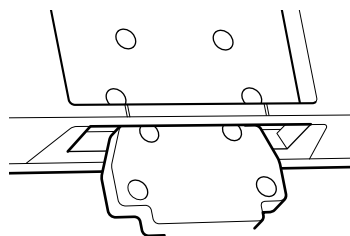
本体を付属のテーブルトップスタンドに取り付けます。
取り付ける前に、付属のネジに合ったドライバーをご用意ください。

1 本体をスタンドに載せる。

本体後面に差し込み口の目印となる2本線があります。スタンドの接合部の真上に、この2本線を合わせて、本体を載せてください。
必ず2人以上で行ってください。

ご注意

片方の手で底面を持ち、もう片方の手で本体上部を支えてください。

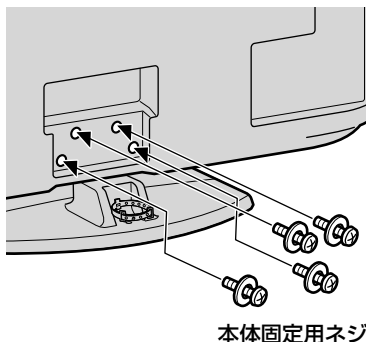
本体後面

下から見た図

次のページにつづく⇨

2 本体とスタンドを本体固定用ネジ4本で固定する。

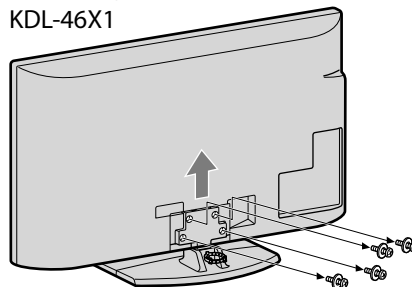
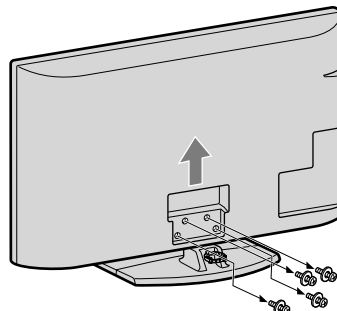
⬆の位置で本体固定用ネジを締め、スタンドを固定してください。

本体後面

ご注意

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N·m {15kgf·cm} に設定してください。

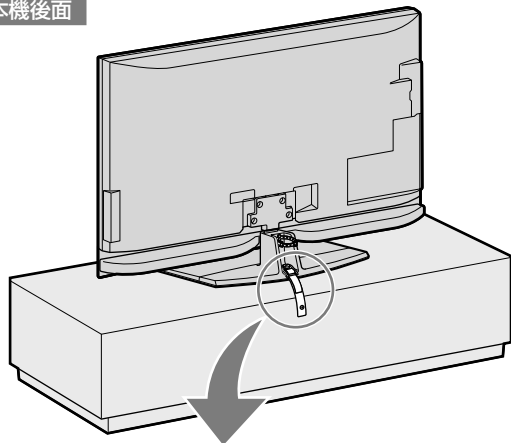
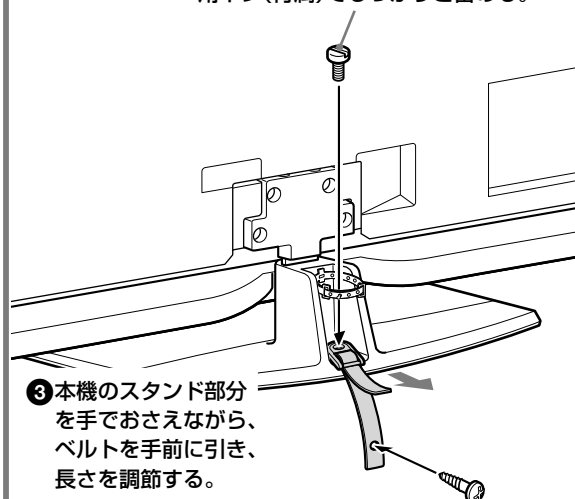
スタンドのはずしかた

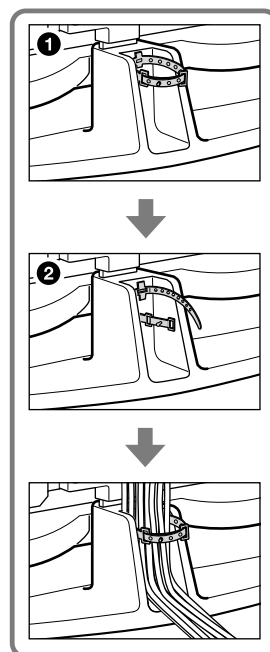
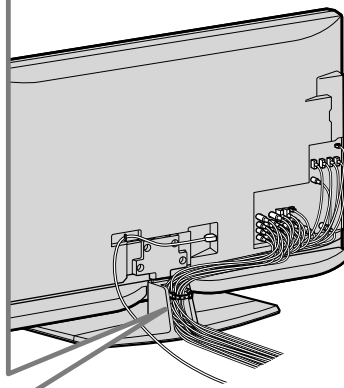
本機を壁にかけるときや別売りのフロアスタンドを使うときは、スタンドをはずしてください。

⬆の位置の本体固定用ネジをはずしてください。

ご注意

- 液晶画面を下にして置かないでください。
  スピーカー部分が変形することがあります。
- とりはずしたスタンドのネジは、壁掛けユニットやフロアスタンドの取り付けに使用しないでください。

転倒防止の処置をする

スタンドとテレビ台などに付属の転倒防止用ベルトを取り付けて、本機が転倒しないようにします。

ケーブルをまとめる

本機はワイヤークランパーを使って、ケーブル類をすっきりまとめられます。
ただし、電源コードはこのワイヤークランパーでまとめないでください。

壁に掛けるとき

本機を壁に掛けて使用するときは、必ず下記の別売りの壁掛けユニットをご使用ください。
SU-WL500
(2008年9月現在)
詳しくは、壁掛けユニットの取扱説明書や本書の「別売りアクセサリーを取り付ける」(☞152ページ)をご覧になり、正しい手順で作業してください。
壁掛けユニットの取り付けは、お買い上げ店や工事店にご依頼ください。

ご注意

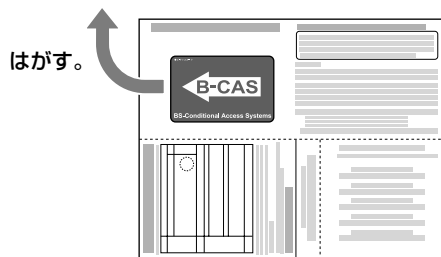
- 転倒防止の処置をしないと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。
- テレビ台の種類により、付属の木ネジが使用できないときや、強度が充分とれないときには、お買い上げ店や工事店にご相談の上、市販のネジ(直径3 ~ 4mm)をご使用ください。

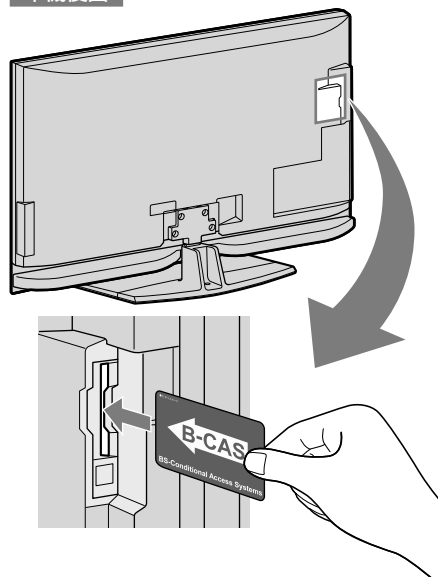
B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。
デジタル放送を視聴するしないに関わらず、必ずB-CASカードを挿入してください。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 同封の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。

2 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

本機後面

上の図のとおり、印刷された矢印の方向に挿入する。

3 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがき、または台紙に記載されたホームページから、ユーザー登録する。

登録は任意で無料です。

ご注意

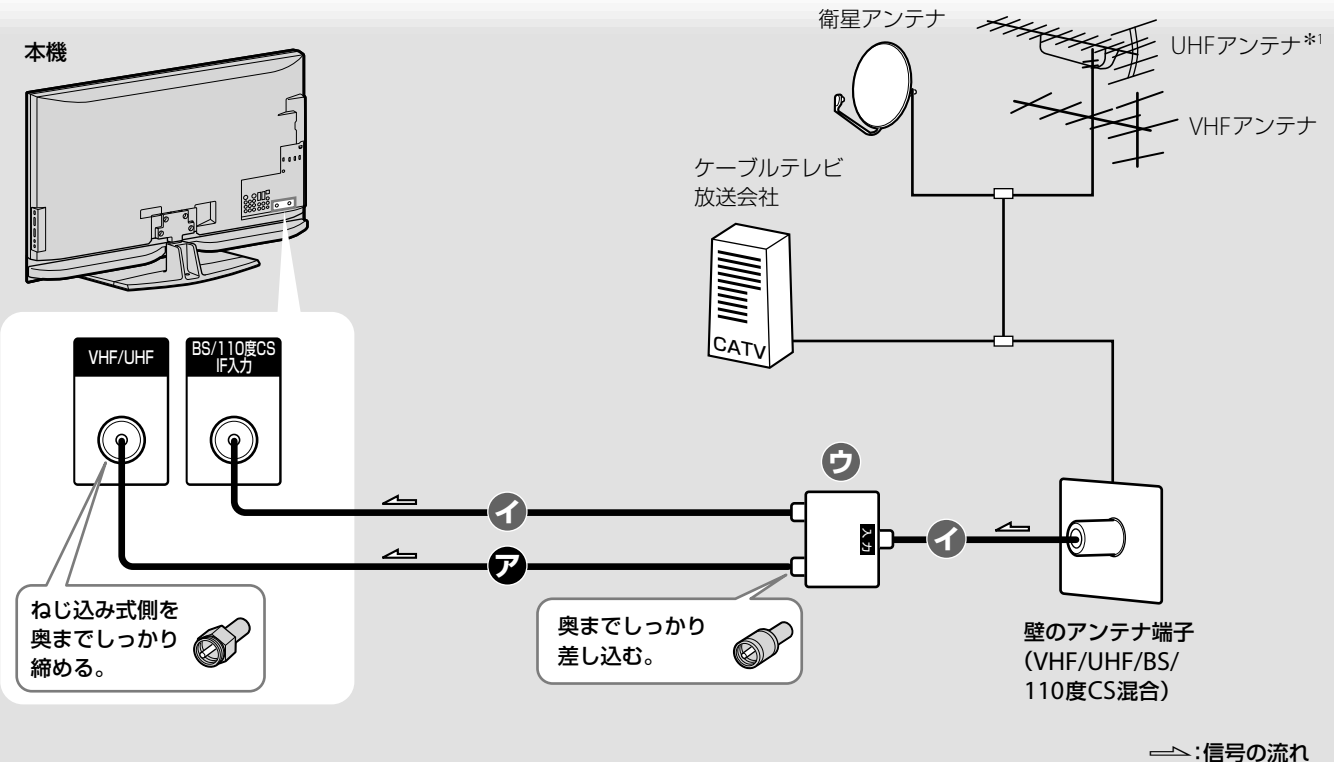
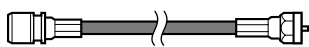
- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用しています。
  B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を視聴できなくなります。
- 2004年4月からデジタル放送には、「一回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。詳しくは、「録画制限と著作権保護について」(☞136ページ)および録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2008年7月より、一部のデジタル放送には「ダビング10」のコピー制御信号が加えられています。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

アンテナをテレビだけにつなぐ

録画／再生機器と接続する場合には、「アンテナをテレビと録画機器につなぐ」(☞20ページ)を参照してください。
アンテナを接続するときは、電源コードをコンセントにつないでおかないでください。

地上波と衛星放送の信号が混合の場合

:信号の流れ

付属

ア VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル(1本)

別売り

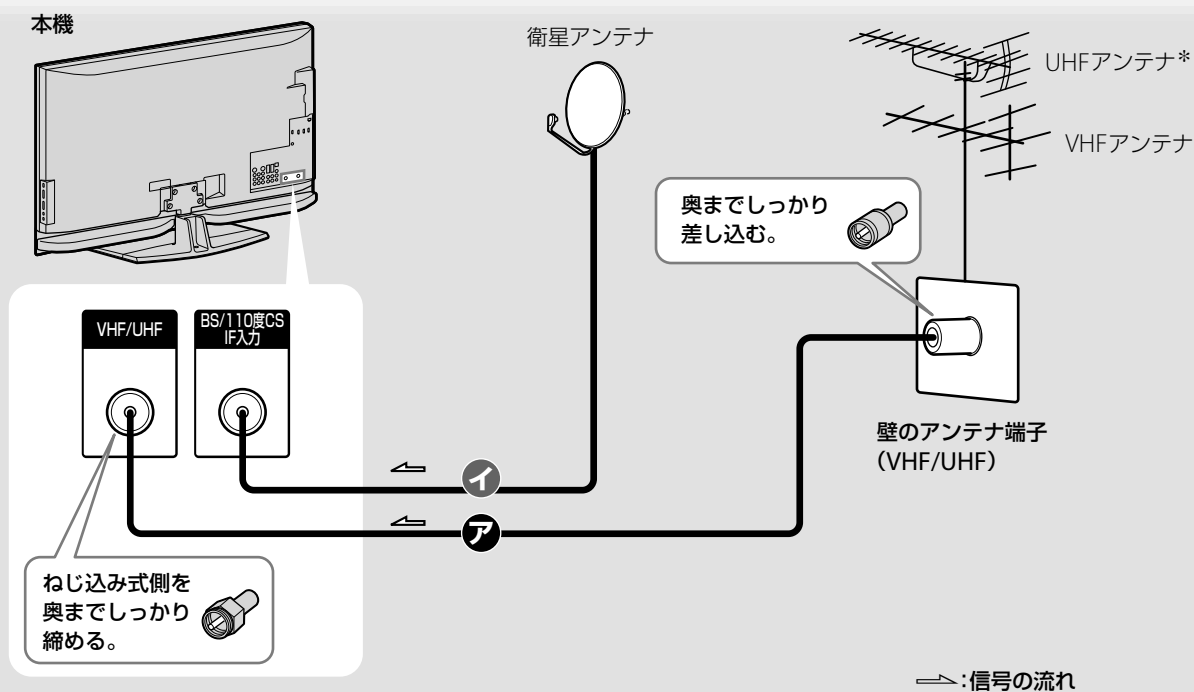
イ 衛星用同軸ケーブル(2本)

ウ 全端子電流通過型のCS／BS／地上波放送対応分配器(EAC-DSD12など)(1個)*2

*1 地上デジタル放送を受信します。
*2 110度CSデジタル放送に対応したCS／BS／地上波放送対応分波器(EAC－DSSM2など)もご使用できます。

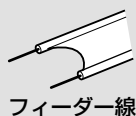
ご注意

- 電波干渉を防ぐためにアンテナ線は電源コードからなるべく離してください。
- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、受信エリア内であってもアンテナ設置状態、屋内配線状態でうまく映らなかったり、画面が乱れたりすることがあります。お買い上げ店などにご相談ください。
- BS/110度CS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。
- 衛星用同軸ケーブルを接続する際には、同軸ケーブルの芯線が曲がらないよう、端子やコネクターに正しく差し込んでください。曲がると金属部分に触れ、ショートの原因となります。

- ショートすると画面に表示が出て、本機前面の電源／録画予約／録画ランプが緑色に点滅しますので、「故障かな？と思ったら」(☞129ページ)をご覧になり対処してください。

地上波と衛星放送の信号が個別の場合

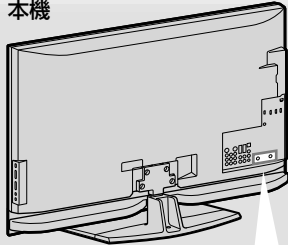
＊ 地上デジタル放送を受信します。

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

アンテナをテレビと録画機器につなぐ

アンテナを接続するときは、電源コードをコンセントにつないでおかないでください。

地上波と衛星放送の信号が混合の場合

本機

録画機器

衛星アンテナ

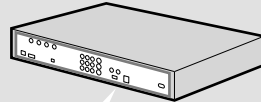
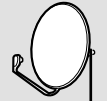
UHFアンテナ*

VHFアンテナ

VHF/UHF

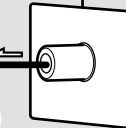
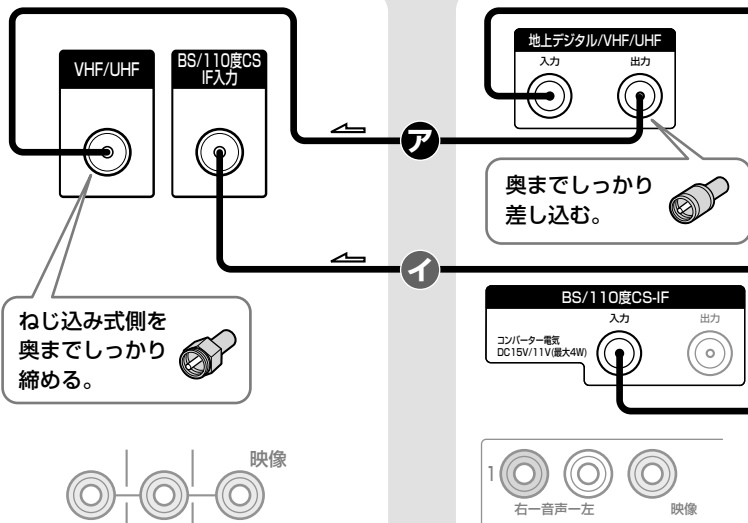
BS/110度CS IF入力

地上デジタル/VHF/UHF 入力 出力

奥までしっかり差し込む。

ケーブルテレビ放送会社

壁のアンテナ端子（VHF/UHF/BS/110度CS混合）

BS/110度CS-IF 入力 出力

ねじ込み式側を奥までしっかり締める。

映像／音声端子をオ～ケのケーブルで接続してください。

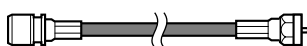
28ページ

⇐：信号の流れ

＊ 地上デジタル放送を受信します。

付属

ア VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

別売り

イ 衛星用同軸ケーブル（3本）

ウ 全端子電流通過型のCS ／ BS ／地上波放送対応分配器（EAC-DSD13など）（1個）

エ VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

ご注意

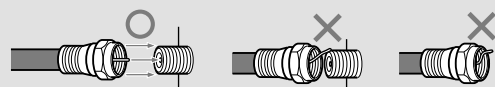
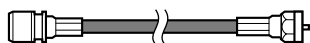
- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電波干渉を防ぐためにアンテナ線は電源コードからなるべく離してください。
- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、受信エリア内であってもアンテナ設置状態、屋内配線状態でうまく映らなかったり、画面が乱れたりすることがあります。お買い上げ店などにご相談ください。
- BS/110度CS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。
- 衛星用同軸ケーブルを接続する際には、同軸ケーブルの芯線が曲がらないよう、端子やコネクターに正しく差し込んでください。曲がると金属部分に触れ、ショートの原因となります。

- ショートすると画面に表示が出て、本機前面の電源／録画予約／録画ランプが緑色に点滅しますので、「故障かな？と思ったら」（☞129ページ）をご覧になり対処してください。

地上波と衛星放送の信号が個別の場合

付属

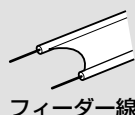
ア VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

別売り

イ 衛星用同軸ケーブル（3本）

ウ 全端子電流通過型のCS ／ BS ／地上波放送対応分配器（EAC-DSD12など）（1個）

エ VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

- 衛星アンテナから録画機器を経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につながないでください。110度CSデジタルを受信できないことがあります。

電源コードをつなぐ

KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-52X1のとき

すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつなぎます。

本機後面

KDL-40X1/KDL-46X1

AC IN

KDL-52X1

AC IN

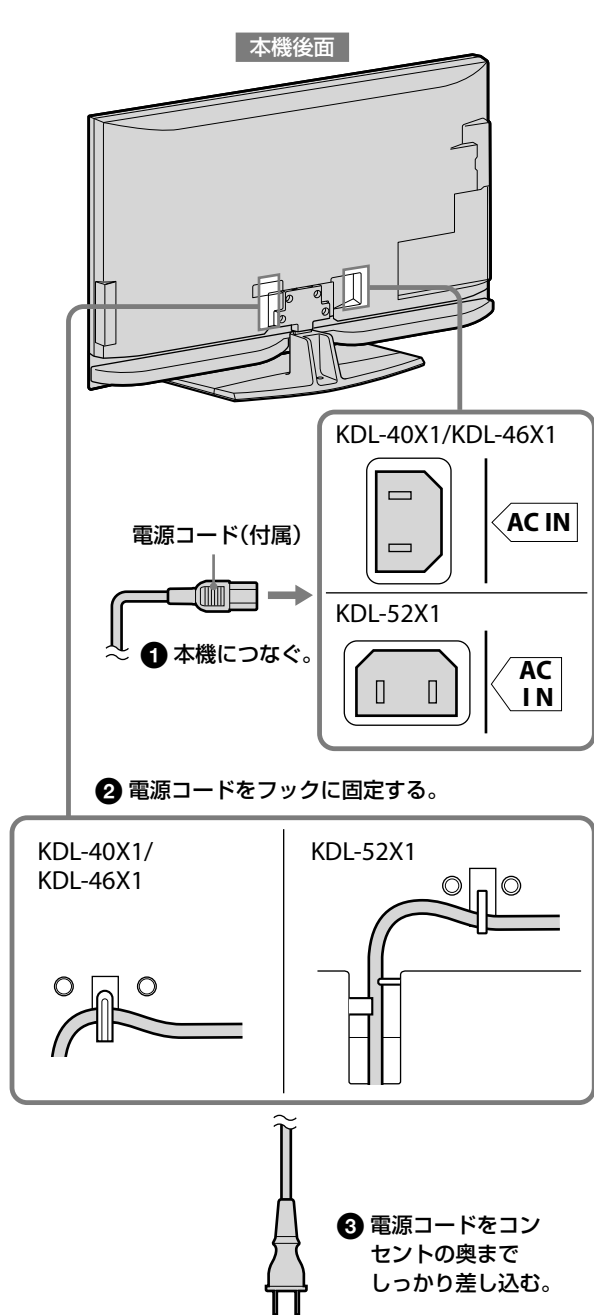
電源コード（付属）

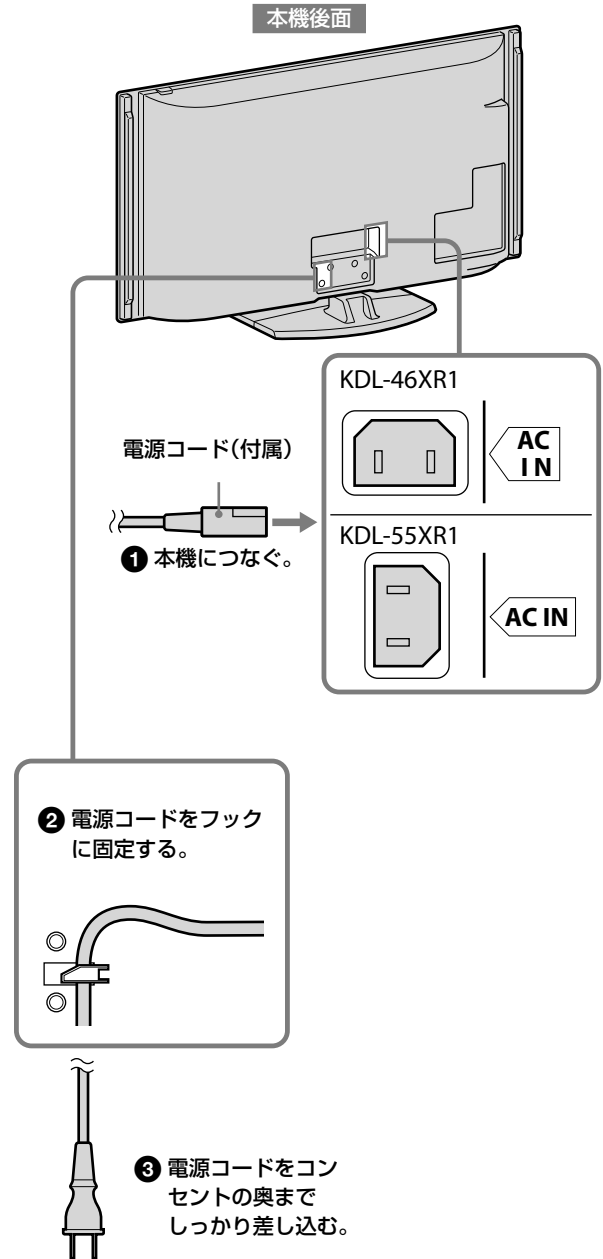
❶ 本機につなぐ。

❷ 電源コードをフックに固定する。

KDL-40X1/
KDL-46X1

KDL-52X1

❸ 電源コードをコンセントの奥までしっかり差し込む。

KDL-46XR1/KDL-55XR1のとき

すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつなぎます。

ご注意

DVDレコーダーなどの他機器をつなぐときも、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。

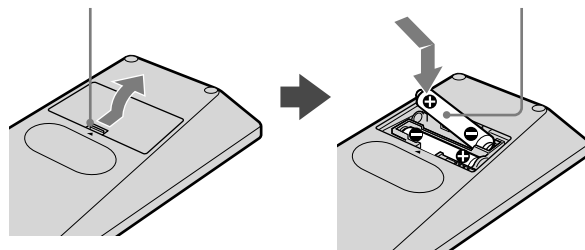
マルチリモコンを準備する

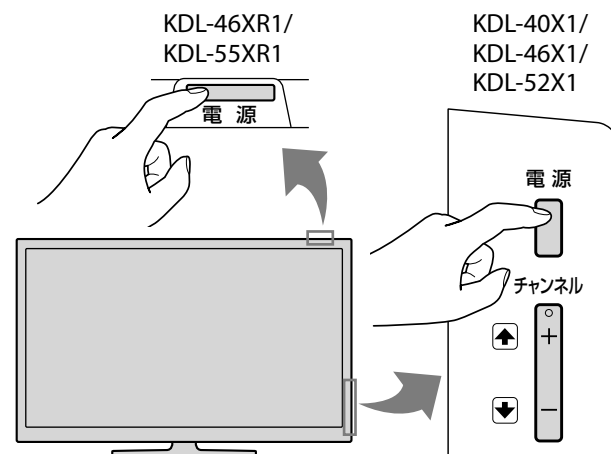
お買い上げ後初めて本機の電源を入れると、お使いになるために必要な設定が順番に表示されます。

- **マルチリモコン登録**
- **かんたん初期設定（☞24ページ）**
- **かんたん機能設定（☞26ページ）**

まず、付属のマルチリモコンを登録してください。

付属のマルチリモコンは、テレビ本体に登録しないと使用できません。

1 マルチリモコンに電池を入れる。

2 本体の電源スイッチを押す。

マルチリモコン登録画面が表示されます。

3 マルチリモコンのふたの中の TV を押しながら、（戻る）を押し続ける。

「登録を完了しました。」と表示されます。

引き続き［かんたん初期設定］（☞24ページ）を行ってください。

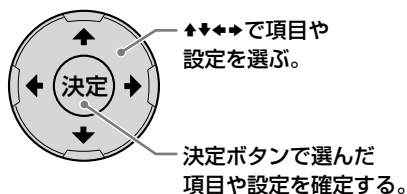
ご注意

- 再登録のときは、ホームメニューから（設定）→（かんたん設定）→［マルチリモコン登録］の順に選んでください。
- RFマークの付いた機器のみ登録や操作できます。登録方法について詳しくは、別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」や登録する機器の取扱説明書、または☞61ページをご覧ください。

かんたん初期設定をする

地上アナログ、地上･BS･110度CSデジタルの受信設定は、［かんたん初期設定］で一度にできます。画面のメッセージに従い、リモコンで設定してください。

↑↓←→で項目や設定を選ぶ。

決定ボタンで選んだ項目や設定を確定する。

1 かんたん初期設定を始める（画面1）。

画面1 かんたん初期設定開始	表示されたメッセージをよくお読みになり、→を押して、画面に従って設定してください。

2 地上アナログの受信設定をする（画面2 ～ 5）。

画面2 地上アナログ受信設定開始	［アナログ放送の設定をする］を選んでください。 ［デジタル放送の設定をする］を選ぶと、地上アナログの設定をせずに、地上デジタルの受信設定に進みます。
画面3 チャンネルの登録方法を選ぶ	［オート］は、受信地域を選んで登録できます。チャンネルスキャンしないので、かんたんにチャンネル登録できます。 ［スキャン］は、下記のようなときに選んでください。 ● 隣接地域の放送も受信したいとき ● ケーブルテレビ（CATV）のとき ● 受信地域がわからないとき 受信地域について詳しくは、「地域別チャンネル表」（☞143ページ）をご覧ください。
画面4 放送局の地域を設定する	お住まいの地域と放送局がある地域とで異なる場合があります。お住まいの地域で一般的とされている放送局所在地を選んでください。
画面5 登録チャンネルを確認する	登録されたチャンネルを手動で修正することもできます。

3 地上デジタルの受信設定をする（画面6 ～ 10）。

画面6 デジタル放送受信を選択する	［デジタル放送の設定をする］を選んでください。 ［画質モードの設定をする］を選ぶと、デジタル放送の設定をせずに、手順6（☞25ページ）に進みます。
画面7 受信地域を設定する	お住まいの地域のチャンネル設定のために必要です。
画面8 地上デジタル受信設定開始	［地上デジタル放送の設定をする］を選んでください。 ［BS･CS放送の設定をする］を選ぶと、地上デジタルの設定をせずに、BS･110度CSデジタルの受信設定に進みます。
画面9 チャンネルの登録方法を選ぶ	［オート］は、受信地域を選んで登録できます。 ［スキャン］は、下記のようなときに選んでください。 ● 初めてチャンネルを登録するとき ● 隣接地域の放送も受信したいとき ● 視聴する地上アナログ放送局の地域を選んでいないとき ● ケーブルテレビ（CATV）のとき ● 放送局が増えたとき ● 受信地域がわからないとき
画面10 登録チャンネルを確認する	［スキャン］を選んだときは、地上デジタルで受信できるチャンネルが表示されます。

4 BS･110度CSデジタルの受信設定をする（画面11 ～ 12）。

画面11 衛星受信設定開始	［BS･CS衛星アンテナレベルを確認する］を選んでください。 ［郵便番号の設定をする］を選ぶと、BS･110度CSデジタルの受信設定をせずに、郵便番号設定に進みます。
画面12 アンテナレベルを確認する	アンテナレベルを確認しながら、衛星アンテナの向きを調整します。できるだけ最大値に近くなるように調整してください。

5 郵便番号の設定をする（画面13）。

画面13 郵便番号を設定する	データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

テレビを見るために準備する

6 画質モードの設定をする（画面14）。

画面14 画質モードを設定する	お好みの明るさ、画質に設定します。ここで設定した画質モードは各放送と入力で共通になります。画質モードについては、☞75ページをご覧ください。

7 現在時刻の設定をする（画面15）。

画面15 現在時刻を設定する	デジタル放送受信中に自動で時刻を取得しなかったときに、手動で設定します。 デジタル放送を受信するときはこの設定は不要です。

8 かんたん初期設定を終了する（画面16）。

画面16 かんたん 初期設定終了	設定した放送を見ることができるようになります。

引き続き、より便利な機能設定を行うときは、［今すぐ設定をはじめる］を選んで、かんたん機能設定を始めます（☞26ページ）。
あとで、かんたん機能設定を行うときは、［今は設定しない］を選びます。
地上デジタルのチャンネルを今まで見ていた地上アナログのチャンネルと同じリモコンボタンに割り当てたいときは、☞右記をご覧ください。

マンションなどの共同受信システムの場合は

［BS/CS：衛星アンテナ設定］を［切］にしてください。
ホームメニューから（設定）→（アンテナ設定）→［BS/CS：衛星アンテナ設定］→［切］の順に選ぶ。

かんたん初期設定をあとでやり直すには

引越しなどでお住まいの地域が変わったときや地上デジタル放送が開始されたときは、かんたん初期設定をやり直してください。
ホームメニューから（設定）→（かんたん設定）→［かんたん初期設定］を選び、手順1 ～ 8（☞24ページ）を行う。

リモコンボタンに希望のチャンネルを割り当てる

数字ボタンのチャンネルは自動で割り当てられるので、お好みのチャンネルと異なることがあります。その場合は手動でお好みのチャンネルに変更してください。

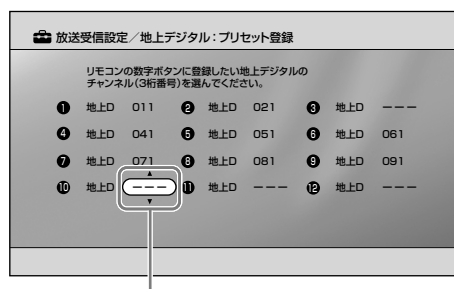
1 ホーム を押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

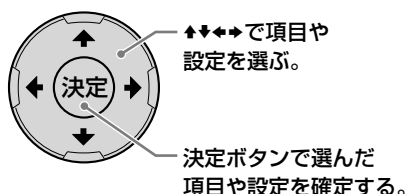
3 ↑↓で（放送受信設定）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓でチャンネルを変更したい放送のプリセット登録を選んで、決定を押す。

5 ↑↓←→で変更したい数字ボタンを選んで、決定を押す。

6 ↑↓で3桁のチャンネル番号を変更して、決定を押す。

10を押して051チャンネルを見たいときは、ここを「051」にする。

かんたん機能設定をする

より使いやすく、より便利な機能のために設定を行います。画面のメッセージに従い、リモコンで設定してください。

1 かんたん機能設定を始める。

画面1 かんたん機能 設定開始	表示されたメッセージをよくお読みになり、→を押して、画面に従って設定してください。

2 サラウンド自動切換を設定する。

画面2 サラウンド自動 切換設定	番組表のジャンル情報に応じて、サラウンド効果に切り換えて再生します。[サラウンド]については☞80ページを、[サラウンド連動設定]については☞81ページをご覧ください。

3 お好みナビを設定する。

画面3 お好みナビ設定	おすすめの番組をアイコンでお知らせします。お好みナビについては、☞47、90ページをご覧ください。

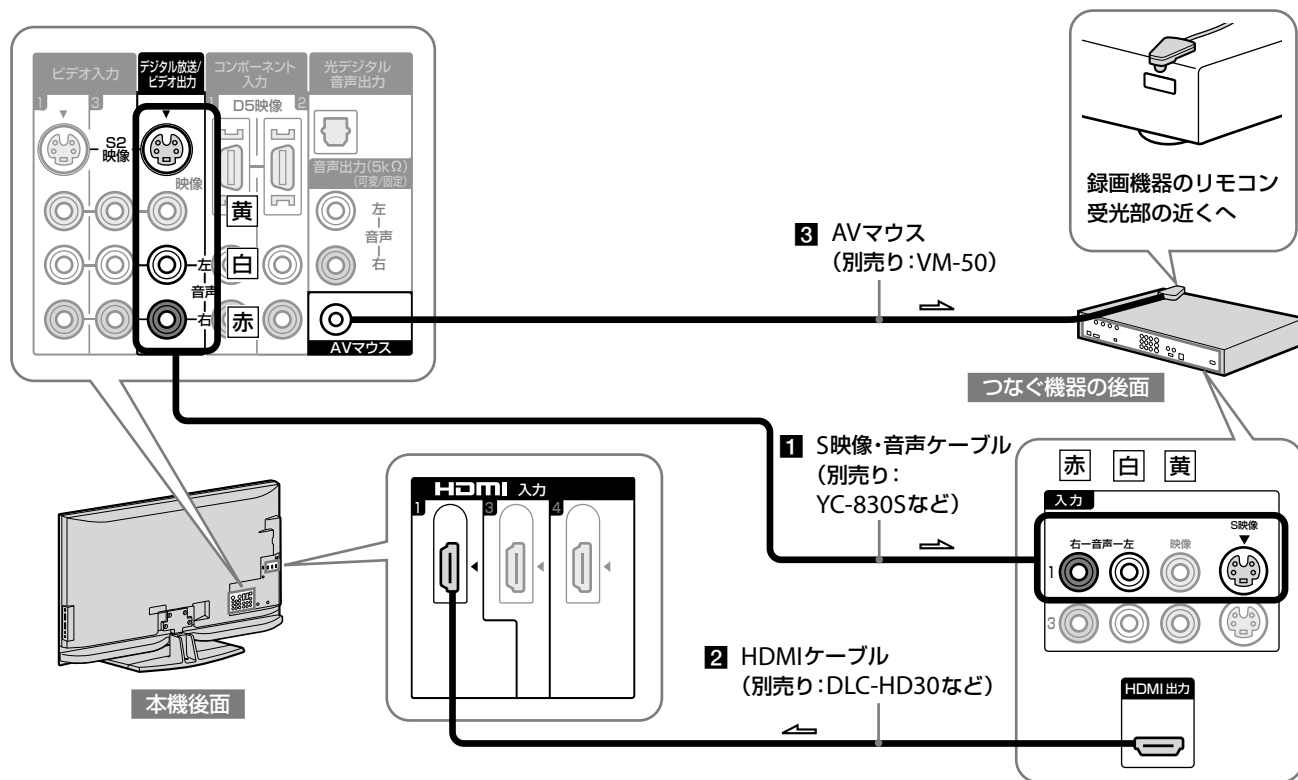
4 かんたん機能設定を終了する。

画面4 かんたん機能設 定終了	テレビを快適に使うための設定ができました。 これで、かんたん設定はすべて終了です。

デジタルチューナーのない録画機器をつなぐ

アナログチューナー内蔵の録画機器で録画をする場合は、以下のとおりつなぐと本機で録画予約設定できます。デジタルチューナー内蔵の録画機器をお持ちのかたは、録画機器側で録画予約設定してください。

この接続を推奨する映像機器

ビデオデッキやDVDレコーダーなどのアナログチューナー録画機器

:映像・音声信号の流れ

1 本機の映像を録画するための接続
デジタル放送のテレビ放送を録画(☞114ページ)するための接続です。

2 つないだ機器の映像を本機で再生するための接続
HDMI端子がない録画機器のときは、☞28ページをご覧ください。

3 AVマウスを使ってデジタル放送を録画予約するための接続
デジタル放送のテレビ放送を、本機と連動して録画予約できます。AVマウスの設定もしてください(☞91ページ)。シンクロ録画機能(☞114ページ)を使って録画予約するときはつながないでください。

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- DVDレコーダーなどの他機器をつなぐときも、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。
- 本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりすることがあります。また、本機の映像信号を、録画機器を経由して外部モニターに出力すると、録画防止機能のため画像が乱れる場合があります。その場合、本機の映像出力端子から外部モニターに直接接続してください。

ちょっと一言

- HDMI端子のない機器をビデオ1入力につないだときは、[ビデオ1出力の設定]を[ビデオ1出力なし]にしてください(☞92ページ)。
- S映像ケーブルでつないだときは、つないだ機器側で映像入力の設定が必要になることがあります。
- アンテナの接続については☞20ページをご覧ください。

本機で再生するために録画／再生機器をつなぐ

録画／再生機器にある映像端子と音声端子に応じて、以下のいずれかのケーブルでつないでください。

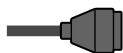
別売り

オ HDMIケーブル（1本）

ご注意

- ソニー製のHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。（推奨：DLC-HDシリーズ2008年9月現在）
- 市販のHDMIケーブルの中には、取り付けられないものもありますのでご注意ください。
- HDMI機器制御に対応したオーディオ機器をつないだときは、光デジタル接続ケーブルで音声の接続もしてください（☞30ページ）。

別売り

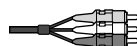
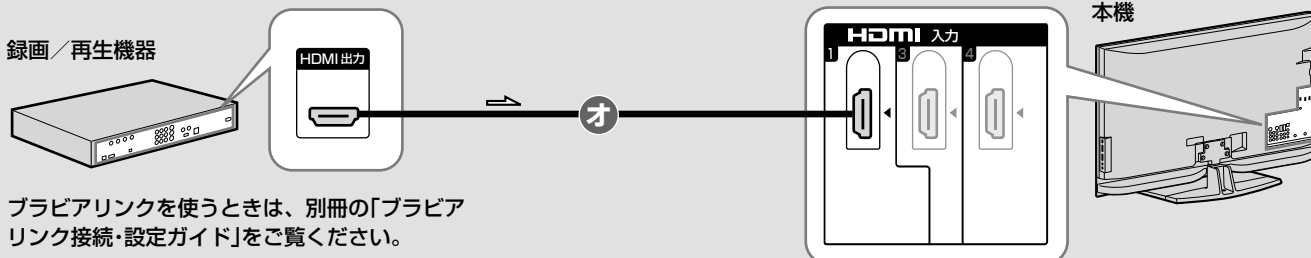
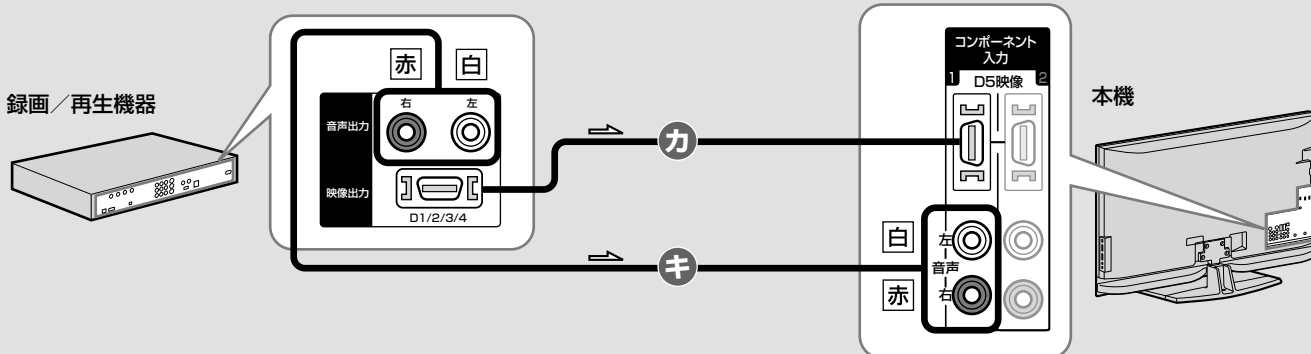
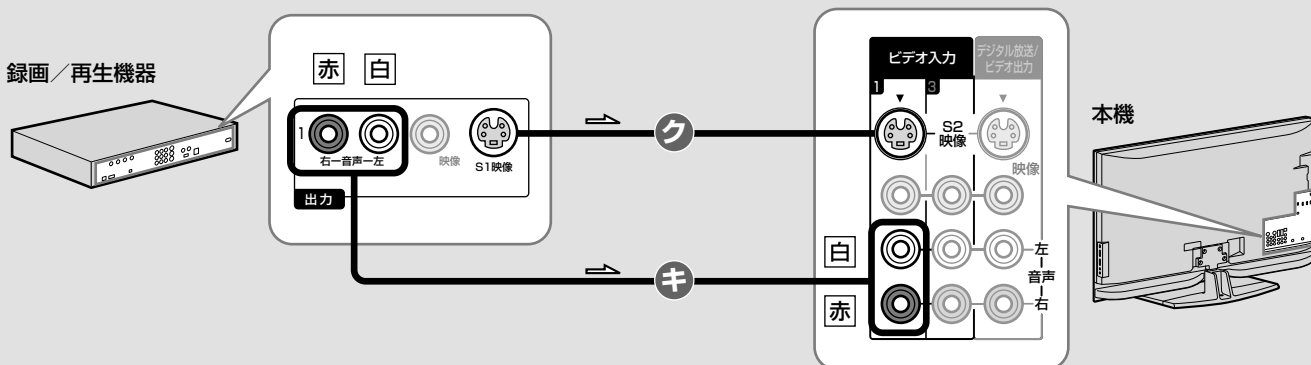
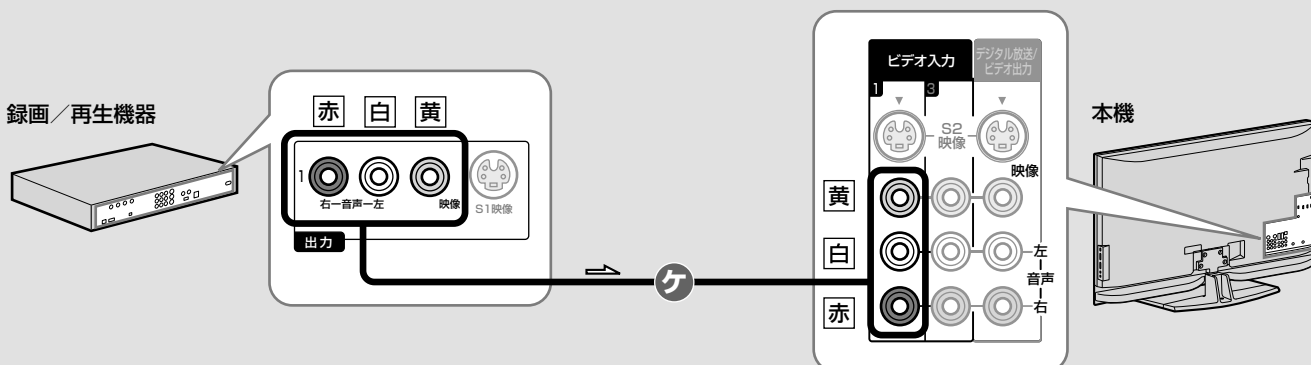
カ D映像ケーブル（1本）

キ 音声ケーブル（1本）

別売り

ク S映像ケーブル（1本）

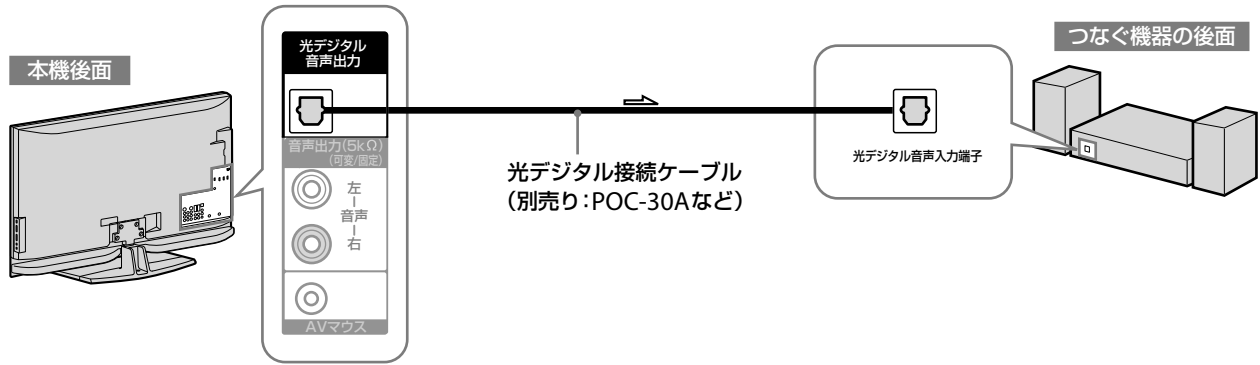
キ 音声ケーブル（1本）

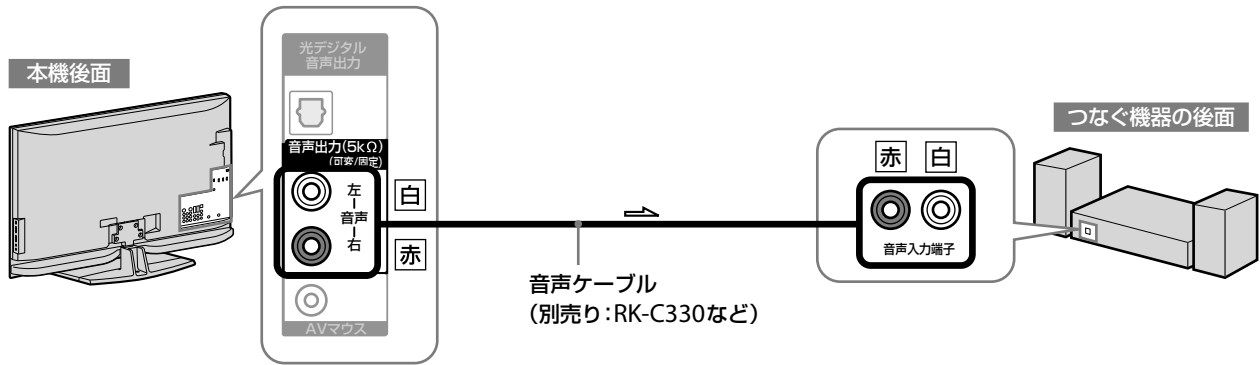
別売り

ケ 映像／音声ケーブル（1本）

録画／再生機器
HDMI出力
オ
入力
本機
ブラビアリンクを使うときは、別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」をご覧ください。
録画／再生機器
赤
白
右
左
音声出力
映像出力
D1/2/3/4
カ
キ
コンポーネント入力
D5映像
白
赤
左
音声
右
本機
録画／再生機器
赤
白
右ー音声ー左
映像
S1映像
出力
ク
キ
ビデオ入力
デジタル放送/ビデオ出力
S2映像
映像
白
赤
左
音声
右
本機
録画／再生機器
赤
白
黄
右ー音声ー左
映像
S1映像
出力
ケ
ビデオ入力
デジタル放送/ビデオ出力
S2映像
映像
黄
白
赤
左
音声
右
本機
：映像・音声信号の流れ

他機器をつなぐ

オーディオ機器をつなぐ

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐとき

光デジタル音声入力端子を持つAVアンプや、ホームシアター機器などをつなぎます。

:音声信号の流れ

その他のオーディオ機器(2ch入力対応)をつなぐとき

:音声信号の流れ

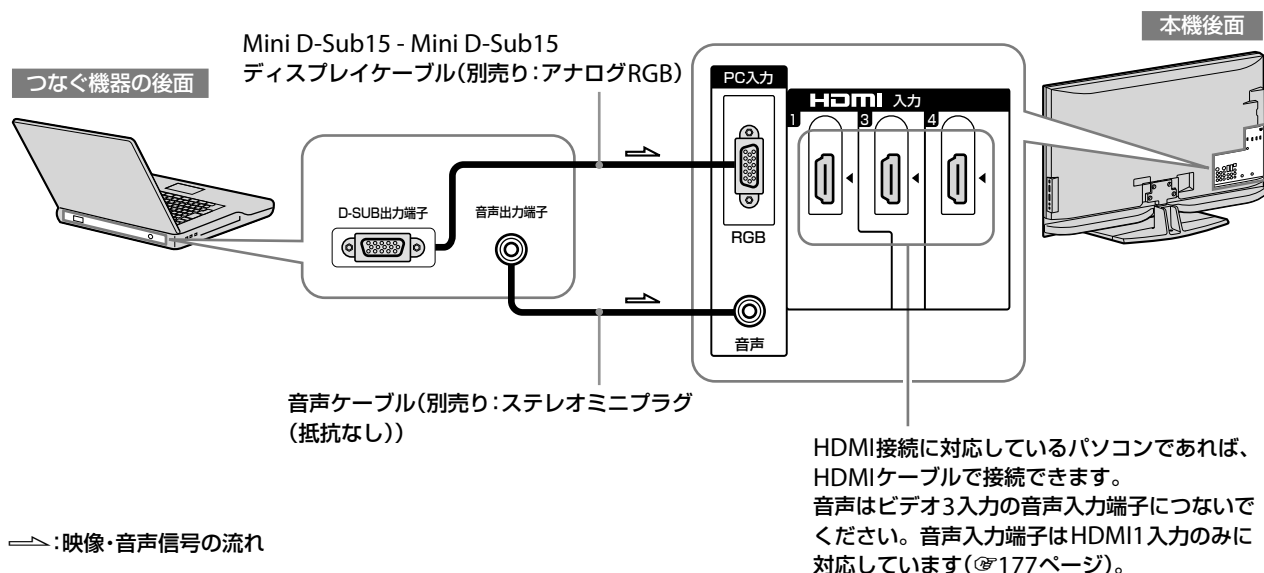
ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI機器制御に対応したオーディオ機器をつなぐときは、HDMIケーブル(☞28ページ)と光デジタル接続ケーブルの両方での接続が必要です。
- 光デジタル音声出力端子につなぐオーディオ機器が対応している音声信号に合わせて、[光音声出力設定](☞82ページ)を設定してください。

ちょっと一言

オーディオ機器を音声出力端子につないだときは、音声出力(可変／固定)端子から出力される音量を本機で調節できます(☞81ページ)。

パソコン(PC)をつなぐ

本機を別売りのディスプレイケーブルでパソコンにつなぐと、本機の画面にパソコンの画面を映し出せます。また、別売りの音声ケーブルをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

ご注意

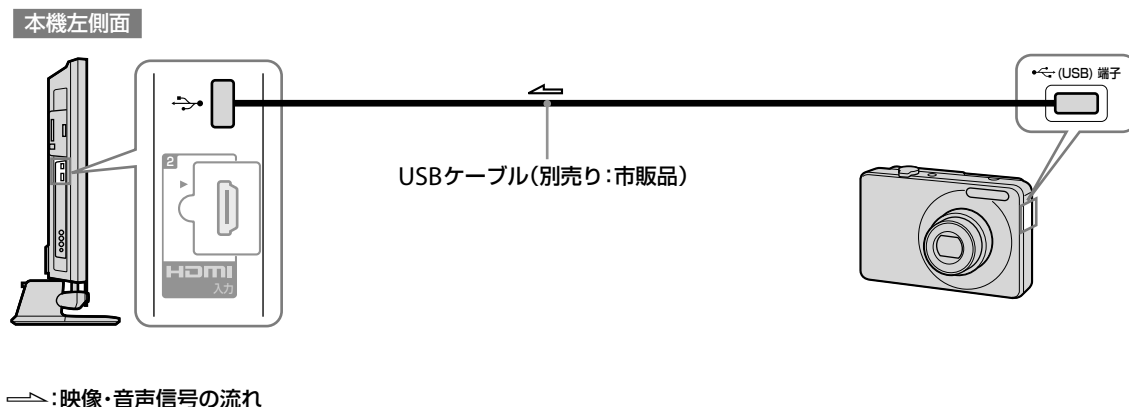
パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

- 対応信号については、☞158ページをご覧ください。
- パソコンの画像を見るための操作については「パソコン(PC)の画像をテレビに映す」(☞66ページ)をご覧ください。

デジタルカメラなどをつなぐ

ソニー製USBインターフェース付きデジタルカメラやデジタルビデオカメラなどをつなぐと、写真や音声、映像などを本機で再生できます。

:映像・音声信号の流れ

ソニー製デジタルカメラをUSBでつなぐときは、USB接続の設定をオートまたはMass Storageモードにしてください。USB接続設定について詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

USB対応機種について

動作確認機種については下記のホームページで確認してください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/
動作確認機種以外の機器をつなぐと不具合が起こる場合があります。

記録メディアについて

- 動作確認されている記録メディアは、ソニー製"メモリースティック"の16GBまでです。
- 詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- 他の記録メディアについて動作を保証するものではありません。

本機の(USB)端子について

- Hi-Speed USBに対応しています。
- 一般的なUSB機器に対応するものではありません。
- USB機器を使用しないときは、はずしておいてください。
- ハブおよびハブ内蔵の機器には対応していません。

本機で再生できるファイルについて

- JPEG(拡張子が.jpgでDCF2.0/Exif2.21準拠のファイル)
- RAW(拡張子が.arwでARW/ARW2.0形式のファイル　簡易再生のみに対応)
- MP3(拡張子が.mp3で著作権保護されていないファイル)
- MPEG1(拡張子が.mpgのファイル)
- サイズが2GB以下のファイル

ただし、ファイルの仕様によっては上記の形式であっても再生できない場合があります。

ご注意

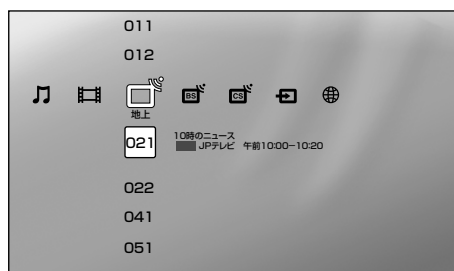
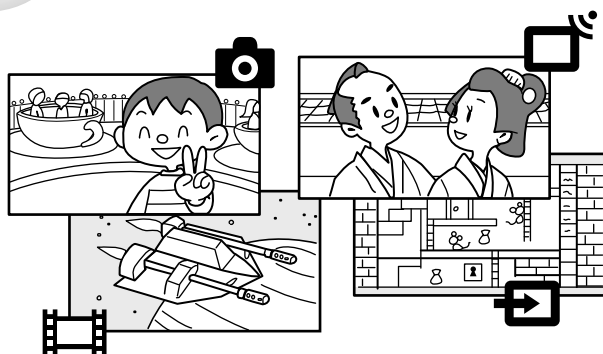
本機およびお使いの機器の不具合など、何らかの原因で記録内容が破損・消滅した場合などに対する保障はいたしかねますので、ご容赦ください。

本機でできること

快適な操作性

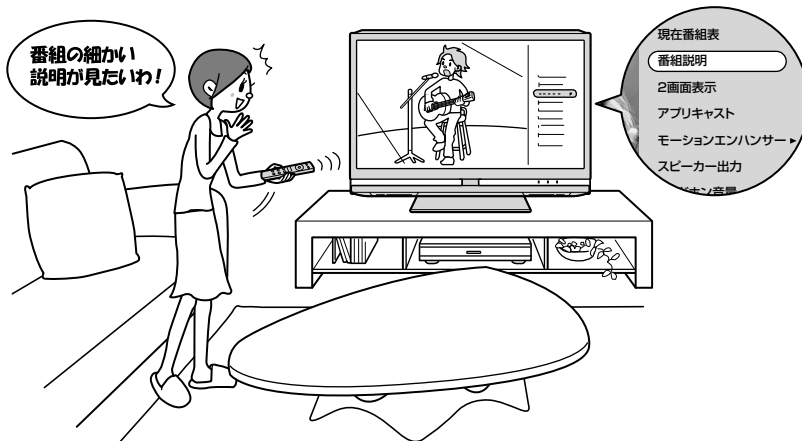
ホームメニュー ― "XMB"（クロスメディアバー）

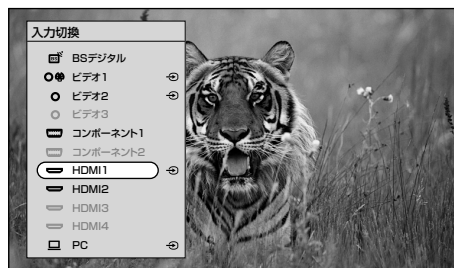
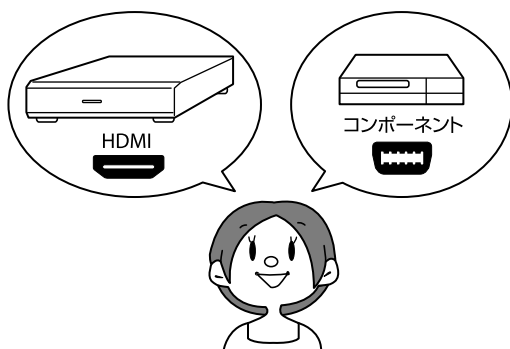
☞36ページ

放送やつないだ機器を快適に楽しめる！

オプションボタン

☞38ページ

そのときできる便利な機能を使える

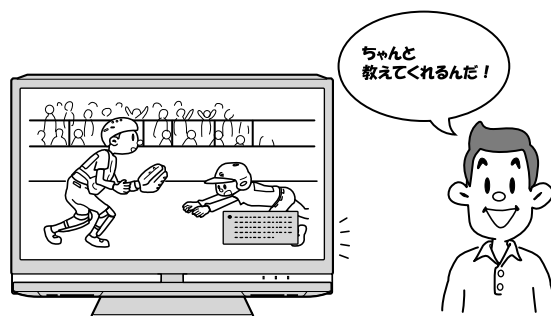
入力切換

☞59ページ

テレビにつないだ機器を一覧表示で切り換え

デジタル放送でできる便利な機能

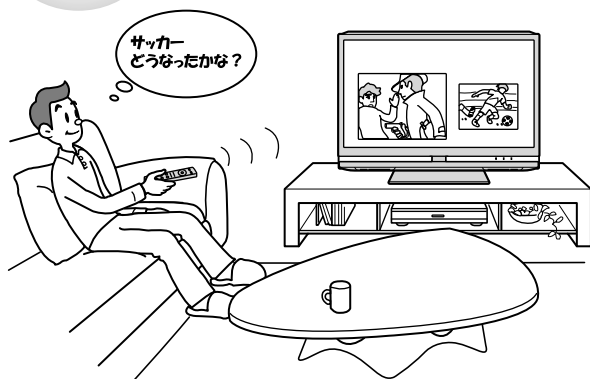
お好みナビ ☞47ページ

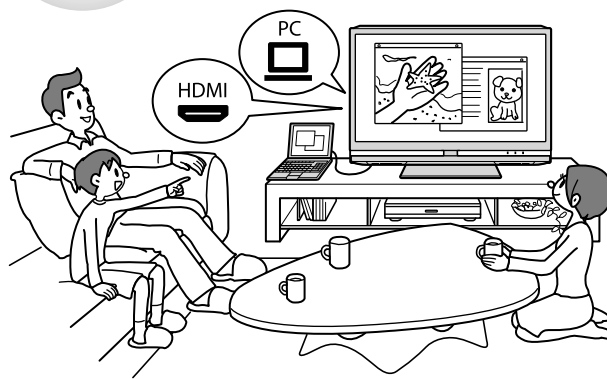
おすすめの番組を自動でお知らせ

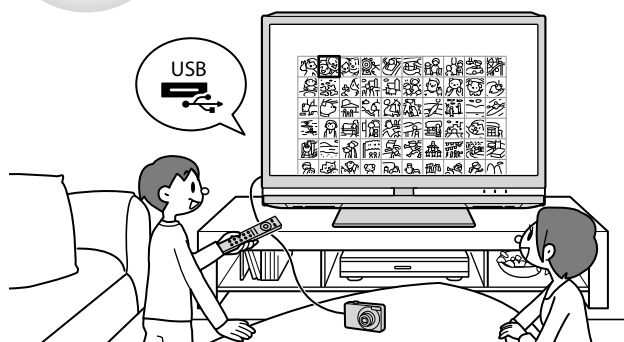
イベントリレー ☞134ページ

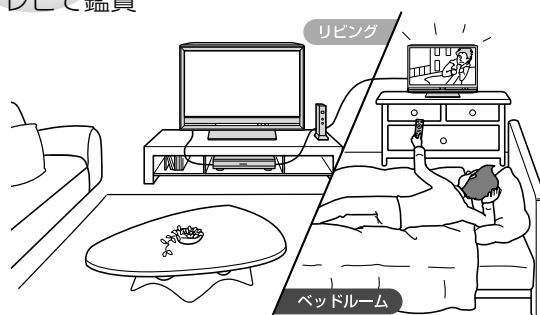
違うチャンネルで放送を継続するときに自動で選局

つないだ機器を楽しむ

2画面 ☞49ページ

放送どうしや、つないだ機器の映像と同時に視聴

PC画像視聴 ☞66ページ

パソコンをつないでテレビでチェック

写真鑑賞 ☞68ページ

デジタルカメラの写真などを大画面で楽しむ

ホームネットワーク ☞109、139ページ

他の機器で保存した写真や音楽、映像などをテレビで鑑賞

ホームメニュー一覧

「ホームメニュー」から操作をはじめましょう
リモコンの（ホーム）を押すと、画面にホームメニューが表示されます。この画面から各種操作・設定画面に移動できます。

基本的な使いかた

お問い合わせ

お知らせ（73ページ）

タイマー（74ページ）

番組予約（114ページ）

番組表・検索（51ページ）

設定（72ページ）

フォト（68、109ページ）

ミュージック（68、109ページ）

ビデオ（68、109、114ページ）

地上（42ページ）

画質・映像設定（75ページ）

音質・音声設定（80ページ）

画面モード（83ページ）

アンテナ設定（86ページ）

放送受信設定（87ページ）

表示設定（90ページ）

お好みナビ・語句設定（90ページ）

録画予約設定（91ページ）

外部入出力設定（92ページ）

HDMI機器制御設定（92ページ）

通信設定（93ページ）

本体設定（96ページ）

かんたん設定（97ページ）

フォト：ネットワーク機器名（109ページ）、USB（68ページ）

ミュージック：ネットワーク機器名（109ページ）、USB（68ページ）

ビデオ：ネットワーク機器名（109ページ）、USB（68ページ）

地上：
- 00 地上アナログch（42ページ）
- 000 地上デジタルテレビch（42ページ）
- 000 地上デジタルデータch（46ページ）

本機をインターネットにつないでいる場合、ホームメニューで追加情報が表示されることがあります。表示を消すには、追加情報が表示されている状態で、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください。オプションについて、詳しくは☞38ページをご覧ください。

リモコン操作ボタンの説明は☞38ページをご覧ください。

かんたんなリモコン操作

マルチリモコンはあらかじめ登録しておいてください（☞23ページ）。

ホームボタン―操作や設定すべての「入り口」

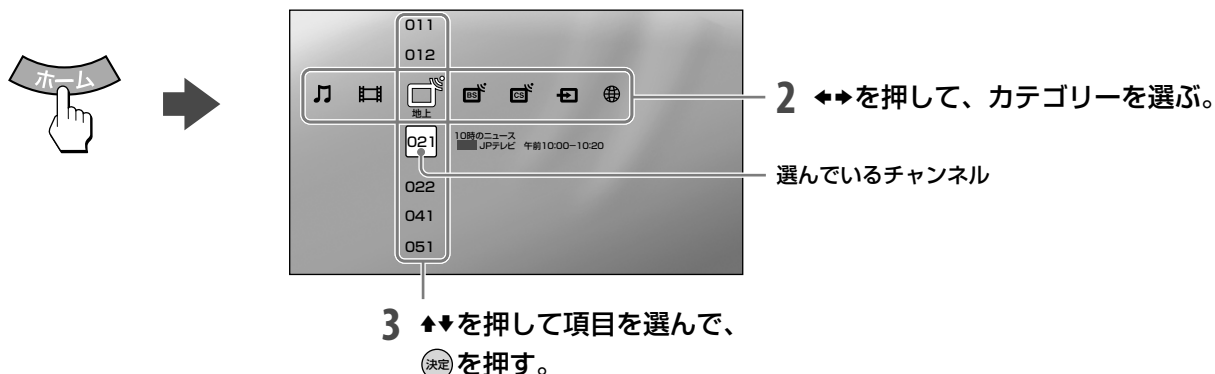
放送を見たり、録画予約したり、お好みの設定に変更したりなど本機でできることの入り口となるのが、ホームメニューです。

1 ホーム を押す。

ホームメニューが表示されます。

2 ←→を押して、カテゴリーを選ぶ。

選んでいるチャンネル

3 ↑↓を押して項目を選んで、
決定を押す。

オプションボタン―そのとき「できること」を表示

オプションを使えば、そのときにできる便利なことが表示されるので、通常の手順よりも早く操作できます。

1 （オプション）を押す。

オプションが表示されます。

2 ↑↓を押して項目を選んで、
決定を押す。

オプションの［項目の並び換え］を選んで設定すると、よく使う項目順に並べられます。

この取扱説明書では、オプションでできることを、以下のマークで紹介しています。

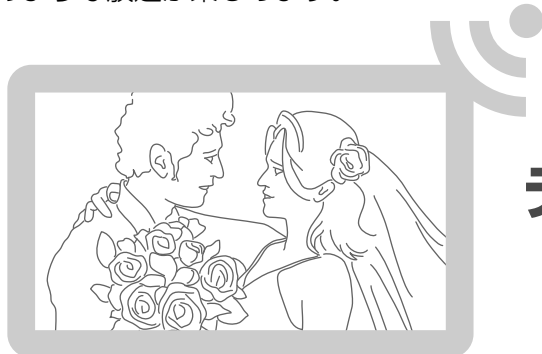
オプションでできること…

便利なボタン

ボタン1つでできる、便利な操作です。

リモコンのボタンについては、「各部の名前」(☞172ページ)もご覧ください。

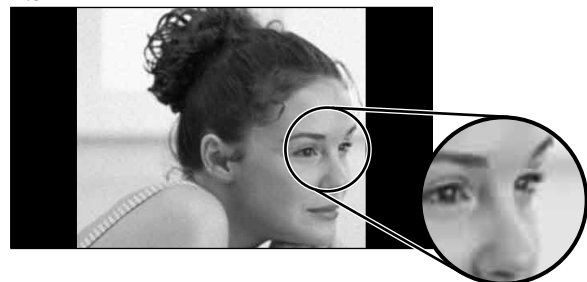
本機で楽しめる放送について

本機では、以下のような放送が楽しめます。

テレビ放送

地上アナログ放送（従来のテレビ放送）

従来の地上アナログ放送を引き続きご覧いただけます。
本機では、オートワイド機能を使って、横縦比4:3の映像をワイド画面に広げて違和感無く見ることができます。

ご注意
番組表や番組説明、番組検索、お好みナビ、録画予約などの機能は地上アナログ放送には対応していません。

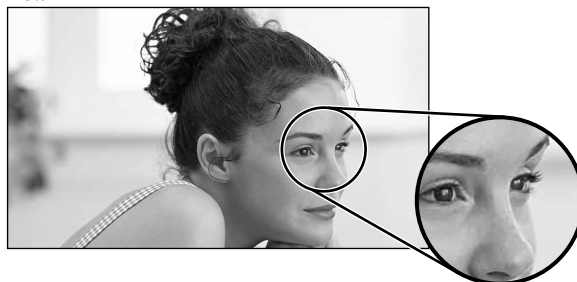
4:3

拡大イメージ

… 42ページ（選局について）
… 83ページ（オートワイドについて）

地上デジタル　BSデジタル　110度CSデジタル

デジタル放送

デジタル放送の高画質･高音質で多彩な番組をご覧いただけます。デジタルハイビジョン放送やサラウンド音声のある番組では、臨場感あふれる映像･音声をお楽しみいただけます。
本機では、番組表や検索機能を使って、デジタル放送のたくさんのチャンネルの中から簡単にお好みの番組を選べ、番組説明で各番組の詳しい情報も見ることができます。

16:9

拡大イメージ

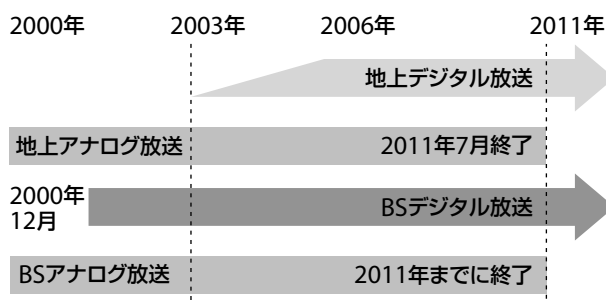
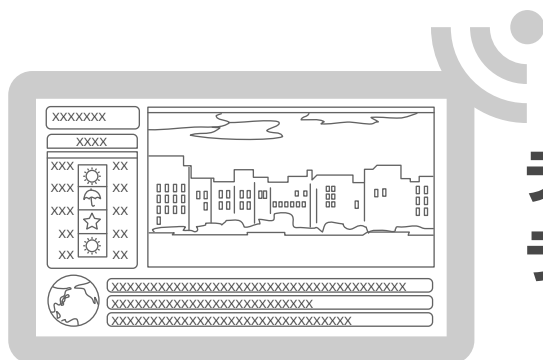
… 42ページ（選局について）
… 51ページ（番組表について）

アナログ放送からデジタル放送への移行

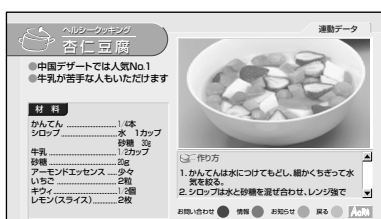
地上デジタルは、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より放送が開始され、その他の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。地上アナログは2011年7月*に、BSアナログは2011年*までに放送が終了することが、国の方針として決定されています。

＊ 2008年9月現在の情報です。

データ／ラジオ放送

基本的な使いかた

地上デジタル　BSデジタル　110度CSデジタル

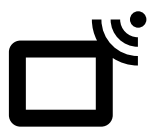
データ放送

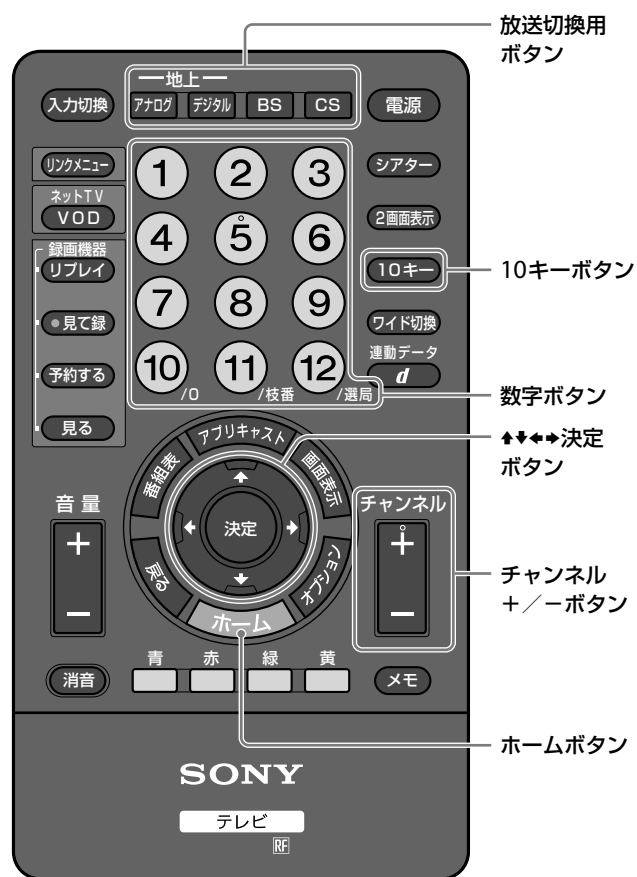
デジタル放送のデータ放送をご覧いただけます。これまでは見るだけが主流だったテレビですが、簡単なリモコン操作でクイズやアンケートに参加して双方向で楽しめます。また、テレビ番組に連動したデータ放送（連動データ放送）では番組に関連した情報や地域の情報などもご覧いただけます。他に、データ放送のみを専門にしている独立データ放送があります。

… 46ページ（選局について）

BSデジタル　110度CSデジタル

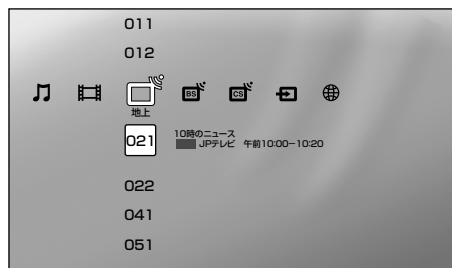
ラジオ放送

衛星放送のラジオ放送を楽しめます。
本機では、通常のステレオ音声の番組でも、サラウンド機能を使って、クリアで臨場感と迫力のある音声に再現してお聞きになれます。また消画機能を使って、映像を消して音声のみを楽しむこともできます（ラジオ放送は2008年9月現在、休止中です）。

… 46ページ（選局について）
… 80ページ（サラウンドについて）
… 96ページ（消画について）

テレビ放送を見る

あらかじめかんたん初期設定をしてください(☞24ページ)。

ホームメニューからチャンネルを選ぶには

1 ホーム を押す。

2 ←→で見たい放送を選ぶ。

＊ 地上アナログのみ非表示にできます(☞89ページ)。

3 ↑↓で見たいチャンネルを選んで、決定を押す。

↑↓を押し続けると高速でスクロールします。

ご注意

[ホームメニュー速度設定]が[モード2]に設定されているときは、手順3で↑↓を押し続けても、高速でスクロールしません(☞96ページ)。

数字ボタンでチャンネルを選ぶには

1 アナログ または デジタル 、 BS 、 CS を押して、見たい放送を選ぶ。

2 数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

または

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、最後に12ボタンを押します。

例：011ch（デジタル放送）の場合

10キー→⑩/0→①→①→⑫/選局

例：37ch（アナログ放送）の場合

10キー→③→⑦→⑫/選局

枝番が付いているチャンネルを選局するには

他の地域の放送も受信できる場合、重複するチャンネル番号を区別するために、補助的な番号（枝番）がついています。
（地上デジタルのみ）

例：101_2chの場合

10キー→①→⑩/0→①→⑪/枝番→②→⑫/選局

視聴しながら現在放送中の番組表を見る［現在番組表］

デジタル放送を視聴しながら、現在放送中の番組と1時間以内の番組を表示できます。

1 デジタル放送視聴中に、（オプション）を押す。

2 ↑↓で［現在番組表］を選んで、決定を押す。

視聴しながら番組説明を見る

1 デジタル放送視聴中に、（オプション）を押す。

2 ↑↓で［番組説明］を選んで、決定を押す。

さらに詳しい説明が必要な場合は［詳細］を選ぶ。

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

現在番組表は、ホームメニューで（地上）または（BS）、（CS）の列の（番組表・検索）から選んでも表示できます。

テレビを見る

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● ホームメニューでチャンネル選択中

項目	できること
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
番組検索	番組を検索できます(☞55ページ)。
現在番組表	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞43ページ)。
番組表	約1週間先までの番組を表示します(☞51ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。
番組説明	選んでいるチャンネルで放送中の番組の番組説明を表示します(☞53ページ)。

● テレビ視聴中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
現在番組表	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞43ページ)。
番組説明	視聴しながら番組説明を確認できます(☞43ページ)。
録画停止	録画を停止します(☞116ページ)。
2画面表示	2画面で表示します(☞49ページ)。
アプリキャスト	インターネット上のアプリを表示します(☞105ページ)。
モーションエンハンサー	動きを滑らかにして映像の残像感を減らします(☞78ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞81ページ)。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
消費電力	消費電力を設定できます(☞96ページ)。
スリープタイマー	時刻を設定して自動的に電源を切ることができます(☞74ページ)。
映像切換	アングルなど、切り換えが可能な映像の場合に使えます(☞134ページ)。
データ放送情報	サーバー証明書一覧、ルートCA証明書一覧、ブックマーク一覧を表示します。
時刻取得	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

● 現在番組表表示中

項目	できること
番組情報取得	表示中の放送の番組情報を取得します。
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
サービス*1切換	番組表の放送サービスを切り換えます。
放送*2切換	番組表の放送の種類を切り換えます。
ジャンル色設定	番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てられます。
番組検索	番組を検索できます(☞55ページ)。
拡大／縮小	9チャンネル、7チャンネルまたは4チャンネル表示に切り換えます。
番組表	約1週間先までの番組を表示します(☞51ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。

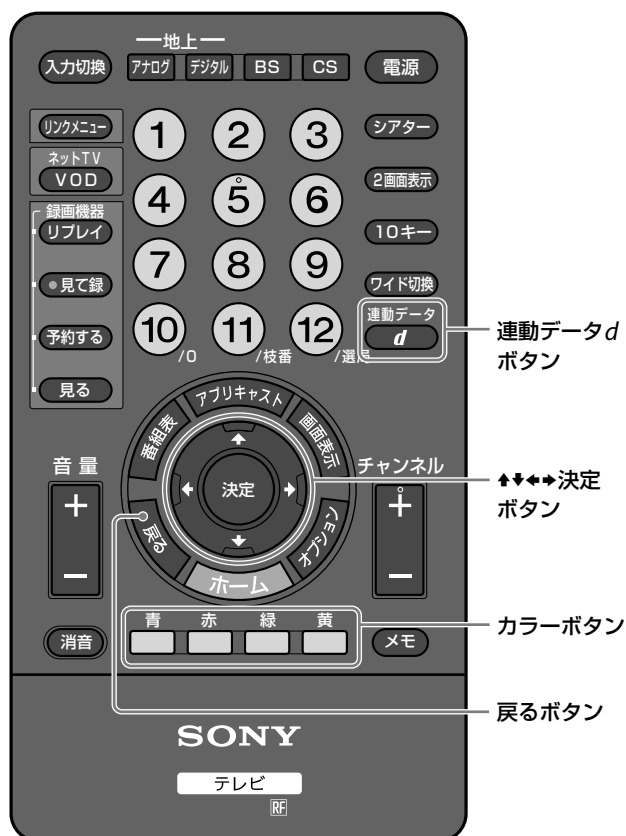
*1 テレビ、ラジオ、データがあります。
*2 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルがあります。

ご注意

- 時刻情報の取得ができるのは、デジタル放送のみです。ただし、ケーブルテレビ(CATV)でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。
- 一度時刻を取得すると、[時刻取得]の項目は表示されなくなります。ただし、本機の電源コードを抜くと、時刻情報は消去されますので、その場合はデジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得してください。時刻情報が取得できないときは、(タイマー)の[現在時刻設定]を行ってください(☞74ページ)。

ちょっと一言

- ヘッドホンを本機につないでいて、音量+／−ボタンでヘッドホンの音量を調節できないときは、オプションの[ヘッドホン音量]で調節できます。
- 本機をインターネットにつないでいるときにホームメニューに追加情報が表示されることがあります。追加情報を消したいときは、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください(☞106ページ)。

見ている番組の詳細情報を連動データで楽しむ

番組と連動しているデータ放送を見ることができます。スポーツ中継を見ているときに選手の成績を確認するなど、番組によってさまざまなデータ放送を楽しめます。また、郵便番号の設定をすれば（☞87ページ）、天気などのお住まいの地域の情報を見ることができます。

1 デジタル放送視聴中に、（連動データ d）を押す。

連動データの画面に切り換わります。

連動データ放送の例

2 ↑↓←→や（青）・（赤）・（緑）・（黄）（カラーボタン）、（戻る）などを使って、画面に従って操作する。

視聴者参加型のデータ放送を楽しむには

自宅にいながら、放送局とやり取り（双方向通信）できるので、クイズ番組に参加したりアンケートに答えたり、ショッピングしたりできます。

電話回線（☞99ページ）やネットワーク回線（☞100ページ）の接続が必要です。

ちょっと一言

データ放送では、本機につないだ電話回線を使って通信する場合があります。通信中（消画／通信／タイマーランプがオレンジ色に点滅）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。

独立データ放送／ラジオ放送を楽しむ

独立データ放送を楽しむ

データのみを専門に扱っている放送サービスを楽しめます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で見たい放送を選ぶ。

3 ↑↓でデータ放送のチャンネルを選んで、（決定）を押す。

独立データ放送の例

4 ↑↓←→や（青）・（赤）・（緑）・（黄）（カラーボタン）、（戻る）などを使って、画面に従って操作する。

ラジオ放送を楽しむ

衛星放送で流れるラジオです。映像を消して音声のみを楽しむこともできます（消画☞96ページ。ラジオ放送は2008年9月現在、休止中です）。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で聞きたい放送を選ぶ。

3 ↑↓でラジオ放送のチャンネルを選んで、（決定）を押す。

お好みの番組を自動で知らせる［お好みナビ］

よく見る番組のチャンネルや放送時間、ジャンルなどの情報、登録されたキーワードをもとに、本機が自動でおすすめの番組を紹介します。

お好みナビを使う

視聴中におすすめの番組が始まるときは

おすすめの番組が始まる（または放送中）というお知らせを画面に表示します。おすすめの番組を見るときは、下記の手順で操作してください。

1 お好みナビアイコン表示中に、決定を押す。

お好みナビアイコン

おすすめの番組の番組説明が表示され、番組名やおすすめの理由などを確認できます。

お好みナビアイコンを消すには

（戻る）を押す。

2 ［選局］が選ばれていることを確認して、決定を押す。

おすすめの番組に切り換わります。

ホームメニューや番組表で確認するには

おすすめの番組にはホームメニューや番組表などで★マークを付けてお知らせします。

例：番組表の場合

★（金色）：特におすすめ
★（銀色）：通常

お好みナビ機能を入／切する

お好みナビの機能を［入］または［切］に設定します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

3 ↑↓で（お好みナビ・語句設定）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で［お好みナビ］を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で［入］または［切］を選んで、決定を押す。

お好みナビの学習情報を消去する

おすすめ番組をお知らせするために蓄積したよく見る番組の情報を消去できます（☞90ページ）。

1 「お好みナビ機能を入／切する」（☞上記）の手順1～3を行う。

2 ↑↓で［お好みナビ学習情報初期化］を選んで、決定を押す。

3 ←→で［はい］を選んで、決定を押す。

次のページにつづく⇨

ご注意

視聴予約されている番組と放送時間が重複している番組や、視聴予約または録画予約されている番組には、お好みナビアイコンを表示しません。

ちょっと一言

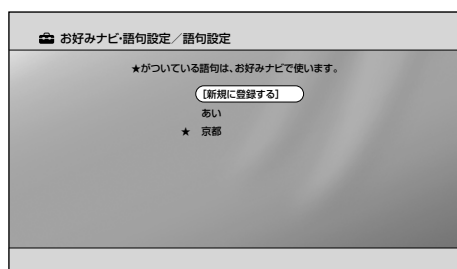
- おすすめ番組は、デジタル放送のテレビ番組のみでお知らせします。
- 現在放送中の番組と、開始時刻が現在から1時間以内で次に放送される番組が、おすすめ番組の対象になります。
- 学習情報が蓄積されるまで、おすすめ番組は表示されません。
- 視聴中にお知らせが表示されるおすすめ番組は、おすすめ番組の中でも特におすすめの番組のみです。番組表などに★マークが表示される番組をすべてお知らせするわけではありません。

お好みナビで使うキーワードを登録する

あらかじめキーワードを登録すれば、番組のタイトルや概要にキーワードが含まれた番組が自動で案内されます。登録できる件数は最大で20件です。

1 「お好みナビ機能を入／切する」(☞47ページ)の手順1 〜 3を行う。

2 ⬆⬇で[語句設定]を選んで、決定を押す。

3 [新規に登録する]を選んで、決定を押す。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 ソフトウェアキーボード(☞56ページ)で、語句を入力する。

語句の入力が終了すると、「お好みナビ･語句設定／語句設定」画面に戻ります。
すでに[お好みナビ]が[入]に設定されているときは、手順5、6の操作は不要です。

5 ⬅➡で[はい]を選んで、決定を押す。

6 [閉じる]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

番組説明の中にある語句を登録するには

番組説明にある語句を抜き出して、キーワードとして登録することもできます(☞54ページ)。

オプションでできること…

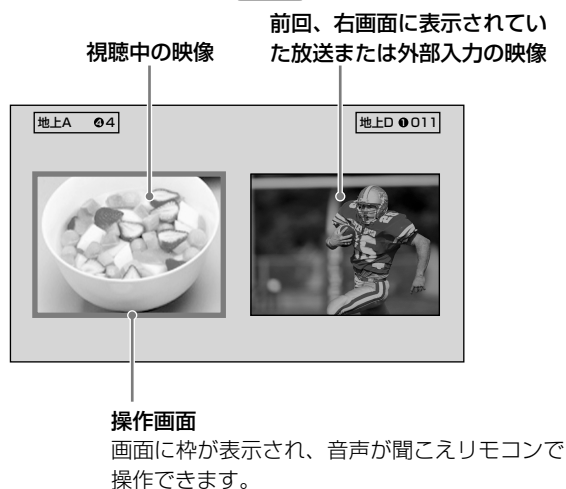
お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●お好みナビ･語句設定／語句設定画面表示中

項目	できること
お好みナビ登録／お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビ(☞47ページ)で使うキーワードとして登録します。すでに登録してあるときは、登録を解除します。
語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞56ページ)で編集してください。
語句削除	選んでいる語句を削除できます。

2画面で見る

2画面で別の映像を見ることができます。

マルチリモコンの 2画面表示 を押す。

操作画面を切り換えるには

リモコンで操作できる画面を切り換えられます。

◆または◆を押す。

画面の枠が移動します。

◆:左画面が操作画面になります。

◆:右画面が操作画面になります。

操作画面で使えるリモコンボタン

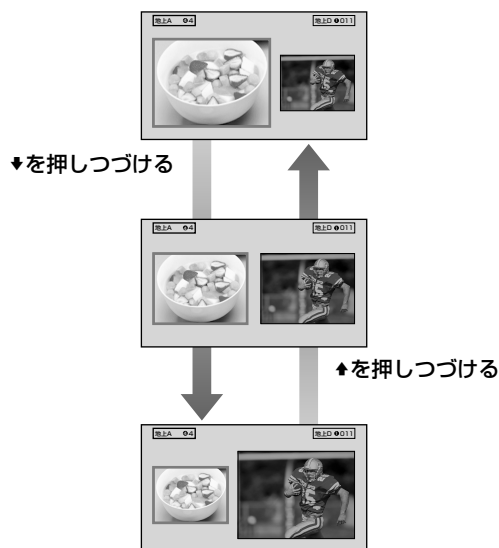
ボタン	できること
チャンネル＋／－、数字、10キー	チャンネルを切り換えます。
地上アナログ、地上デジタル、BS、CS	放送を切り換えます。
入力切換	入力を切り換えます。
音声切換	音声を切り換えます。
音量＋／－、消音	音量を調節します。

画面の大きさを変えるには

希望の大きさになるまで、◆または◆を押し続ける。

押し続けるとさらに画面サイズが変わります。

◆:操作画面が大きくなり、非操作画面が小さくなる。

◆:操作画面が小さくなり、非操作画面が大きくなる。

1画面表示に戻すには

◆◆で1画面で表示したい方の画面を選んで、決定を押す。

表示できる放送と外部入力

放送と外部入力	左画面	右画面
地上アナログ	○	×
地上デジタル	○	○
BSデジタル	○	○
110度CSデジタル	○	○
ビデオ1 ～ 3入力	○	○
コンポーネント1、2入力	○	○*
HDMI1 ～ 4入力	○	×
PC入力	×	×

＊ 1125p（1080p）信号を除く。

次のページにつづく⇨

ご注意

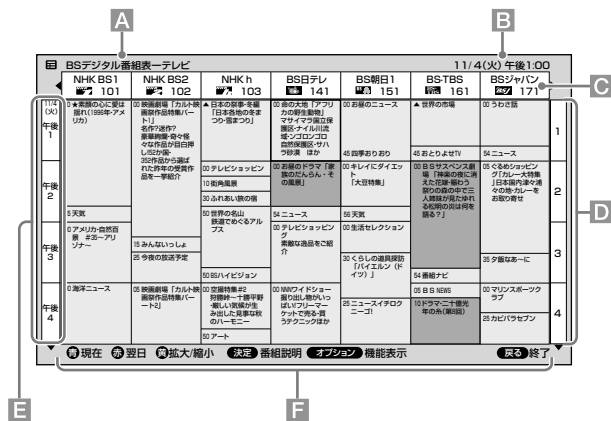
ラジオ放送は音声のみ出力され、データ放送は表示できません。

テレビを見る

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●2画面表示中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
1画面表示	1画面表示に戻します。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞81ページ)。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

番組表で見たい番組を探す

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送ごとに、放送局が送信する番組情報をもとに、番組表を約1週間先まで見ることができます。また、ジャンルやキーワードで検索して番組を絞り込んで表示したり、番組を選んで予約したりできます。

デジタル放送視聴中に、（番組表）を押す。

例：BSデジタルの番組表の場合

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

A 放送名

B 現在の日時

C チャンネル
←→で左右にスクロールします。

D 番組一覧
↑↓←→で番組を選んで、決定を押すと、選んだ番組の番組説明（☞53ページ）が表示されます。

E 放送日時
↑↓で上下にスクロールします。

F 操作ガイド表示欄
番組表を表示中にリモコンでできることをガイド表示します。

マークの意味

- ●　：録画中の番組
- (赤)：録画予約した番組
- (青)：視聴予約した番組
- ★　：おすすめ番組（☞47ページ）
- ¥　：ペイパービューなど有料番組
- ▲／▼：前の時間帯または次の時間帯に続いている番組
- 時刻表示欄（赤）：録画予約が入っている時間帯
- 番組表示欄（グレー）：代表チャンネルのみを表示しているとき省略されたチャンネルでは、別の番組を放送していることを示しています。省略されたチャンネルを表示するには、オプションの［チャンネル表示形式］で［すべて表示］を選んでください（☞52ページ）。

見たい番組を探す

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

番組表は、ホームメニューで(地上)または(BS)、(CS)の列の(番組表·検索)から選んでも表示できます。

他の放送の番組表を表示するには

デジタル または BS 、 CS を押す。

番組表を拡大表示するには

黄 を押す。

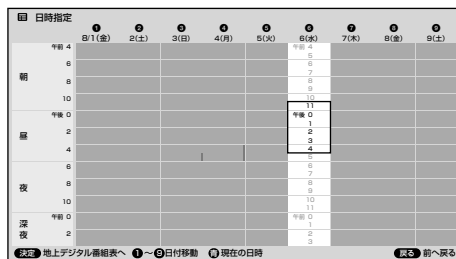
押すたびに、9チャンネル表示と7チャンネル表示、4チャンネル表示が切り換わります。

日時を指定して番組表を表示するには

1 (オプション)を押す。

2 ↑↓で[日時指定]を選んで、決定を押す。

日時指定画面が表示されます。

3 ↑↓←→で日時を選んで、決定を押す。

▌(赤):録画予約が入っている時間帯
▌(青):視聴予約が入っている時間帯

指定した日時の番組表が表示されます。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● 番組表表示中

項目	できること
番組情報取得	表示中の放送の番組情報を取得します。
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
サービス*1切換	番組表の放送サービスを切り換えます。
放送*2切換	番組表の放送の種類を切り換えます。
ジャンル色設定	番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てられます。
番組検索	番組を検索できます(☞55ページ)。
拡大／縮小	9チャンネル、7チャンネルまたは4チャンネル表示に切り換えます。
日時指定	日時を指定して番組表を表示します。
現在番組表	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞43ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。

*1 テレビ、ラジオ、データがあります。
*2 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルがあります。

ちょっと一言

- 日時指定画面表示中に番組表に表示される放送を切り換えるには、デジタルボタン、BSボタンまたはCSボタンを押してから、決定を押してください。
- 日時指定画面表示中は数字ボタンで日付を選ぶこともできます。

番組説明を見る

番組名やあらすじ、出演者、映像／音声情報、ジャンルなど番組の詳しい情報を見ることができます。戻るボタンを押すと消えます。

番組表を表示中に、↑↓←→で番組を選んで、決定を押す。

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

A おすすめ番組マークとおすすめの理由

B マーク(☞右記)

C 番組の状況
「開始前」や「終了」など状況を表示します。

D 番組内容表示欄
あらすじや出演者、ジャンルなどの情報を表示します。1/2は2ページ中の1ページ目の意味です。

E 放送中の番組のとき

[選局]
選局します。

[録画予約]／[録画停止]
予約設定画面が表示されます(☞115ページ)。番組説明に表示されている番組を録画中は録画を停止できます。

放送開始前の番組のとき

[視聴予約]、[録画予約]
予約設定画面が表示されます(☞115ページ)。予約済みの番組のときは予約を修正したり、削除できます。

F [録画方法]
ホームメニューの[録画方法]で設定した[シンクロ録画]または[AVマウス]が表示されます(☞91ページ)。ネットワークに接続(☞100ページ)していて、ネットワーク録画予約に対応している録画機器があれば[ネットワーク]にも切り換えられます(☞113ページ)。

G 番組情報欄
「映像情報」(☞133ページ)、**「音声情報」**(☞133ページ)、**「コピーコントロール」**(録画や録音についての情報☞136ページ)。

マークの意味

- 字 ：字幕放送(☞175ページ)
- d ：テレビやラジオと連動しているデータ放送(☞45ページ)
- MV ：マルチビュー放送(☞134ページ)
- HD ：デジタルハイビジョン信号HD(☞133ページ)
- SD ：標準テレビ信号SD(☞133ページ)
- (視聴年齢制限) ：視聴年齢制限付き番組(☞97ページ)
- ¥ ：ペイパービュー(PPV)など有料番組
- シリーズ ：野球中継や季節ごとの番組(毎週／毎回に属さないもの)
- 複数信号 ：第2映像など複数の映像／音声信号がある番組
- 契約済／未契約 ：放送事業者との契約が済んでいるかどうか

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。

- 二 ：二か国語放送(☞133ページ)
- S ：ステレオ放送(☞133ページ)
- 字 ：字幕放送(☞175ページ)
- B ：圧縮Bモードステレオ放送(☞133ページ)
- N ：ニュース番組

次のページにつづく⇨

ご注意

[録画停止]はネットワーク録画では利用できません。

ちょっと一言

- 番組説明は、ホームメニューで(地上)または(BS)、(CS)の列を選んでいるときに、オプションから[番組説明]を選んでも表示できます。
- 番組説明は、視聴中に見ることができる簡単な番組説明(☞43ページ)で[詳細]を選んでも表示できます。

見たい番組を探す

番組説明の中にある語句を登録するには

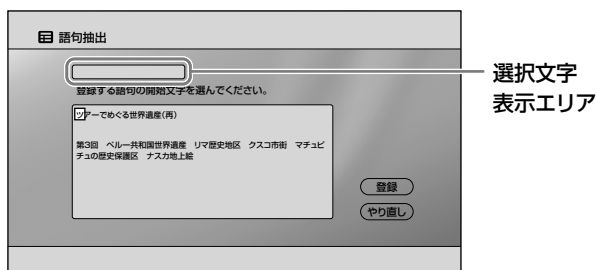
番組検索やお好みナビで使うキーワードとなる語句を番組概要から抜き出して登録できます。

1 番組説明表示中に、(オプション)を押す。

2 ↑↓で[語句抽出]を選んで、決定を押す。

番組概要が表示されます。

3 ↑↓←→で登録したい語句の開始文字を選んで、決定を押す。

選択文字表示エリアに選んだ文字が表示されます。

4 ←→で登録したい語句の最後の文字を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で[登録]を選んで、決定を押す。

語句が登録されます。

6 ←→で[はい]または[いいえ]を選んで、決定を押す。

[はい]を選ぶと、選んだ語句がお好みナビで使うキーワードとして登録されます。

[いいえ]を選ぶと、語句としては登録されますが、お好みナビでは使われません。

信号表示画面を見るには

デジタル放送の番組説明を表示中に 緑 を押す。

番組説明に表示されている番組が持っている映像信号や音声信号の情報を見ることができます。

見たい番組を探す

番組検索する

1 ホーム を押す。

2 ←→で番組を検索したい放送を選ぶ。

3 ↑↓で(番組表・検索)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で(番組検索)を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で[放送]や[サービス]、[時間帯]などの設定項目を選んで、決定を押す。

6 ↑↓で設定項目を選んで、決定を押す。

7 [ジャンル]または[キーワード]を設定する。

ジャンル:「ジャンルを設定するには」(☞右記)をご覧ください。

キーワード:「キーワードを設定するには」(☞56ページ)をご覧ください。

8 ↑↓で[キーワード検索方法]を選んで、決定を押す。

9 ↑↓で設定項目を選んで、決定を押す。

10 →で[検索開始]を選んで、決定を押す。

検索された番組が放送開始時刻順に表示されます。

項目	できること
放送	放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル)を選びます。
サービス	放送サービス(すべて、テレビ、ラジオ、データ)を選びます。
課金番組	有料番組を含むかどうかを設定します。
時間帯	放送時間帯を設定します。
キーワード検索方法	[すべてのキーワードを含む]または[いずれかのキーワードを含む]を選びます。

ジャンルを設定するには

1 「番組検索する」の手順4のあとで、↑↓で[ジャンル]を選んで、決定を押す。

2 ↑↓で[指定する]を選んで、決定を押す。

3 ↑↓でジャンルを選んで、決定を押す。

4 ↑↓でサブジャンルを選んで、決定を押す。

次のページにつづく⇨

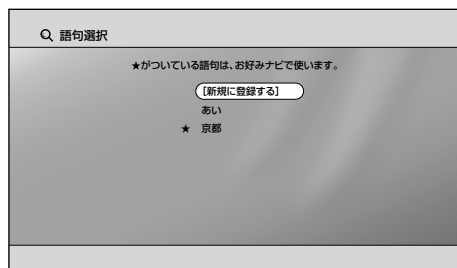
ちょっと一言

番組検索画面の[ジャンル]と[キーワード]はそれぞれ[キーワード]、[ジャンル]に変更できます。
↑↓で[ジャンル]または[キーワード]を選んで、決定を押したあとで、←を押します。↑↓で変更できるようになります。

キーワードを設定するには

1 「番組検索する」(☞55ページ)の手順4のあとで、⇡⇣で[キーワード]を選んで、決定を押す。

2 ⇡⇣で[指定する]を選んで、決定を押す。

3 ⇡⇣でキーワードを選んで、決定を押す。

[新規に登録する]を選んだときは、ソフトウェアキーボード(☞右記)で、登録したい語句を入力してください。

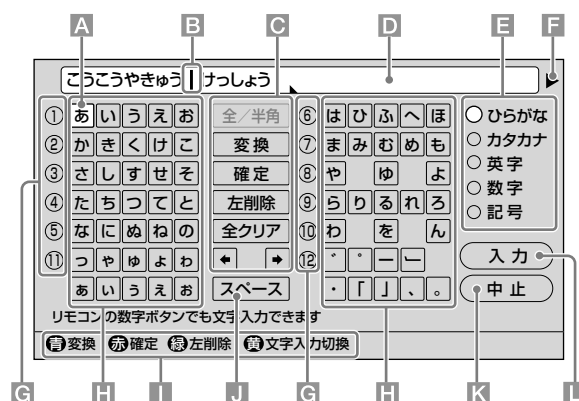
オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● 語句選択画面表示中

項目	できること
お好みナビ登録／お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビ(☞47ページ)で使うキーワードとして登録します。すでに登録してあるときは、登録を解除します。
語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞右記)で編集してください。
語句削除	選んでいる語句を削除できます。

文字を入力する[ソフトウェアキーボード]

文字を入力する必要があるときに自動的に表示されます。

A **フォーカス**

B **カーソル**

C **編集用ボタン**
[全／半角]：英語や記号の全角、半角を切り換えます。
[変換]：入力した文字を漢字に変換します。
[確定]：文字を確定します。
[左削除]：カーソルの左側の文字を削除します。
[全クリア]：入力文字表示エリアにある文字をすべて削除します。
[⇦]／[⇨]：カーソルを左右に移動します。

D **入力文字表示エリア**
入力中の文字が表示されます。

E 入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
「全」または「半」が表示されているときは、全角文字または半角文字のみ入力できます。

F **◀／▶マーク**
入力された文字が入力文字表示エリアに表示しきれないときに表示されます。カーソルを移動すると残りの文字が表示されます。

G リモコンの数字ボタンを押すと、同じ数字の行にフォーカスが移動します。くり返し押すとフォーカスが移動します。

H **文字ボタン**
文字や記号を入力します。

I **操作ガイド表示欄**
ソフトウェアキーボードを表示中にリモコンでできることをガイド表示します。

J **[スペース]ボタン**
スペース(空白)を入力します。

K **[中止]ボタン**
文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は設定されません。

L **[入力]ボタン**
入力した文字を確定してソフトウェアキーボードを消します。

文字や記号を入力するには

例：検索でキーワード「藍」を入力する場合

1 「番組検索する」(☞55ページ)の手順1～4を行う。

2 ⬆⬇で[キーワード]を選んで、決定を押す。

3 ⬆⬇で[指定する]を選んで、決定を押す。

4 ⬆⬇で[新規に登録する]を選んで、決定を押す。
ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 ⬆⬇⬅➡で[あ]を選んで、決定を押す。
入力文字表示エリアに「あ」と表示されます。

6 ⬆⬇⬅➡で[い]を選んで、決定を押す。
入力文字表示エリアに「あい」と表示されます。

7 ⬆⬇⬅➡で[変換]を選んで、決定を押す。
正しい文字が表示されたときは手順10に進んでください。

8 [変換]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

9 ⬆⬇で[藍]を選んで、決定を押す。
リモコンの数字ボタンで、文字の左側に表示されている数字を選ぶこともできます。

10 ⬇で[確定]を選んで、決定を押す。

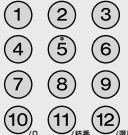
11 ⬆⬇⬅➡で[入力]を選んで、決定を押す。
ソフトウェアキーボードが消えて、キーワードに「藍」が表示されます。

入力した文字を削除するには

入力文字表示エリアに表示されている文字を削除できます。

例：「高校野球の決勝戦」から「の」を削除する場合

1 ⬆⬇⬅➡で[⬅]または[➡]を選ぶ。

2 決定をくり返し押して、カーソルを削除する文字の右側に移動する。

高校野球の┃決勝戦

3 ⬆⬇⬅➡で[左削除]を選んで、決定を押す。

高校野球┃決勝戦

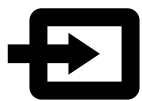
見たい番組を探す

次のページにつづく⇨

ソフトウェアキーボードで使えるリモコンのボタン

ソフトウェアキーボードを表示しているときに、リモコンのボタンを使ったほうが携帯電話で入力するように簡単に操作できることがあります。

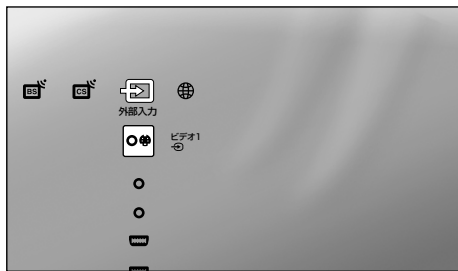
ボタン	できること
青	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 入力した文字を漢字に変換します。 ［変換］ボタンと同じ働き。 **「半角英字」入力、「半角記号」入力のときは** URL定型文字列を表示します。
赤	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 変換した文字を確定します。 ［確定］ボタンと同じ働き。 **「記号」入力のときは** 全角文字と半角文字を切り換えます。 ［全／半角］ボタンと同じ働き。 **「英字」入力のときは** 大文字と小文字を切り換えます。
緑	カーソルの左側の文字を削除します。 ［左削除］ボタンと同じ働き。
黄	入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩/0 ⑪/枝番 ⑫/選局	キーボードの文字ボタンの行の左端に表示されている数字を見て、数字ボタンで携帯電話のように文字を入力します。
戻る	文字入力を中止して元の画面に戻ります。 入力文字表示エリアに表示されている文字は設定されません。 ［中止］ボタンと同じ働き。

見たい番組を探す

つないだ機器の映像を見る

あらかじめ接続をしてください(☞20、28ページ)。
パソコンの画像を見るには(☞66ページ)。
USB機器の写真や音楽、映像を楽しむには(☞68ページ)。

ホームメニューから選ぶには

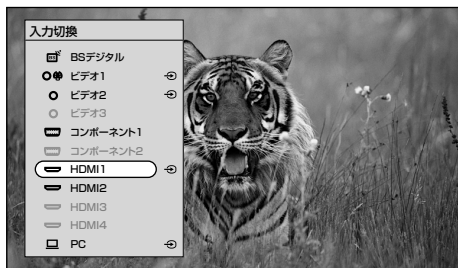
1 ホーム を押す。

2 ←→で(外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で見たい外部機器の入力を選んで、決定を押す。

	ビデオ1 ～ 3入力につないだ機器の映像に切り換わります。
	コンポーネント1、2入力につないだ機器の映像に切り換わります。
	HDMI1 ～ 4入力につないだ機器の映像に切り換わります。
	PC入力につないだパソコンの画像に切り換わります(☞66ページ)。

入力切換ボタンで切り換えるには

1 入力切換 を押す。

2 入力切換 をくり返し押して、入力を選ぶ。

[スキップ設定]が[自動]に設定されていて、機器をつないでいない入力は選べません(☞60ページ)。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● つないだ機器の映像を視聴中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
2画面表示	2画面で表示します(☞49ページ)。
アプリキャスト	インターネット上のアプリを表示します(☞105ページ)。
モーションエンハンサー	動きを滑らかにして映像の残像感を減らします(☞78ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞81ページ)。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
消費電力	消費電力を設定できます(☞96ページ)。
スリープタイマー	時刻を設定して自動的に電源を切ることができます(☞74ページ)。
時刻取得	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。
接続機器操作*	HDMI機器をHDMI1 ～ 4入力につないでいるときに、機器の操作メニューやオプション、リストなどを表示できます。機器操作は本機リモコンの↑↓←→決定で行います(☞63ページ)。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

* つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御できるように設定されている必要があります。
また、つないだ機器が接続機器操作に対応している必要があります。

次のページにつづく⇨

入力切換を使いやすくする［オートインプットスキップ設定］

入力端子ごとに接続状態に合わせて、入力切換操作を簡単にしたり、ホームメニュー表示をわかりやすくできます。

使わない入力に切り換わらないようにするには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

3 ↑↓で（外部入出力設定）を選んで、（決定）を押す。

4 ↑↓で［オートインプットスキップ設定］を選んで、（決定）を押す。

5 ↑↓で設定したい入力を選んで、（決定）を押す。

6 ←→で［スキップ設定］を選ぶ。

7 ↑↓で［自動］または［表示する］を選ぶ。

自動：機器をつないでいるか、または機器からの入力があるかどうかを自動的に検出して、機器をつないでいる場合のみ、入力切換できるようにします。つないだHDMI機器によっては、機器の電源が入っていないと、認識できないものもあります。

表示する：機器をつないでいなくても、入力切換ができます。その場合、映像・音声は出ません。

名前やアイコン表示を変えるには

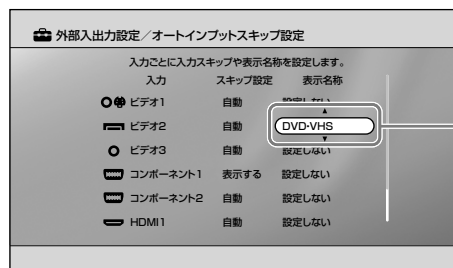
例：ビデオ2入力にDVD一体型ビデオをつないだときに、名前を「DVD・VHS」に変更する場合

1 「使わない入力に切り換わらないようにするには」（☞上記）の手順1～4を行う。

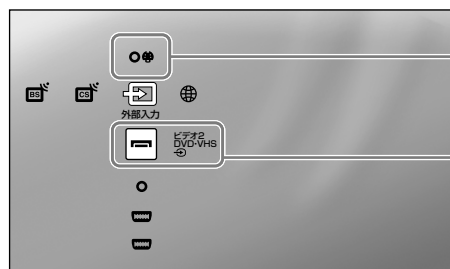
2 ↑↓で［ビデオ2］を選んで、（決定）を押す。

3 ←→で［表示名称］を選ぶ。

手順2で［ PC］を選んだときは、［表示名称］は選べません。

4 ↑↓で［DVD・VHS］を選んで、（決定）を押す。

5 （戻る）を押す。

6 ←→で［はい］を選んで、（決定）を押す。

「表示名称」変更後のホームメニュー

アイコンの種類

アイコン	名前
	CATV、デジタルチューナー、デジタルCSチューナー
	ビデオデッキ
	DVD、ブルーレイディスク
	HDD・DVD・VHS、DVD・VHS、HDD・DVD
	HDDレコーダー
	AVアンプ
	ホームシアター
	ゲーム
	ビデオカメラ
	デジタルカメラ
	PC

ご注意

本機につなぐ機器（パソコンなど）やケーブルによっては、接続を正しく検出できず、入力が選べないことがあります。その場合は［スキップ設定］を［表示する］にしてください。

本機につないだブラビアリンク対応機器をマルチリモコンに登録する

付属のマルチリモコンで、RFマークの付いたHDMI機器を操作できます。あらかじめネットTVボタンまたは録画機器ボタンに機器を登録してください。
本機とマルチリモコンとの登録方法について詳しくは、☞23ページをご覧ください。

対応している機器

機器	登録するマルチリモコンのボタン
ブルーレイディスクレコーダー＊	録画機器
ハードディスクレコーダー	録画機器
ネットワークTV	ネットTV

＊ 2007年9月以降発売のソニー製対応機器。

ご注意

別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」や登録する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

機器を登録するには

ネットTVボタンと録画機器ボタンのそれぞれに、1つの機器を登録できます。

1 登録したい機器の電源を入れる。

ご注意

登録する機器の主電源を入れてから5分以内に登録してください。

2 ネットTVまたは録画機器を押しながら、（戻る）を押し続ける。

— ネットTVボタンまたは録画機器ボタンのどちらか、機器を登録したいほうのボタンを押します。
— ネットTVボタンまたは録画機器ボタンが早く点滅したら指を離してください。
— マルチリモコンを登録したい機器に近づけて操作してください。

3 登録したい機器に対応した数字ボタンを押す。

手順2で押したネットTVボタンまたは録画機器ボタンが点灯します。

機器	数字ボタン
ブルーレイディスクレコーダー	①
ハードディスクレコーダー	②
ネットワークTV	③

4 決定を押す。

正しく登録されたときは、ネットTVボタンまたは録画機器ボタンが2回点滅して消灯します。点灯し続けている場合はもう一度決定を押してください。

マルチリモコンの登録を確認するには

正しく登録できた場合、接続した機器が操作できます。操作できない場合は、登録する機器の電源を入れてから5分経過してしまった可能性があります。いったん登録する機器の電源を切り、上記の手順1から登録し直してください。

次のページにつづく⇨

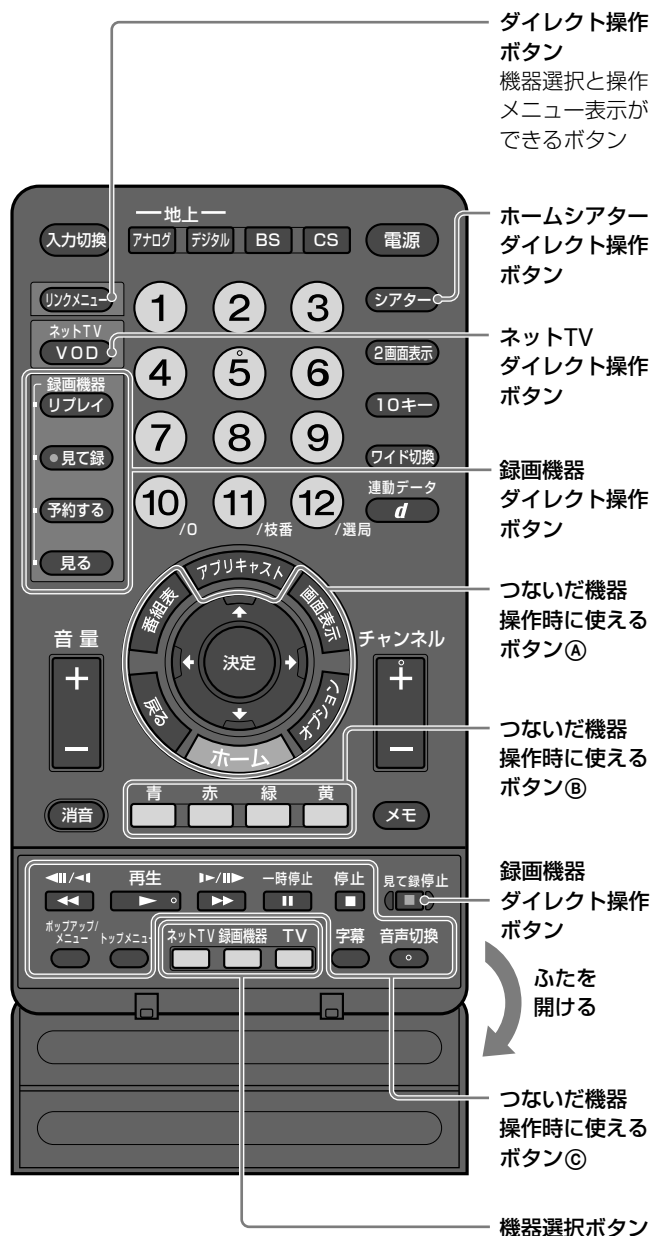
機器登録したリモコンモードを切り換えるには

ブルーレイディスクレコーダーでは、リモコンのモード切換ができます。録画機器本体のリモコンモードを変更した場合は、下記に従って、本機のリモコンを登録し直してください。

登録したボタン（ネットTV または 録画機器）を押しながら、リモコンモードに対応した数字ボタンを押し続ける。

確定すると、登録したボタンが2回点滅します。

リモコンモード	数字ボタン
BD1	①
BD2	②
BD3	③

本機マルチリモコンでブラビアリンク対応機器を操作する

対応機器リストを表示するには

1 ブラビアリンク対応機器以外の映像視聴中に、（リンクメニュー）を押す。

HDMI1 ～ 4入力につないだHDMI機器名が表示されます。

2 ↑↓で機器名を選んで、（決定）を押す。

選んだ機器の電源が入り、本機の入力が切り換わります。

ダイレクト操作するには

VOD、リプレイ、見て録、予約する、見る、見て録停止ボタンは、ネットTVボタンまたは録画機器ボタンに登録した（☞61ページ）ブラビアリンク対応機器をダイレクトで操作します。詳しくは、「機器を操作できるマルチリモコンボタン」（☞右記）をご覧ください。

操作メニューから操作するには

ブラビアリンク対応機器の映像視聴中に、リンクメニューを押す。

視聴中の機器の操作メニューが表示されます。

↑↓←→決定で項目を選んで操作します。

機器選択ボタンを使って操作するには

本機のマルチリモコンで直接再生操作などができます。

1 ブラビアリンク対応機器の映像視聴中に、ネットTVまたは録画機器、TVを押す。

ブルーレイディスクレコーダー、ハードディスクレコーダー

録画機器ボタンを押してください。

ビデオカメラ

TVボタンを押してください。

2 つないだ機器操作時に使えるボタンⓐ～ⓒ（☞62ページ）で、機器を操作する。

手順1で押したボタンが点灯するときのみ操作できます。

機器を操作できるマルチリモコンボタン

ボタン	操作
機器選択と操作メニュー表示ができるボタン	
リンクメニュー	操作する機器を選んだり、その機器の操作メニューを表示したりします。機器によって表示される内容は異なります。
録画機器を操作できるボタン	
見て録	視聴中に押すと、視聴している番組を録画機器で録画します（地上アナログは録画できません）。
予約する	録画機器の録画予約画面を表示します。（ブルーレイディスクレコーダーまたはハードディスクレコーダー）
リプレイ	視聴中に押すと、ハードディスクレコーダーに入力が切り換わり、視聴している番組の少し前に戻り、停止します。決定で再生を始めます。（ハードディスクレコーダーのみ）
見る	録画機器の録画リストを表示します。
見て録停止	見て録実行中に押すと、録画を停止します。通常の録画や録画予約のときは働きません。
ネットワークTVを操作できるボタン	
VOD	ネットワークTVのビデオオンデマンドサービスの一覧を表示します。
ホームシアターを操作できるボタン	
シアター	シアターモード（☞173ページ）になり、HDMIケーブルでAVアンプをつないでいれば、スピーカー出力が自動で切り換わります（☞65ページ）。

次のページにつづく⇨

ご注意

- ブラビアリンクで操作できる機能は機器によって異なります。
- リンクメニューボタンで操作メニューを表示できるのは、2008年2月以降に発売のビデオカメラなどです。
- ブラビアリンク対応機器について、詳しくは下記のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/bravia/support/
- 本機のマルチリモコンでは、機器によっては操作できない機能があります。そのような場合には機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のマルチリモコンのボタンに対応する機能が機器に無い場合は、そのボタンは働きません。

機器選択ボタン	
ネットTV、録画機器、TV	あらかじめ機器を登録しておくと、ネットTVボタンまたは録画機器ボタンに登録した機器を操作できるようになります。TVボタンを押すと、本機を操作できるようになります。
つないだ機器操作時に使えるボタン	
トップメニュー*1、ポップアップ*1／メニュー、◀II/◀I／◀◀、再生▶、I▶/II▶／▶▶、一時停止II、停止■	機器選択ボタンで選んだ機器を操作します。再生操作、メニュー表示ができます。
字幕、音声切換、画面表示、番組表	機器選択ボタンで選んだ機器を操作します。
↑↓←→(決定)、ホーム、オプション、戻る、カラーボタン(青、赤、緑、黄)	機器選択ボタンで選んだ機器を操作します。メニュー操作や項目選択などができます。

*1 録画機器ボタンにブルーレイディスクレコーダーを登録したときのみ操作できます。

HDMI1 ～ 4入力につないだ機器を操作するには、あらかじめ[HDMI機器制御設定]をしてください(☞92ページ)。

ブラビアリンク対応機器などHDMI機器制御ができる機器を操作する

HDMI1 ～ 4入力端子にHDMI機器制御ができる機器をつないでいるときは、ホームメニューの⊡(外部入力)の列に機器名が表示され、下記の操作ができます。本機とつないだ機器ともに主電源が入っている状態で行ってください。

ブルーレイディスクレコーダー／DVDプレーヤーなどのときは

ハードディスクレコーダーやネットワークTVなどでも同様に操作できます。

操作	できること
本機で、ホームメニューの⊡(外部入力)からHDMI機器を選ぶ	HDMI機器の電源が入り、本機の入力が切り換わります。
HDMI機器で再生を始める	本機の電源が入り、再生映像が表示されます。
本機の電源を切る*2	HDMI機器も設定していれば連動して電源が切れます。

*2 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

ご注意

- HDMI1 ～ 4入力につないだ機器を操作するには、つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御ができるように設定されている必要があります。
- HDMI機器によっては、本機の電源を切っても連動して切れないことがあります。

ちょっと一言

- 次のボタンを押すと、本機を操作できるようになります。
  数字ボタン、チャンネル＋／－ボタン、アプリキャストボタン、地上アナログボタン、地上デジタルボタン、BSボタン、CSボタン、2画面表示ボタン、入力切換ボタン
- HDMI機器の電源を切ると、最後に見ていたチャンネルまたは入力に切り換わる可能性があります。

AVアンプのときは

操作	できること
本機の電源を入れる[*1]	前回電源を切ったときに、音声がAVアンプから出力されていれば、AVアンプの電源が入り、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります[*2]。 **音量調節:AVアンプ**[*3]
本機で、オプションの[スピーカー出力]を[AVアンプ]に切り換える	AVアンプの電源が入り、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります[*2]。 AVアンプにつないだ録画機器などの映像を本機で視聴しているときは、録画機器の音声がAVアンプから出力されます。 **音量調節:AVアンプ**[*3]
AVアンプの電源を入れる	本機の電源が入っていれば、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります[*2]。 AVアンプにつないだ録画機器などの映像を本機で視聴しているときは、録画機器の音声がAVアンプから出力されます。 **音量調節:AVアンプ**[*3]
本機の電源を切る[*4]	AVアンプの電源が切れます。 AVアンプにつないだ録画機器も設定をしていれば連動して電源が切れます。
本機で、オプションの[スピーカー出力]を[テレビスピーカー]に切り換える	音声が本機のスピーカーからの出力に切り換わります。 **音量調節:本機**[*3]
AVアンプの電源を切る[*4]	音声がAVアンプから出力されているときは、本機のスピーカーからの出力に切り換わります。 **音量調節:本機**[*3]

*1 消音ボタンでテレビの電源を入れたときは、AVアンプの電源は入りません。
*2 AVアンプを本機の光デジタル音声出力につなぐ必要があります(☞30ページ)。
*3 本機リモコンの音量+/−ボタン、消音ボタンで音量を調節できる機器です。
*4 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

ビデオカメラのときは

操作	できること
ビデオカメラの電源を入れる、電源の入ったビデオカメラをつなぐ	本機の電源が入ったあとで、入力が切り換わり、ビデオカメラの操作メニューが表示されます。
本機の電源を切る[*5]	ビデオカメラも連動して電源が切れます。
本機マルチリモコンのリンクメニューボタンを押す	ビデオカメラの操作メニューが表示され、本機のリモコンで操作できます。本機のオプションで[接続機器操作]から[メニュー]を選んでも、ビデオカメラの操作メニューを表示できます。

*5 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

ご注意

- AVアンプはホームメニューの(外部入力)からは選べません。
- リンクメニューボタンで操作メニューを表示できるのは、2008年2月以降に発売のビデオカメラなどです。

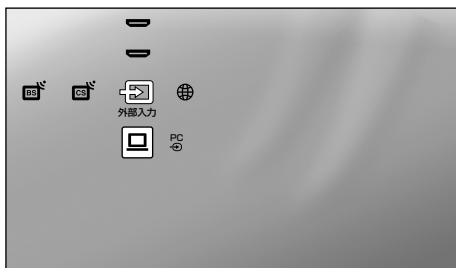
ちょっと一言

- 2008年3月以降に発売のソニー製ホームシアター機器の場合は、番組のジャンルに合わせて自動で音声効果が変わります。
- ビデオカメラの電源を切ると、最後に見ていたチャンネルまたは入力に切り換わる可能性があります。

パソコン(PC)の画像をテレビに映す

パソコンを接続してください(☞31ページ)。
対応入力信号については(☞158ページ)。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で(PC)または(HDMI)を選んで、決定を押す。

(PC)	PC入力につないだパソコンの画像に切り換わります。
(HDMI)	HDMI1 ～ 4入力につないだパソコンの画像に切り換わります。

デジタル放送の番組を画面に表示する

パソコンの画像を表示中に、2画面表示 を押す。
最後に選んでいたチャンネルが子画面に表示されます。

1画面表示に戻すには、もう一度2画面表示ボタンを押してください。

ご注意

パソコンやケーブルによっては、接続を正しく検出できず、入力が選べないことがあります。その場合は[オートインプットスキップ設定]の[スキップ設定]を[表示する]にしてください(☞60ページ)。

ちょっと一言

- パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 音量の調節は、パソコン側でも行ってください。
- 放送画面のチャンネルや放送は切り換えられます。ただし、録画実行中は録画番組しか視聴できません。
- 地上アナログ放送は子画面に表示されません。

オプションでできること…

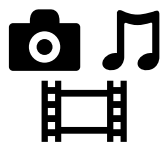
お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● パソコンの画像を表示中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
2画面表示	放送中の映像を2画面で表示します(☞66ページ)。
モーションエンハンサー	動きを滑らかにして映像の残像感を減らします(☞78ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞81ページ)。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
画面モード	画面モードを調整できます(☞85ページ)。
接続機器操作*	HDMI機器をHDMI1 ～ 4入力につないでいるときに、機器の操作メニューやオプション、リストなどを表示できます。機器操作は本機リモコンの↑↓←→(決定)で行います。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

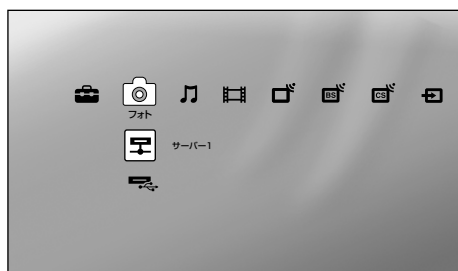
＊ つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御できるように設定されている必要があります。
また、つないだ機器が接続機器操作に対応している必要があります。

● 2画面表示中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
1画面表示	1画面表示に戻します。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞81ページ)。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
音声選択	音声を聞く画面を切り換えられます。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

デジタルカメラなどの写真や音楽、映像を楽しむ

あらかじめ接続(☞32ページ)をしてください。

本機につないだデジタルカメラやデジタルビデオカメラなどの静止画ファイル(写真)や音楽ファイル、映像ファイルを再生できます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(フォト)または(ミュージック)、(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で(USB)を選んで、決定を押す。

ファイルまたはフォルダのリストが表示されます。

サムネイル一覧を表示するには

リスト表示中に、黄 を押す。

リスト表示に戻すには、もう一度黄ボタンを押してください。

4 ↑↓で再生したいファイルまたはフォルダを選んで、決定を押す。

フォルダを選んだときは、次に、再生したいファイルを選んで、決定を押してください。再生が始まります。

フォト再生のオートスタートについて

本機の電源を入れてから、静止画ファイルが入っているデジタルカメラなどをUSB端子につないで電源を入れると、自動でフォト再生が始まるように設定されています(☞96ページ)。

ご注意

- (フォト)では、ファイルのサイズや横縦比によっては、画面いっぱいに表示されません。
- (フォト)では、静止画の表示に時間がかかるものがあります。
- つないでいるUSB機器にアクセス中は、本機やUSB機器の電源を切ったり、USBケーブルやUSB機器に入っている記録メディアを抜き差ししたりしないでください。保存データを破損する恐れがあります。
- 本機およびお使いの機器の不具合など、何らかの原因で記録内容が破損・消滅した場合などに対する保障はいたしかねますので、ご容赦ください。
- デジタルカメラなどをUSB端子につないだあとで、本機の電源を入れた場合は、自動で再生は始まりません(一部機器を除く)。

ちょっと一言

静止画にGPS情報があるときは地図が表示されます(☞110ページ)。地図を消したいときはオプションの[地図画像表示]を[非表示]にしてください(☞70ページ)。

地図を詳細表示させるには、インターネットの接続(☞100ページ)が必要です。

(フォト)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
(決定)	スライドショー一時停止／再生
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
↑←	前のファイルへ
↓→	次のファイルへ

(ミュージック)再生中に本機のリモコンで操作するには

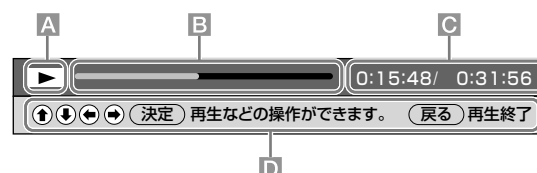
リモコンボタン	機能
(決定)	一時停止／再生
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
←→を押したままにする	飛び先指定
↑	頭出し再生*1
↓	次のファイルへ

*1 ファイル冒頭から3秒以内のときは、前のファイルを頭出し再生します。

(ビデオ)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
(決定)	一時停止／再生
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
←→	早戻し／早送り
←→を2回または3回押す	高速戻し／高速送り

情報パネルについて

情報パネルで再生の状態や再生時間などを確認できます。情報パネルは、画面表示ボタンで表示したり、閉じたりします*2。

A 再生状態

B 再生位置
総時間を認識できないファイルの場合は表示されません。

C 再生時間／総時間

D 操作ガイド表示欄
再生中に使えるリモコンボタンをガイド表示します。操作ガイドは約5秒で消えます。

*2 (フォト)で静止画表示中は情報パネルは表示されません。

つないだ機器の映像を見る

次のページにつづく⇨

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● (フォト)選択中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
画像表示範囲	全画面で表示するかどうかを設定します。[全画面]に設定した場合、フェイスフレーミング機能により写真の顔の位置を検出し、人の顔が切れないように自動調整します。
地図画像表示	GPS情報のある静止画のときに表示される地図の位置を移動したり、表示されないように設定できます。
再生方法	リピート/シャッフルのフォト再生設定ができます。
フォト再生設定	再生のしかたやスライドショー実行中の効果などを設定します。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧/リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	ファイルを再生します。
スライドショー	ファイルを連続再生します。BGMを流すには、あらかじめ♫(ミュージック)でBGMを登録してください。
回転して保存	[保護]の設定をしていないファイルを回転して保存できます。
回転	静止画を左右に90度または180度回転します。
保護	削除や回転状態の保持ができないようにファイルを保護できます。保護設定したファイルには🔒が表示されます。保護設定しているときは保護設定を解除できます。
削除	ファイルを削除します。
アップロード	フォトアップロードに対応したアプリがあるときに表示されます。アプリキャスト(☞105ページ)を起動し、選んでいるファイルをアプリ経由でインターネット上にアップロードできます。
DPOF設定	プリントしたい静止画にプリント予約マークを付けられます。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
画面モード	デジタルカメラなどで撮影した動画の画面モードを切り換えます(☞83ページ)。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。

ご注意

- [画像表示範囲]で[全画面]を選んだときは、画像の一部が表示されないことがあります。
- フェイスフレーミング機能は、写真によっては効果が出ない場合があります。

ちょっと一言

フェイスフレーミング機能は写真から人物の顔の位置を自動検出する機能です。
ソニー独自の顔認識技術「FACE DETECTION」を採用しています。

● (ミュージック)選択中

項目	できること
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
フォト再生時BGM解除	登録したBGMを解除します。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のミュージック再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	ファイルを再生します。
フォト再生時BGM登録	(フォト)でスライドショー実行中に流すBGMを登録します。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。

● (ビデオ)選択中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のビデオ再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	前回停止した位置、または冒頭からファイルを再生します。
頭出し再生	冒頭からファイルを再生します。
保護	削除できないようにファイルを保護できます。保護設定したファイルにはが表示されます。保護設定しているときは保護設定を解除できます。
削除	ファイルを削除します。
次チャプター再生	次のチャプターに飛びます。
前チャプター再生	チャプターの先頭または前のチャプター(チャプターの先頭から3秒以内のとき)に戻ります。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
画面モード	画面モードを切り換えます(☞83ページ)。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。

ご注意

[フォト再生時BGM登録]でフォルダを登録した場合、フォルダが保存されている機器のフォルダ／ファイル順が変わると、異なるフォルダが再生されることがあります。

本機の設定を変更する

設定画面でチャンネルや画質、音質などのさまざまな設定ができます。

1 ホーム**を押す。**

2 ◆◆で(設定)**を選ぶ。**

3 ◆◆**で設定したい項目を選んで、**決定**を押す。**

各設定項目の詳細については、下記の「設定カテゴリー一覧」に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー一覧

アイコン	説明
	お問い合わせ先が表示されます。
	お知らせ(☞73ページ) 本機や放送局からのメールやボード、ペイパービュー購入概算額などを確認できます。
	タイマー(☞74ページ) オンタイマー(自動で電源を入れる)やスリープタイマー(自動で電源を切る)などの時刻の設定ができます。
	画質·映像設定(☞75ページ) 画質や映像に関わる設定ができます。
	音質·音声設定(☞80ページ) 音質や音声に関わる設定ができます。
	画面モード(☞83ページ) 画面のサイズや横縦比などの調整、パソコン画像の画調整ができます。
	アンテナ設定(☞86ページ) 放送ごとにアンテナレベルを確認したり、衛星アンテナの電源を設定したりできます。
	放送受信設定(☞87ページ) 地域設定やチャンネル設定など、放送を受信するために必要な設定ができます。
	表示設定(☞90ページ) 字幕や文字スーパー、データ取得中表示の設定ができます。
	お好みナビ·語句設定(☞90ページ) お好みナビに関わる設定ができます。
	録画予約設定(☞91ページ) 録画予約するために必要な設定ができます。
	外部入出力設定(☞92ページ) 本機の外部入出力端子に関わる設定ができます。
	HDMI機器制御設定(☞92ページ) HDMI機器制御に関わる設定ができます。
	通信設定(☞93ページ) ネットワークや電話回線につないだときの設定やデータ放送の設定ができます。
	本体設定(☞96ページ) 省エネの設定や視聴年齢制限設定などができます。
1·2·3	かんたん設定(☞97ページ) 放送を見るための初期設定やマルチリモコンの登録などができます。

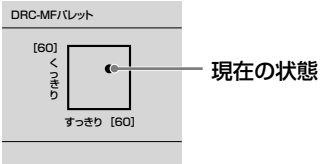
お知らせ

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
デジタル放送からのメール	放送局からお客様へのお知らせ(メール)を見ることができます。	
本機からのメール	ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。	
ボード(CSデジタル)	110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。	
ペイパービュー購入履歴	先月と今月分の購入概算額と最近購入した番組の一覧を確認できます。	
登録発呼	データ放送で、クイズやアンケートに回答するときなど、回線が混んでいて通信できないことがあります。そのようなときに、あとで発信するように登録・予約できます。	
[登録発呼]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**発呼履歴一覧**	[発呼履歴一覧]を表示できます。
	発呼/発呼中止	選んだ番組が発呼受付期間中のときは、すぐに発呼できます。発呼中は発呼を取り消せます。
	詳細表示	選んだ番組の詳細情報を見ることができます。
	予約/予約取消	選んだ番組が発呼受付開始前のときは、発呼の予約ができます。予約済みのときは予約を取り消せます。
	削除禁止/削除禁止解除	選んだ番組を削除できないように設定できます。削除禁止にしているときは、[削除禁止]を解除できます。
	削除	選んだ番組を削除できます。
[発呼履歴一覧]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**登録発呼一覧**	[登録発呼]を表示できます。
	全件削除	すべての発呼履歴を削除できます。

タイマー

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
現在時刻設定	デジタル放送を正しく受信できないときや、ケーブルテレビ(CATV)でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を自動で取得できないことがありますので、手動で設定してください。	
オンタイマー	**オンタイマー**	見たい番組があるときや目覚まし時計がわりに、本機の電源を入れられます。 [入]を選ぶと、設定した時刻に自動で電源が入ります。 **ご注意** • [入]に設定したあとは、リモコンの電源スイッチで電源スタンバイ状態にしてください。本体の電源スイッチで電源を切らないでください。 • [オンタイマー]を使うには、デジタル放送で時刻情報を取得するか、[現在時刻設定]を行う必要があります。 • ケーブルテレビ(CATV)でデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できず、[オンタイマー]を使えないことがあります。[現在時刻設定]で時刻を設定してください。
	曜日	以下から曜日を選びます。 毎日、毎週(月)~(金)、日、月、火、水、木、金、土、毎週(日)、毎週(月)、毎週(火)、毎週(水)、毎週(木)、毎週(金)、毎週(土)
	時刻	時刻を設定します。
	視聴時間	設定した時間が経過すると自動で電源が切れます(電源スタンバイ)。 1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間
	チャンネル	放送とチャンネルを選びます。
	音量	テレビスピーカーの音量を調節します。
スリープタイマー	**120分/ 90分/ 60分/ 45分/ 30分/ 15分/切**	自動で電源を切る(電源スタンバイ)までの時間を選びます。

画質・映像設定

画質

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	**共通**	対応する画質モードがある入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、HDMI3、HDMI4、USB(ビデオ)、ネットワーク機器(ビデオ)、USB(フォト/ミュージック)、ネットワーク機器(フォト/ミュージック)、インターネットブラウザ、2画面、PC
画質モード **次のようなときのみ、フォト専用の画質モードを選べます。** • ホームメニューの(フォト)で写真を再生中 • レンダラー機能を使って写真を再生中 • [ビデオ・フォト切換]で[フォト]に設定した外部入力を表示中(☞78ページ) • [ビデオ・フォト切換]で[ビデオ-A]に設定したHDMI入力で、フォト(静止画)を表示中(☞78ページ)	**ダイナミック**	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像になります(お買い上げ時の設定)。
	スタンダード	ご家庭でのご使用に合わせ、自然さを重視した標準的な映像になります。通常は[スタンダード]がおすすめです。
	シネマ1	映画スタジオでの編集環境に準じた映像になります。
	シネマ2	家庭で映画を鑑賞するのに適した映像になります。
	カスタム	オリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整します。
	フォト-ダイナミック	フォト専用に映像の輪郭、コントラスト、色を重視した鮮やかな映像になります。
	フォト-スタンダード	フォト専用に自然さを重視した標準的な映像になります。
	フォト-オリジナル	フォト専用に温かみのある映像になります。
	フォト-カスタム	フォト専用にオリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整できます。
標準に戻す	**はい** **いいえ**	[はい]を選ぶと、[画質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
バックライト	調整バーを左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。	
ピクチャー	調整バーを左に動かすと明暗の差が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	
明るさ	調整バーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。	

次のページにつづく⇨

設定したいこと	項目	項目説明
色の濃さ	調整バーを左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと濃くなります。	
色あい	調整バーを左に動かすと色あいが赤みがかり、右に動かすと緑がかります。	
色温度	高／中／低1 ／低2	高い温度ほど青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。[低1]と[低2]は[画質モード]で[ダイナミック]、[フォト-ダイナミック]以外を選んだときのみ設定できます。
シャープネス	調整バーを左に動かすと映像の輪郭が柔らかくなり、右に動かすとはっきりとします。	
ノイズリダクション	オート	映像のざらつきや色ノイズを検出して自動で軽減します。地上アナログ放送やビデオ入力時に使用できます。
	強／中／弱	ノイズの多さに応じて、強さを選び、映像のざらつきや色ノイズを軽減できます。ゴーストなど電波障害は軽減されません。
	切	ノイズ処理していないオリジナル映像信号に戻ります。映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。
MPEGノイズリダクション	強／中／弱／切	デジタル特有のモスキートノイズやブロックノイズを低減できます。 ちょっと一言 MPEGノイズとは、DVDやハードディスクレコーダーに録画モードを長時間対応にして録画された映像などに出やすいノイズで、文字の輪郭などに蚊が飛んでいるように見えるモスキートノイズやモザイク状のひずみが出るブロックノイズがあります。
DRC-MFモード切換	モード1	地上アナログやビデオ、デジタル放送の標準テレビ信号などの一般的な映像や、デジタルハイビジョン信号のときに選びます（お買い上げ時の設定）。
	モード2	地上／ BS ／ 110度CSデジタル放送視聴時に画面の両横にパネルが入っている番組のときに選びます。入力信号フォーマットが1080iのときのみ設定できます。 サイドパネル
	切	DRC-MFを[切]に設定します。
DRC-MFパレット	映像のくっきり（リアル感）とすっきり（ざらつき感）を調整します。ノイズが多いときはカーソルを右に調整して、「すっきり」を上げてください。 DRC-MFパレット [60] くっきり すっきり [60] 現在の状態	

設定したいこと	項目	項目説明	
詳細設定 [画質モード]で[ダイナミック]、[フォト-ダイナミック]以外を選ぶと設定できます。	**標準に戻す**	**はい**	[はい]を選ぶと、[詳細設定]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
		いいえ	
	黒補正	**強/中/弱/切**	お好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くできます。
	アドバンスト C.E.	**強/中/弱/切**	映像の明るさを判別し、コントラストを自動で調整します。特に、黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに再現します。
	ガンマ補正	**強/中/弱/切**	お好みに合わせて、映像の明暗のバランスを調整できます。
	LEDコントロール (KDL-46XR1/ KDL-55XR1のみ)	**標準/弱/切**	バックライトを局所的に分割制御することで、コントラストを改善します。とくに暗所での視聴において、高コントラスト、高画質を実現します。
	オートライト リミッター	**強/中/弱/切**	明るいシーンで画面のまぶしさを抑えることができます。
	クリアホワイト	**強/弱/切**	お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。
	カラースペース	**スタンダード**	標準的な色を再現します。
		ワイド	バックライトの特性を活かした、より鮮やかな色を再現します。
	ライブカラー	**強/中/弱/切**	お好みに合わせて、色の鮮やかさを強調できます。
	色温度調整	**標準に戻す**	[色温度調整]をお買い上げ時の設定に戻します。
		Rゲイン/ Gゲイン/ Bゲイン/ Rバイアス/ Gバイアス/ Bバイアス	色温度を色ごとに細かく調整します。
	ディテール エンハンサー	**強/中/弱/切**	映像の微細な部分を強調できます。
	エッジ エンハンサー	**強/中/弱/切**	映像の輪郭を強調できます。

次のページにつづく⇨

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
シネマ画質モード切換	**シネマ1／シネマ2**	リモコンのシアターボタンを押してシアターモードに切り換える(☞173ページ)ときにどの画質モードにするか(☞75ページ)を設定します。
モーションエンハンサー	**地上アナログ／地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル／ビデオ1／ビデオ2／ビデオ3／コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4／PC／ネットワーク機器(ビデオ)**	動きを滑らかにして映像の残像感を減らす機能です。 KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-52X1のみ 映画などの映像で[強]を選ぶと、動きがより滑らかになります。通常は[標準]のままお使いください。[強]や[標準]にしていてノイズが気になるときは[切]を選んでください。 [ゲームテキストモード]が[入]のときは設定できません。 KDL-46XR1/KDL-55XR1のみ 映画などの映像で[スムーズ]を選ぶと、動きがより滑らかになります。通常は[標準]のままお使いください。速い動きを含む映像で[クリア]を選ぶと、動きがより滑らかで残像感が少なくなります。[スムーズ]、[標準]、[クリア]にしていてノイズが気になるときは[切]を選んでください。[ゲームテキストモード]が[入]の時は設定できません。 **ご注意** 映像によっては切り換えても効果がわかりづらい場合があります。
シネマドライブ	**地上アナログ／地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル／ビデオ1／ビデオ2／ビデオ3／コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4／ネットワーク機器(ビデオ)**	[オート1]を選ぶと映画などのフィルム映像が、原画より滑らかな動きになります。通常は[オート1]のままお使いください。[オート2]を選ぶと、映画フィルム映像をより原画に忠実な映像に再現します。[オート1]または[オート2]にしていて輪郭がギザギザして見えるときは[切]を選んでください。
ゲームテキストモード	**地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル／ビデオ1／ビデオ2／ビデオ3／コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4／PC**	[入]を選ぶと、ゲーム映像やPCのテキスト映像に適した画質になります。画質を変更する場合は、[画質](☞75ページ)で調整するか、[切]を選んで[画質モード]を変更してください。ゲーム機やパソコン(PC)接続時にコントローラー動作やマウス動作と、映像や音声がずれるのが気になるときは[入]を選んでください。 [切]を選ぶと、自然画に適した映像になります。
ビデオ・フォト切換	**コンポーネント1／コンポーネント2**	[ビデオ]を選ぶとビデオ(動画)に適した画質になります。 [フォト]を選ぶと、入力信号フォーマットが1125(1080)/60iまたは1125(1080)/60pのときはフォト(静止画)に適した画質になります。それ以外の信号フォーマットはビデオ(動画)に適した画質になります。
	HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4	**ビデオ-Aモード対応のソニー製HDMI端子付き機器を直接つないだときは** [ビデオ-A]を選ぶと、入力信号フォーマットが1125(1080)/60iまたは1125(1080)/60pのときはビデオ(動画)またはフォト(静止画)を自動判別し、それぞれに適した画質になります。それ以外の信号フォーマットはビデオ(動画)に適した画質になります。 **ビデオ-Aモード非対応の機器をつないだときは** [ビデオ]を選ぶとビデオ(動画)に適した画質になります。 [フォト]を選ぶと、入力信号フォーマットが1125(1080)/60iまたは1125(1080)/60pのときはフォト(静止画)に適した画質になります。それ以外の信号フォーマットはビデオ(動画)に適した画質になります。 [ビデオ-A]を選ぶとビデオ(動画)に適した画質になります。

設定したいこと	項目	項目説明
ビデオ色空間（x.v.Color）	ビデオ1／ビデオ2／ビデオ3／コンポーネント1／コンポーネント2／ネットワーク機器（ビデオ）	オリジナルの映像の色空間に合わせることによって、それぞれに適した画質になります。
	HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4	オリジナルの映像の色空間に合わせることによって、それぞれに適した画質になります。［オート］に設定しておくとxvYCCまたはx.v.Color規格に準拠した信号が入力されると自動で判別し、それぞれに適した画質になります。HDMI入力からRGB信号を入力しているときは、［x.v.Color］に設定していても［ノーマル］に適した画質になります。
フォト色空間	すべての入力を標準に戻す	［フォト色空間］をお買い上げ時の設定に戻します。
	コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4／USB（フォト）／ネットワーク機器（フォト）	撮影映像の色空間に合わせることでそれぞれに適した画質になります。 なお、フォト色空間（sYCC、Adobe RGB）をx.v.ColorまたはxvYCCに変換出力する機器との接続においては、［sYCC］に設定することでオリジナルの色空間に適した画質になります。 HDMI入力からRGB信号を入力しているときは［sYCC］に設定していても［sRGB］に適した画質になります。
カラーマトリクス	すべての入力を標準に戻す	［カラーマトリクス］をお買い上げ時の設定に戻します。
	ビデオ1 525i（480i）／ビデオ2 525i（480i）／ビデオ3 525i（480i）	入力映像のカラーマトリクスを設定することで、それぞれに適した画質になります。 通常は［Y/CB/CR］のままお使いください。
	コンポーネント1／コンポーネント2	［オート］を選ぶと、フォーマットごとの標準規格に自動で切り換わり、それぞれに適した画質になります。 ［信号ごとに選択］を選ぶと、信号フォーマットごとに設定できます。 通常は［オート］のままお使いください。
	HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4	［オート］を選ぶと、カラーマトリクスを自動で判別し、それぞれに適した画質になります。 ［信号ごとに選択］を選ぶと、信号フォーマットごとに設定できます。 通常は［オート］のままお使いください。
	USB（フォト）／USB（ビデオ）／ネットワーク機器（フォト）	入力映像のカラーマトリクスを設定することで、それぞれに適した画質になります。 通常は［Y/CB/CR］のままお使いください。
RGBダイナミックレンジ	HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4	HDMI入力からRGB信号を入力しているときの入力信号レベルを切り換えます。 ［オート］を選ぶと、入力の信号レンジを自動で切り換えます。 映像が白くつぶれたり、黒くつぶれたりする場合は［フル］に設定してください。 通常は［オート］のままお使いください。

ちょっと一言

［ビデオ色空間］、［フォト色空間］の設定項目や説明文で使われている言葉の意味です。
sRGB：Exifバージョン2.1以前に定義された色空間の1つで「Adobe RGB」、「sYCC」に比べ色再現領域が狭い国際規格です。
sYCC：Exifバージョン2.2以降で定義されている静止画色空間の1つで「sRGB」色空間との互換性を保ちつつ物体のほぼ全ての色をカバーした国際規格です。
Adobe RGB：Exifバージョン2.21で定義されている静止画色空間の1つで印刷機器の色域をカバーした国際規格です。
x.v.Color：動画色空間「xvYCC」国際規格に対応し、従来より広い色域を再現でき、花の色や複雑に変化する美しい海の色など、自然界の色を鮮やかに再現します。

音質・音声設定

音質

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	**共通**	すべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、HDMI3、HDMI4、USB(ビデオ)、ネットワーク機器(ビデオ)、USB(フォト/ミュージック)、ネットワーク機器(フォト/ミュージック)、インターネットブラウザ、PC
音質モード	**ダイナミック**	重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質になります。
	スタンダード	オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質になります。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどのコンテンツ向きです。
	クリアボイス	話しことばが聞き取りやすく、長時間聞いても耳にやさしい音質になります。
標準に戻す	**はい**	[はい]を選ぶと、[音質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
	いいえ	
高音	調整バーを左に動かすと高音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
低音	調整バーを左に動かすと低音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
バランス	調整バーを左に動かすと左側の音が大きくなり、右に動かすと右側の音が大きくなります。	
サラウンド	**オート**	番組表のジャンル情報に応じて、サラウンド効果に切り換えて再生します。[サラウンド連動設定](☞81ページ)で連動するサラウンド効果を設定することができます。
	ライブスポーツ	スポーツをライブ観戦しているような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
	ミュージックホール	ホールなどで音楽を聞くような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
	シネマ	映画館のような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
	カスタム	臨場感あふれる音場を再現します。また[ボイスズーム]を細かく調整できます。
	切	5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、通常のステレオ音声(2ch)に変換して再現します。それ以外の音声はオリジナル音声をそのまま再現します。
ボイスズーム	セリフなどが聞き取りにくいときに調整します。 調整バーを左に動かすと人の声が小さくなり、右に動かすと大きくなります。 [サラウンド]で[カスタム]を選んだときのみ設定できます。表示値は、常に[カスタム]で設定したときの値となります。	
サウンドブースター	**強/弱/切**	お好みに合わせて、高低音域を強調して立体感あふれる音声に調整できます。 [音質モード]で[スタンダード]を選んだときのみ設定できます。

設定したいこと	項目	項目説明
自動音量調整	**入**	［入］を選ぶと、放送・入力信号の音量変化に合わせて、音量を自動補正します。CMの音量が番組の音量より大きいときなどに有効です。
	切	
音量レベル	音の大きさが気になるときに調整します。 調整バーを左に動かすと他の入力より音が小さくなり、右に動かすと他の入力より音が大きくなります。 ［設定対象］で［共通］を選んだときは、調整できません。	

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（72ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
サラウンド連動設定	**スポーツ／音楽／映画**	デジタル放送の番組のジャンルに合わせて自動的にサラウンドの設定を切り換えます。［カスタム］を選んだときは、オリジナルの音声をお好みに合わせて調整できます（☞80ページ）。
	その他のジャンル／ジャンル情報なし	スポーツ、音楽、映画以外のジャンルの番組やデジタル放送の番組以外のときの、サラウンド効果を設定します。
サイレンススタート	**入**	［入］を選ぶと、電源を入れたときに本機のスピーカーからの音声が徐々に大きくなるようにできます。
	切	
スピーカー出力	**テレビスピーカー**	本機のスピーカーから音声が出ます。
	AVアンプ	本機のスピーカーから音声が出なくなります。 HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1 ～ 4入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます（☞65ページ）。［HDMI機器制御設定］（☞92ページ）をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
ヘッドホン使用時設定	**ヘッドホンのみ使用**	ヘッドホンをつないでいるときは、本機のスピーカーから音声が出ません。
	スピーカー・ヘッドホン併用	ヘッドホンをつないでいるときは、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音声が出ます。
音声外部出力設定	**固定**	音声出力からは一定の音量で音声が出力されます。
	可変	音声出力から出力される音量を、リモコンの音量＋／－ボタンで調節できます。
ウーファーレベル	**最大／1／0／－1／最小**	低音域のレベルを設定します。壁掛けや広い部屋でご使用の場合などの設置状況により、低音域が大きく感じたり、小さく感じたりするときにお好みで設定します。

次のページにつづく⇨

設定したいこと	項目	項目説明
光音声出力設定	オート1	光デジタル音声出力に圧縮音声対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声は圧縮音声のまま出力されます。地上アナログやアナログ録画機器からの音声は、PCM音声のデジタル音声に変換して出力されます。
	オート2	光デジタル音声出力に圧縮音声対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。2ch以下の圧縮音声と地上アナログやアナログ録画機器からの音声は、PCM音声のデジタル音声に変換して出力されます。AAC音声の副音声への切り換えを本機の音声切換ボタンで操作したい場合は[オート2]をおすすめします。
	PCM	光デジタル音声出力に圧縮音声に対応していないAVアンプやホームシアター機器などをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声も地上アナログやアナログ録画機器からのアナログ音声も、PCM音声のデジタル信号に変換して出力されます。
AVシンク	標準／モード1 ／モード2 ／モード3	光デジタル音声出力にAVアンプをつないでいるときに、音声と映像がずれるのが気になるときに調整できます。 AVアンプにも同等の機能があるときは、本機の設定を[標準]にして、AVアンプ側で調整してください。 AVアンプに同等の機能がない場合、[モード1]、[モード2]、[モード3]となるに従い、光デジタル音声出力が映像より早く出力されるように調整できます。

画面モード

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

放送や外部入力の設定項目(パソコン画像以外)

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	**共通**	パソコン画像以外のすべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、HDMI3、HDMI4、USB(ビデオ)、ネットワーク機器(ビデオ)
ワイド切換	**ワイドズーム／ノーマル／フル／ズーム／字幕入**	お好みの画面モードに切り換えられます。[オートワイド]を[切]に設定しておくとお好みの画面モードに固定できます(☞174ページ)。 **ご注意** 番組情報が表示されているときや視聴している番組によっては、ワイド切換ができないことがあります。
オートワイド	**入**	[入]を選ぶと、画像を検出して最適な画面モードに自動で切り換えます。
	切	**ご注意** • 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。 • ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示させてご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。 • オートワイド[入]のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。 • HDMIケーブルでつないだ機器の録画または出力の設定によっては、動作が異なることがあります。つないだ機器側の設定を確認してください。
4:3映像	**ワイドズーム／ノーマル／切**	[オートワイド]が[入]のときに4:3映像をどのように表示するか選べます。

次のページにつづく⇨

設定したいこと	項目	項目説明
表示領域	**オート**	HDMI入力時に、SCANインフォメーション規格に準拠した信号が入力されると自動で判別し、映像に適した表示領域で表示します。非対応信号の場合は、入力信号フォーマットが1080i/1080pのときは[フルピクセル]、480i/480p/720pのときは[標準]の表示領域となります。
	フルピクセル	下記の信号を受信していて、[ワイド切換]が[フル]に設定されているときに、オリジナルの画サイズで表示されます。 • コンポーネント入力(1080i/1080p) • デジタル放送(1080i/1080p) • HDMI入力(1125i(1080i)、1125p(1080p))
	＋1	下記の信号を受信しているときに、オリジナルの映像領域が表示されます。 • HDMI入力(480i/480p)で[ワイド切換]が[フル]または[ノーマル] • HDMI入力(720p)で[ワイド切換]が[フル]
	標準	推奨の表示領域になります。
	−1／−2	オリジナルの映像の画欠けを見えなくします。 画面の周辺が欠けたり周辺のノイズが気になる場合は、[−1]または[−2]に設定してください。
画面位置調整	**縦**	画面の位置を上下に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。
	横	画面の位置を左右に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。
縦サイズ	画面のサイズを上下に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。	

パソコン画像の設定項目（PC入力／ HDMI入力）

設定したいこと	項目	項目説明
自動画調整*	はい いいえ	[はい]を選ぶと、入力信号に合わせ、自動的に画面が最適になるように調整します。入力信号によっては、[自動画調整]により最適にならない場合があります。その場合は手動で[フェーズ]、[ピッチ]、[水平位置]、[垂直位置]を調整してください。
標準に戻す	はい いいえ	[はい]を選ぶと、パソコン画像の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
フェーズ*	画像にチラツキがある場合に調整します。	
ピッチ*	画像に縦じまのノイズがある場合に調整します。	
水平位置*	画像の水平位置を調整します。	
垂直位置*	画像の垂直位置を調整します。	
ワイド切換	ノーマル	オリジナルのサイズで表示します。
	フル1	オリジナル映像の横縦比率を保ったまま、画面いっぱいに表示します。
	フル2	オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。

＊ パソコンをHDMIケーブルでつないだ場合は設定できません。

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
地上デジタル:アンテナレベル **BS:衛星アンテナレベル** **CS:衛星アンテナレベル** 受信中のチャンネルのアンテナレベルが確認できます。地上デジタルでは[伝送チャンネル]で、BS/CSでは[3桁チャンネル番号]で受信するチャンネルを切り換えて、チャンネルごとの受信レベルを確認できます。 ちょっと一言 アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は受信C/Nの換算値を表します。	ビープ音	アンテナの向きを調整するときにテレビ画面で確認できない場合には[入]にします。受信レベルが良いほど高い音、悪いほど低い音が出ます。[切]にすると音は消えます。
	伝送チャンネル(地上デジタルのみ)	受信チャンネルを表示します。受信チャンネルを選んで、切り換えられます。
	3桁チャンネル番号	受信中のチャンネル番号を表示します。
	現在受信中の放送	受信中の放送局名を表示します。
	アンテナサービス	サービス技術者用の表示です。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。良好な放送受信には緑の受信レベルが望ましいです。
地上アナログ:アンテナレベル	受信チャンネル	受信中のチャンネル番号を表示します。
	アンテナレベル	受信中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。
	アンテナサービス	サービス技術者用の表示です。
地上アッテネーター	入 切	電波の送信元付近の地域などで、電波が強いため近隣チャンネルなどの干渉を受けるようなときは、[入]を選ぶと画面のノイズが軽減されます。
衛星アッテネーター	入 切	電波が強くて画面にノイズが出るときに、[入]または[切]に設定してみてください。
BS/CS:衛星アンテナ設定	オート	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。衛星アンテナ電源がショートして[切]になった場合は、本機の電源を入れ直すことで再び[オート]になります。
	入	本機の電源が入っているときはつねに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。[オート]の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは[入]を選びます。
	切	電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは[切]を選びます。
BS/CS:降雨対応放送受信	オート 切	[オート]を選ぶと、降雨対応放送(☞134ページ)が始まると自動で切り換わります。

放送受信設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（72ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
デジタル共通：番組情報取得	する しない	電源スタンバイ時にデジタル放送の番組情報を取得するかどうかを設定します。
デジタル共通：地域設定（県域）	都道府県名	お住まいの地域に合った放送チャンネル（地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通）の情報を取得するために設定します。引越しなどでお住まいの地域が変わったときは、新たに都道府県を選び直し、同時に［地上デジタル：自動チャンネル設定］でチャンネルも設定し直してください。
デジタル共通：地域設定（郵便番号）	郵便番号	お住まいの地域独自の放送チャンネル（地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通）の情報を取得するために設定します。お住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を選択ボックスの数字を変化させて選ぶか、1 ～ 10の数字ボタンで入力します。
地上デジタル：自動チャンネル設定	初期スキャン	設定してあるチャンネルを消去し、受信可能なチャンネルを自動で設定し直します。
	再スキャン	設定してあるチャンネルは変えずに、自動で受信可能チャンネルを追加したり、変更になったチャンネルを更新したりします。
地上デジタル：プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	地上デジタルのチャンネル	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには［－－－］を選びます。
地上デジタル：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	＋／－選局	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには［する］、選ばないチャンネルには［しない］を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには［する］、表示しないチャンネルには［しない］を選びます。
地上デジタル：自動チャンネル変更	する しない	［する］を選ぶと、放送局やチャンネルが増えたときや伝送チャンネルが変更されたときに自動で登録します。［しない］を選ぶと、自動では登録せず、チャンネルスキャンすると受信できるようになります。
受信状態	通常	地上デジタルで受信状態が良好のときは、［通常］に設定しておいてください。
	混信	［通常］にすると選局時にノイズが気になる場合に選びます。

次のページにつづく⇨

設定したいこと	項目	項目説明
BS:プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**BSデジタルのチャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[－－－]を選びます。
[BS:プリセット登録]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
BS:チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**＋／－選局**	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには[する]、表示しないチャンネルには[しない]を選びます。
CS:プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**110度CSデジタルのチャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[－－－]を選びます。
[CS:プリセット登録]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
CS:チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**＋／－選局**	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには[する]、表示しないチャンネルには[しない]を選びます。
番組の継続視聴	**する** **しない**	[する]を選ぶと、同じ番組を別のチャンネルで継続して放送(イベントリレー)するときに、自動でチャンネルが切り換わります。
チャンネル選局 チャンネル＋／－ボタンで切り換えられるチャンネルの範囲を選びます。	**通常**	視聴中の放送と放送サービス(例:地上デジタルのテレビ放送など)の中で順送りでチャンネルを切り換えられます。
	シームレス	放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)ごとに、すべての放送のチャンネルに切り換えられます。
地上アナログ:自動チャンネル設定	**オート**	放送局のある地域を選ぶ画面に変わります。お住まいにより近い放送局がある地域を選んでください。
	スキャン	受信できる地上アナログチャンネルを検索して、お住まいの地域のチャンネル情報を自動的に設定します。

設定したいこと	項目	項目説明
地上アナログ：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**受信チャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルには、[1]～[62]または[C13]～[C63]のいずれかのチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[－]を選びます。
	表示チャンネル	視聴中に画面に表示されるチャンネル番号を設定できます。受信チャンネルの番号ではなく、[表示チャンネル]で設定した番号で選局したいときに使います。[1]～[62]または[C13]～[C63]のいずれかのチャンネル番号を選びます。
	＋／－選局	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	オートステレオ設定	通常は[入]を選んで、ステレオ放送を自動的にステレオのまま受信します。ステレオ放送で雑音が気になるときは、[切]を選ぶと、音声はモノラルになりますが雑音は軽減できます。
	チャンネル微調整	チャンネルごとに受信状態を微調整できます。[オート]を選ぶと、自動で最適な受信状態に調整します。[カスタム]を選ぶと、手動で調整できます。
	GR設定 （KDL-46XR1/KDL-55XR1のみ）	画像がきれいに映っているときは、[切]を選びます。画像が二重･三重に映っているときは[入]を選ぶと、放送局から送信されるゴースト除去信号を感知し、建物や地形などによる電波反射で発生するゴーストを軽減できます。 **ご注意** • [GR設定]が[入]のとき、チャンネルを切り換えたあと数秒してから働きます。そのときに画面が一瞬またたくことがありますが、故障ではありません。 • 受信している電波が弱いときは、[GR設定]が働くまでに時間がかかることがあります。
	確定	設定を確定します。
	修正	選んでいるチャンネルの設定を変更できます。
	入換	設定されている内容を、そのまま他の数字ボタンに入れ換えられます。
	削除	自動登録されたチャンネルで電波が弱いチャンネルなどを選んで、削除できます。
	追加スキャン	受信できるチャンネルが増えたときなどに、すでに登録してあるチャンネルに追加して登録できます。
地上アナログ：ホームメニュー表示	**する** **しない**	地上デジタルを受信していて、地上アナログを視聴する必要がないときに、地上アナログをホームメニューに表示されないように設定できます。[する]を選ぶと、地上アナログをホームメニューに表示できます。

表示設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（72ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
お知らせタイトル	入 切	［入］を選ぶと、デジタル放送で選局したときに、選局先のチャンネル番号や現在放送されている番組のタイトルなどの情報を画面中央に表示します。
時計表示	入 切	［入］を選ぶと、画面右下に時刻を表示します。
デジタル放送：字幕	第1言語／第2言語／切	字幕のある番組を視聴中に字幕の言語を切り換えたり、字幕を消したりできます。
デジタル放送：文字スーパー	第1言語／第2言語／切	臨時ニュースなど、文字スーパーが送信されているときに文字スーパーの言語を切り換えたり、文字スーパーを消したりできます。
デジタル放送：データ取得中表示	入 切	［入］を選ぶと、デジタル放送の番組情報などを取得中に、画面にデータ取得中の表示を出します。

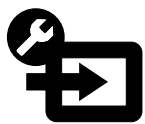
お好みナビ・語句設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（72ページ）をご覧ください。

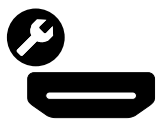
設定したいこと	項目	項目説明
お好みナビ	入 切	［入］を選ぶと、お好みの番組を自動で探し、お知らせします（☞47ページ）。
お好みナビ学習情報初期化	はい いいえ	お好みナビのために蓄積した学習情報を初期化します。
語句設定	番組検索やお好みナビで使う語句を設定します。	
［語句設定］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	お好みナビ登録／お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビのキーワードとして登録できます。すでに登録してあるときは、登録を解除できます。
	語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード（☞56ページ）で編集してください。
	語句削除	選んでいる語句を削除できます。

録画予約設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
録画方法	**シンクロ録画**	シンクロ録画に対応した録画機器をつないでいるときに選びます。録画機器が映像·音声信号を受信すると自動で録画します。
	AVマウス	録画機器にAVマウスをつないでいるときに選びます。AVマウスを通して録画を指示する信号が流れ、録画機器が自動で録画します。
シンクロ録画の開始時間設定 [録画方法]で[シンクロ録画]を選んだときのみ設定します。	**30秒前/60秒前/90秒前/120秒前/180秒前/240秒前**	録画機器が映像·音声信号を受信してから録画を開始するまでにかかる時間を選びます。 設定の目安 [30秒前]:ビデオデッキなど [90秒前]:ハードディスクレコーダーなど [180秒前]:DVDレコーダー、DVDレコーダー複合機など
AVマウス設定 [録画方法]で[AVマウス]を選んだときのみ設定します。	**メーカー**	録画機器のメーカー名を一覧から選びます。
	機器	録画機器の種類を一覧から選びます。選べる録画機器の種類はメーカーによって異なります。
	リモコンコード	[1]~[11]から選びます。リモコンコードはメーカーと録画機器によって選べる数が異なります。[電源オン/オフ]がうまくいかなかったときは、他のリモコンコードを選んでください。
	ライン入力	本機と接続している録画機器の入力を選ぶと、自動的に入力を切り換えて録画を開始します。メーカーと録画機器によってはライン入力は設定できません。
	電源オン/オフ	AVマウスが正しく設置、設定されていれば、録画機器の電源が入/切します。
二重音声設定	**主、副、主/副**	録画実行中は、本機のデジタル放送/ビデオ出力から出力される音声はここで選んだ音声に固定されます。
流動編成·イベントリレー対応設定	**する** **しない**	[する]を選ぶと、下記のような変更があったときに、変更に合わせて録画を実行します。 • 開始時刻が遅れたとき • 放送中に中断や割り込みがあったとき • 放送時間内に終わらず、引き続き別のチャンネルで放送する(イベントリレー)とき • 終了時刻が延長されたとき **次のようなときは、流動編成に対応しません。** • 放送局が放送時刻情報を送信しない番組 • 予約した番組が予定より早く始まったとき(早まった時間は録画されません) • 日時指定録画予約した番組 • 番組表からの録画予約設定で、くり返し録画するように設定しているとき

外部入出力設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
オートインプットスキップ設定	ビデオ1／ビデオ2／ビデオ3／コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4／PC	スキップ設定	[自動]を選ぶと、機器をつないでいるかどうかを自動検出して、機器をつないでいない入力はホームメニューや入力切換ボタンで切り換えられなくなります。
		表示名称(PC入力以外)	ホームメニューやリモコンの入力切換ボタンで選べる入力端子名やアイコンを一覧から選んで変更できます。[設定しない]を選ぶと機器の名前は表示されません。
オートS映像	入 切	ビデオ1入力で、S2映像端子と映像端子の両方をつないだときに、映像信号をどちらの端子から入力するかを設定します。[入]を選ぶとS2映像端子からの映像信号を入力します。[切]を選ぶと映像端子からの映像信号を入力します。	
ビデオ1出力の設定	ビデオ1出力あり	デジタル放送／ビデオ出力端子から、ビデオ1入力の映像と音声が出力されます。	
	ビデオ1出力なし	デジタル放送／ビデオ出力端子から、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。ビデオ1入力につないだ機器と、デジタル放送／ビデオ出力につないだ機器が同じときに選びます。	

HDMI機器制御設定

☞ブラビアリンクを使うときは、別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」をご覧ください。
☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
HDMI機器制御	する しない	HDMI1 ～ 4入力にHDMI機器制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI機器制御を有効にするかどうかを選びます。[する]を選ぶと、[テレビ→HDMI機器電源連動]と[HDMI機器→テレビ電源連動]の設定ができるようになります。また、HDMI機器制御に対応したAVアンプをつないでいるときは、本機のリモコンでAVアンプの音量を調節できます。 また、HDMI機器制御設定連動*に対応しているソニー製機器(AVアンプやビデオなど)のHDMI機器制御設定も有効になります。 **ご注意** • [する]を選んだときは、本機と対応機器の主電源を切らないでください。 • 有効にならない場合は、接続した機器側のHDMI設定も行ってください。
テレビ→HDMI機器電源連動	する しない	[する]を選ぶと、本機の電源を切るときにHDMI機器の電源も連動して切ります(☞64ページ)。
HDMI機器→テレビ電源連動	する しない	[する]を選ぶと、HDMI機器で電源を入れたり、再生などの操作をしたりするときに、本機の電源も連動して入ります(☞64ページ)。
HDMI機器一覧	HDMI入力につないだHDMI機器を一覧表示します。一覧表示されたAVアンプ以外の機器はホームメニューの(外部入力)から選べるようになります。[有効にする]を選ぶと、HDMI機器制御設定連動*に対応しているソニー製機器のHDMI機器制御設定も有効になります。	

＊ テレビのHDMI機器制御設定を有効にすると、HDMIで接続されているソニー製の「HDMI機器制御設定連動」対応機器のHDMI機器制御設定も有効にする機能です。

通信設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
ネットワーク設定	**IPアドレス取得方法**	[DHCPを利用(DNS自動)]を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。[DHCPを利用(DNS手動)]を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCPサーバー機能により、自動でDNSサーバー以外のネットワークの設定を割り当てます。DNSサーバーの設定は手動で行います。 [固定IPアドレスを指定]を選ぶと、ルーターの使用状況やプロバイダーの指定に合わせて、手動でネットワークを設定する必要があります。	
	接続診断	ネットワークに正常に接続できるか診断します。	
	IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/DNSサーバー(プライマリ)/ DNSサーバー(セカンダリ)	[IPアドレス取得方法]で[固定IPアドレスを指定]を選んだときに、⬆⬇で数字を選ぶか、1 ~ 10の数字ボタンで入力します。 [IPアドレス取得方法]で[DHCPを利用(DNS手動)]を選んだときも、[DNSサーバー(プライマリ)]と[DNSサーバー(セカンダリ)]を入力します。	
	MACアドレス	ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号を表示します。	
[ネットワーク設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**プロキシ設定**	**プロキシサーバー使用**	インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは[する]に設定してください。
		プロキシサーバー	[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。
		ポート(1 ~ 65535)	[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。
接続サーバー設定	**使用**	[する]を選ぶと、ネットワークに接続したサーバーをホームメニューに表示して選べるようになります。	
[接続サーバー設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**すべて削除**	接続サーバーをすべて削除します。	
	サーバーリスト更新	サーバーリストを最新の情報に更新できます。	
	情報	選んでいる接続サーバーの情報を表示できます。	
	削除	選んでいる接続サーバーを削除します。	
接続サーバー診断	**はい**	[はい]を選ぶと、サーバーに接続できるか診断します。	
	いいえ		
レンダラー機能	**入**	[入]を選ぶと、携帯電話やデジタルカメラなどのコントローラーを操作して写真や音楽、映像を本機で再生できます(☞110ページ)。	
	切		

次のページにつづく⇨

設定したいこと	項目	項目説明	
レンダラーアクセス制御設定	**する** **しない**	レンダラーにアクセス可能なコントローラーを設定します。[する]に設定したコントローラーを操作して写真や音楽、映像を本機で再生できます。	
[レンダラーアクセス制御設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**すべて削除**	コントローラーをすべて削除します。	
	情報	選んでいるコントローラーの情報を表示します。	
	リストから削除	選んでいるコントローラーを削除します。	
レンダラー詳細設定	**自動アクセス許可**	ネットワーク上のコントローラーが初めて本機にアクセスしたときに、自動でアクセス許可するかどうかを設定します。	
	スマートセレクト	スマートセレクト機能に対応したコントローラーから、すぐ近くにある本機を発見する機能を使用するかしないかを選びます。	
	レンダラー名	コントローラー側で表示される本機の名前をソフトウェアキーボード(☞56ページ)で設定できます。	
電話回線設定	**電話回線の種類**	[オート]:回線の種類を自動的に選びます。[オート]でうまく通信できないときは、[トーン]、[10pps]または[20pps]を選んでください。 ADSL回線を使っているときは[オート]を選びます。 [トーン]:プッシュホン回線またはISDN回線を使っているときに選びます。 [10pps]／[20pps]:プッシュホン回線を使っていないときに選びます。プッシュホン回線を使っているか不明のときは、電話会社にお問い合わせください。	
	発信方法	[通常発信]:外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかける場合に選びます。 [0発信]／[9発信]:外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」(0発信)または「9」(9発信)を付けるときに選びます。	
	電話線接続確認	電話線が正常に接続されているか確認します。 **ご注意** [電話線接続確認]は、本機と電話回線が物理的に接続されてやりとりできるかをテストします。テストがうまくいってもつながらないときは、[電話回線の種類]で[トーン]や[10pps]、[20pps]を正しく設定し直してください。	
[電話回線設定]を表示中にオプションから[詳細設定]を選ぶと表示されます。	**発信先への電話番号通知** デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、電話会社に問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。	**通知しない**	電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせない設定です。
		通知する	電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせる設定です。
		設定なし	電話番号の先頭に番号を付けません。
	電話会社の番号	必要なときに設定してください。	
	マイラインプラス契約	**していない** **している**	マイライン契約をしているかどうかを選びます。 **ご注意** データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

設定したいこと	項目	項目説明
データ放送:セキュリティサイト自動接続	する しない	[しない]を選ぶと、セキュリティサイトに入るときと出るときに確認ダイアログを表示します。
データ放送:証明書のダウンロード確認	する しない	[する]を選ぶと、放送局から新しい証明書が発行されたときに、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 ちょっと一言 • ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。セキュリティ情報をやりとりするときに、接続先のセキュリティサイトの証明書が確認され、信頼するかどうかを決定できます。 • サーバー証明書はセキュリティサイトを表示しているときに見ることができます。セキュリティサイトを表示しているときは画面右下にが表示されます。 • セキュリティサイトを表示中でも、証明書取得中はサーバー証明書を表示できないことがあります。
データ放送:証明書のダウンロード	する しない	[する]を選ぶと、放送局から新しい証明書が発行されたときに、自動でダウンロードします。

本体設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(72ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
USBオートスタート	**スライドショー／サムネイル一覧／切**	[スライドショー]または[サムネイル一覧]を選ぶと、フォトの入っているデジタルカメラなどをUSB端子につないで電源を入れると自動で再生を始めます。 **ご注意** デジタルカメラなどをUSB端子につないだあとで、本機の電源を入れた場合は、自動で再生は始まりません(一部機器を除く)。
ホームメニュー速度設定	**標準**	お買い上げ時の設定です。
	モード1	↑↓←→で操作したときにゆっくりカーソルが移動します。
	モード2	↑↓←→を押すたびにカーソルが移動します。↑↓←→を押し続けても早くスクロールすることはできません。
消費電力 消費電力量を抑えるように設定できます。	**標準**	お買い上げ時の設定です。
	減(明)	消費電力を抑えたいときに選びます。
	減(暗)	[減(明)]よりもさらに消費電力を抑えられます。
	減(消画)	ラジオ放送などをお楽しみになるときに、画面を消して音声のみを楽しめます。画面を表示するには、音声切換ボタン、消音ボタン、音量＋／－ボタン以外のボタンを押してください。 **ちょっと一言** 消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは[消費電力]が[標準]に戻ります。
消費電力レベルバー表示	**入** **切**	[入]を選ぶと、画面表示ボタンを押したときに、消費電力を示すレベルバーが表示されます。[バックライト]、[消費電力]、[明るさセンサー]、[アドバンスト C.E.]の設定に対応して消費電力レベルバー表示が変わります。
明るさセンサー	**入** **切**	[入]を選ぶと、周囲の明るさに合わせて自動で画面の明るさを調整します。[画質モード]と[消費電力]の設定によって、明るさセンサーによる効果が異なったり、効果が出にくいことがあります。
無操作電源オフ	**切／ 1時間／ 2時間／3時間**	選んだ時間中に本機の操作(チャンネル切換や音量調節など)をしなかった場合に、自動で電源を切ります(電源スタンバイ)。[切]を選ぶと、電源は自動で切れません。
PCパワーマネジメント	**入** **切**	[入]を選ぶと、PC入力のときに無信号を検出すると自動で電源が切れます(電源スタンバイ)。信号が入力されると自動で電源が入ります。 (HDMIケーブルでの接続は除く。)
暗証番号設定	[視聴年齢制限設定]を行うために暗証番号を設定します。 すでに暗証番号を設定してあるときは変更できます。設定してある暗証番号を入力してから新しい暗証番号を設定してください。 **ちょっと一言** 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。忘れてしまったときは、[個人情報初期化]を行い、一度消去することで新しく設定し直せます。その場合は、消去される内容(☞131ページ)はすべて消去されるのでご注意ください。	

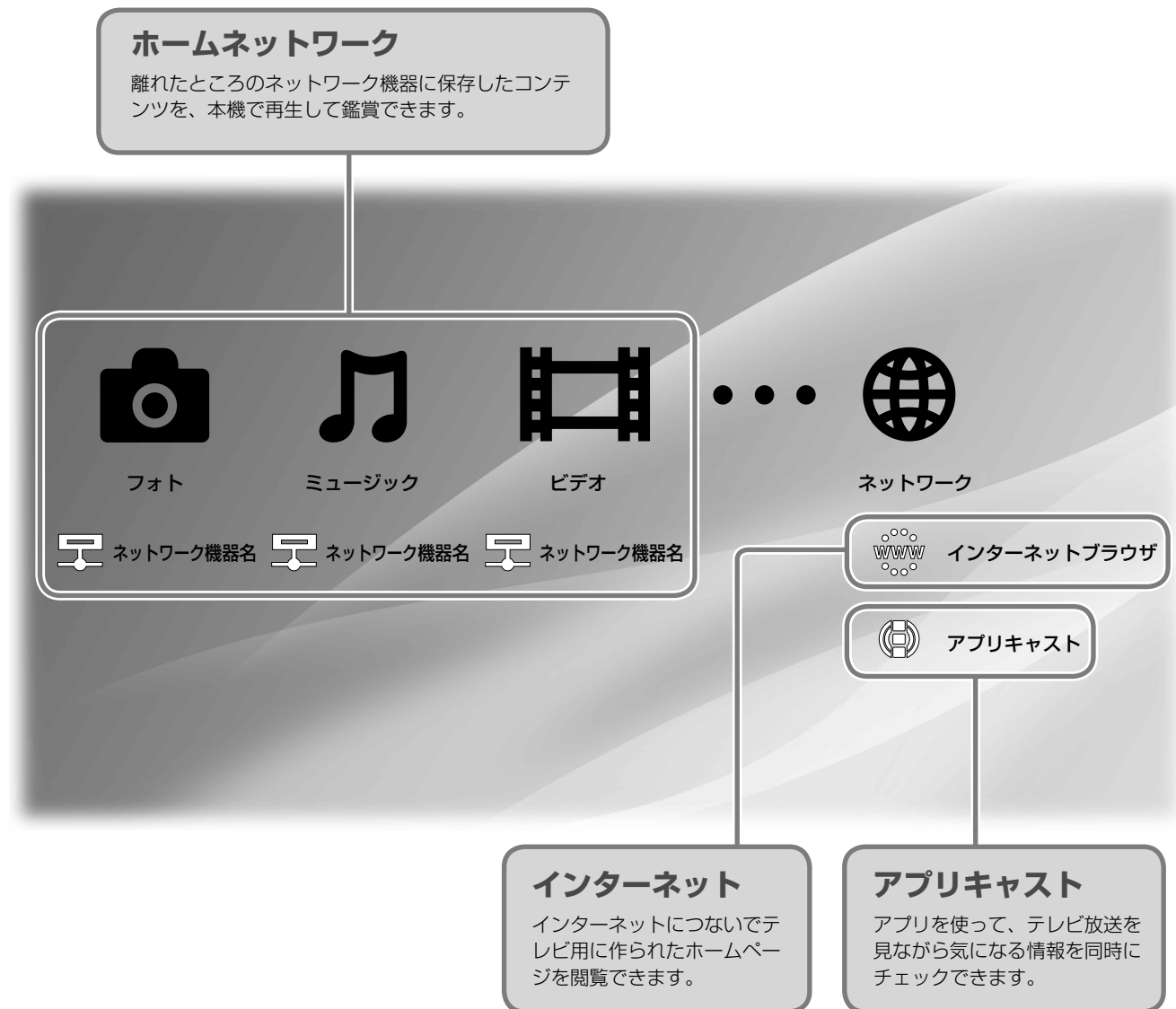
設定したいこと	項目	項目説明
視聴年齢制限設定	デジタル放送で推奨する視聴年齢がある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴／予約できないように設定できます。［暗証番号設定］で暗証番号を入力したあと、年齢を設定します。	
緊急警報放送設定	**電源を入れる**	緊急警報放送があるときは、電源スタンバイ時でも自動で電源が入るように設定できます（☞134ページ）。
	電源を入れない	
ロゴ イルミネーション	**入**	［入］を選ぶと、本機前面のソニーマークを光らせることができます。
	切	
本体ボタンイルミネーション（KDL-46XR1/KDL-55XR1のみ）	**オート**	本体のボタンに触れると点灯します。
	常時点灯	電源が入っているときは、本体のボタンが点灯します。
デジタル放送からのダウンロード	**オート**	［オート］を選ぶと、本機内部のソフトウェアを最新の状態に保つために、デジタル放送から自動でダウンロードします（☞132ページ）。
	しない	
個人情報初期化	**消去する**	［消去する］を選ぶと、本機を廃棄したり譲渡したりするときに、個人的な情報を消去できます（☞131ページ）。
	中止する	
カード・受信機情報表示	B-CASカードや本機の情報を表示します。	

かんたん設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（72ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目説明
かんたん初期設定	地上アナログ、地上·BS·110度CSデジタルの受信設定を、一連の流れでできます（☞24ページ）。
かんたん機能設定	本機を快適に使用するための基本的な設定を、一連の流れでできます（☞26ページ）。 ［サラウンド自動切換設定］／［お好みナビ設定］
マルチリモコン登録	一度登録したマルチリモコンを登録解除したり、新たに登録したりできます（☞23ページ）。

ネットワークにつないでできること

本機にネットワークをつないで、アプリやインターネットを楽しむことができます。DLNAガイドラインまたはソニールームリンクに対応しているネットワーク機器をつないで、ホームネットワークを楽しむことができます。使いたい機能に合わせて必要な接続と設定を行ってください。

接続・設定について

下記のページをご覧ください。

- ネットワークの接続:「LANと電話回線をつなぐ」(☞100ページ)
- ネットワークの設定:「本機のネットワーク設定をする」(☞102ページ)
- ホームネットワークを楽しむためには、さらに「ホームネットワーク設定をする」(☞103ページ)を行ってください。

操作について

下記のページをご覧ください。

- アプリキャスト:「アプリを楽しむ」(☞105ページ)
- インターネット:「ホームページを見る」(☞107ページ)
- ホームネットワーク:「パソコン(PC)などに保存した写真や音楽、映像をテレビで楽しむ」(☞109ページ)

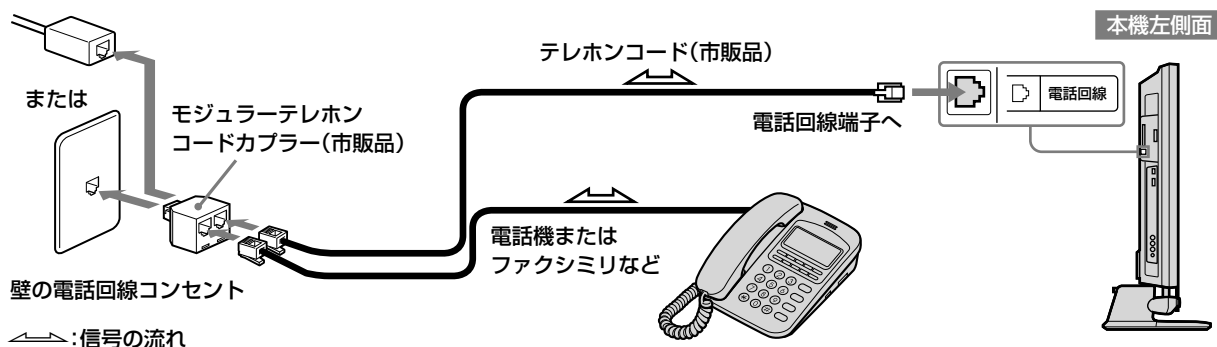
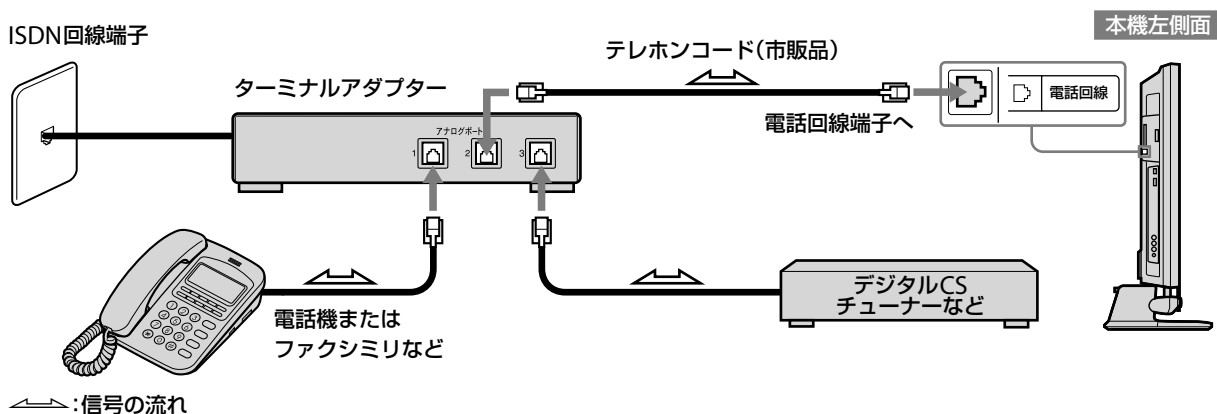
LAN・電話回線をつなぐ

つないでできること

- **電話回線**：ペイパービュー（有料番組）や視聴者参加型番組を楽しめます。
- LAN：パソコンなどのネットワーク機器をつなげば、他機器に保存している写真や音楽、映像を楽しめます（☞109ページ）。プロバイダーと契約すれば、インターネット上のアプリ（☞105ページ）やホームページ（☞107ページ）を楽しめます。

電話回線のみをつなぐ

お住まいの電話回線の状況に合わせてつないでください。壁の電話回線コンセントがモジュラージャック式でないときは、お買い上げ店や専門業者などにお問い合わせください。

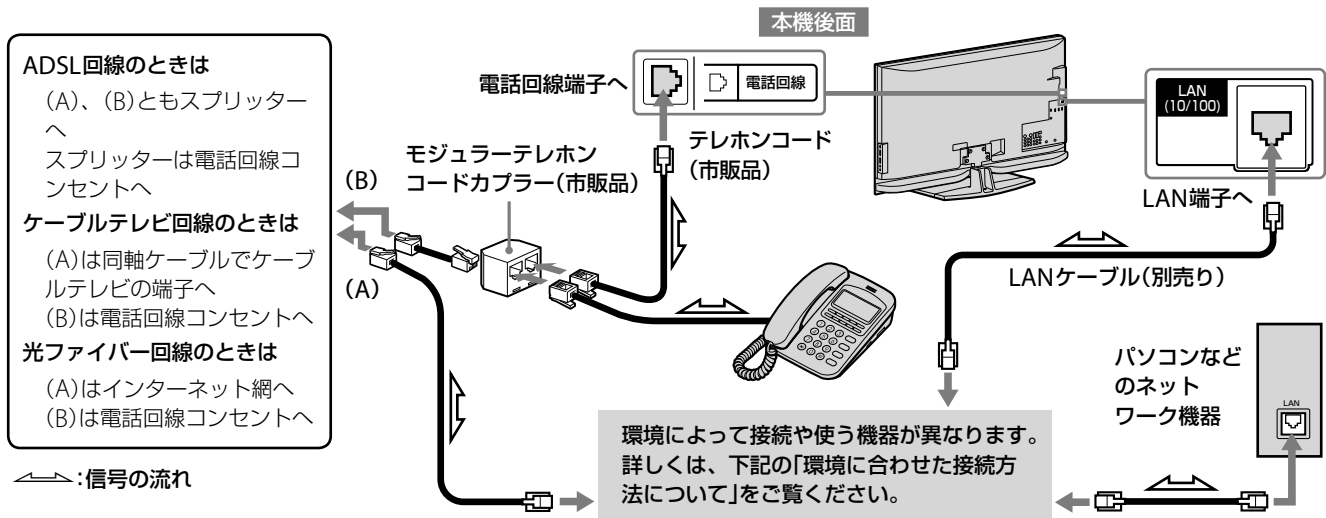
壁の電話回線コンセントから電話を直接つないでいるとき

ISDN回線を使ってつないでいるとき（アナログ接続）

次のページにつづく⇨

ご注意

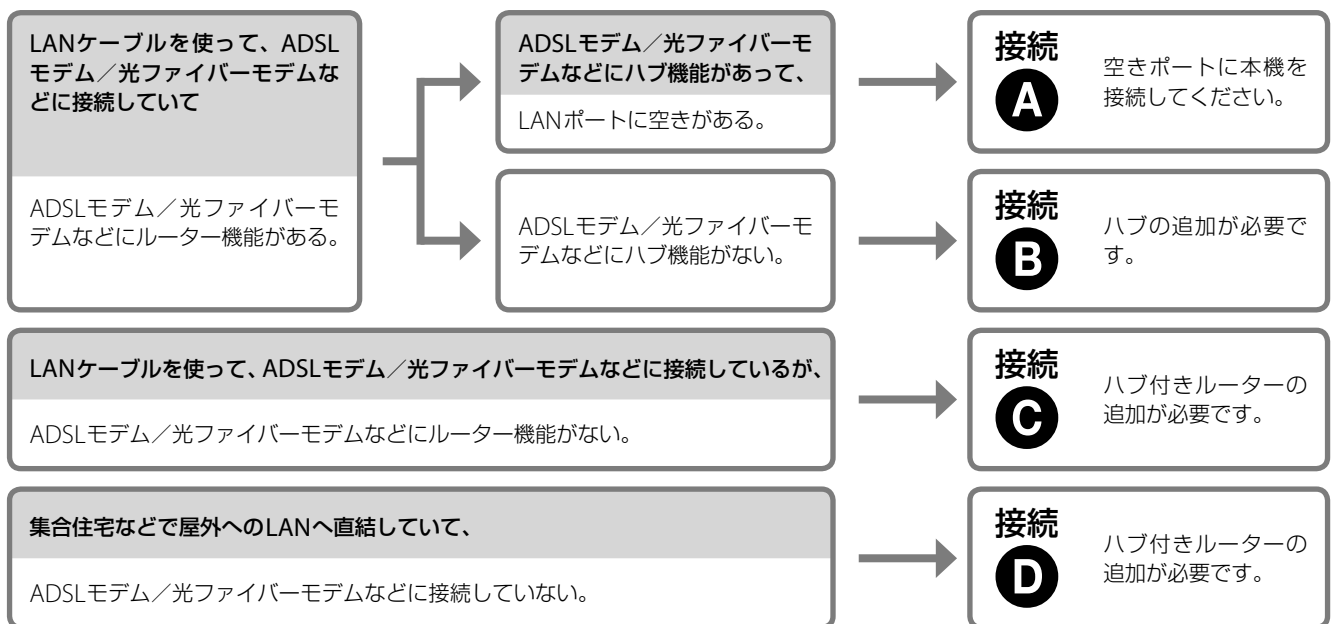
- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集団電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 船舶電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」（0発信）または「9」（9発信）以外の数字を付けるとき
  - ビジネスホン
- 電話回線の接続やお使いの環境によっては、操作に対して応答が遅くなることがあります。
- ISDN回線端子にモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- 光ケーブルを利用したIP電話などではご使用できない場合があります。ご利用の回線事業者にお問い合わせください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。

LANと電話回線をつなぐ

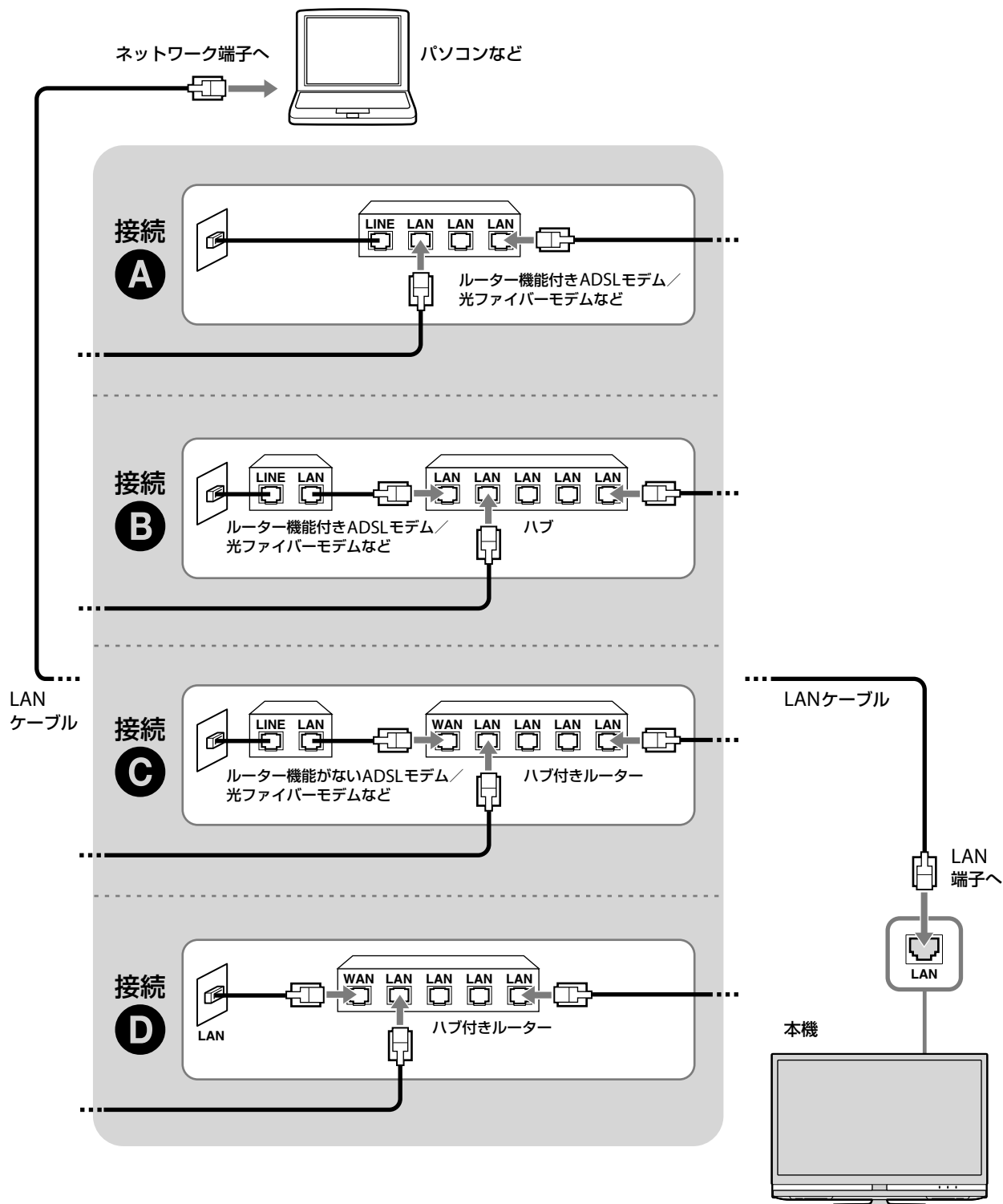
インターネット回線の状況に合わせてつないでください。

ADSL ／ケーブルテレビ／光ファイバー回線などでつないでいるとき

LANケーブルをお使いになるときは

- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-TタイプのLANケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

環境に合わせた接続方法について

ご注意

お使いのADSLモデム／光ファイバーモデムなどに、ルーター機能があるかどうかは、モデムなどに付属の取扱説明書をご覧ください。また、本機の動作のために、あらかじめモデムなどのルーター機能設定が有効になっている必要があります。詳しい設定方法はモデムなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

前ページの結果Ⓐ～Ⓓに従って、必要なネットワーク接続を行ってください。

ちょっと一言

- 本機が放送局と、双方向サービスなどを送受信しているときは、本機前面の消画／通信／タイマーランプが点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、モジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、自動転換器を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器をご使用ください。
- デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、電話会社に問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- モデムなどについてご不明な点は、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。
- 無線LAN接続をする場合、無線LANコンバーターが必要です。接続について詳しくは、無線LANコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

本機のネットワーク設定をする

ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号(IPアドレス)の設定などを、本機で行います。

DHCPを利用するときは

1 ホームメニューから(設定)→(通信設定)の順に選んで、決定を押す。

2 ↑↓で[ネットワーク設定]を選んで、決定を押す。

3 ↑↓で[IPアドレス取得方法]を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[DHCPを利用(DNS自動)]または[DHCPを利用(DNS手動)]を選んで、決定を押す。

[DHCPを利用(DNS手動)]を選んだときは、[DNSサーバー(プライマリ)]と[DNSサーバー(セカンダリ)]を入力してください。入力のしかたについては、「固定IPアドレスを指定するときは」の手順3～6をご覧ください。

5 ↑→で[接続診断]を選んで、決定を押す。

6 ←→で[はい]を選んで、決定を押す。

接続診断が始まります。「正常です。正しく入力されています。」と表示されたら、戻るボタンをくり返し押して、設定を終了してください。

固定IPアドレスを指定するときは

1 「DHCPを利用するときは」(☞上記)の手順1～3を行う。

2 ↑↓で[固定IPアドレスを指定]を選んで、決定を押す。

3 ↑↓で手動入力する項目を選んで、決定を押す。

設定項目について詳しくは、右記をご覧ください。

4 ①～⑩の数字ボタンまたは↑↓で3桁の数値を入力する。

5 →で右の枠に移動する。

6 手順4、5をくり返して4つの枠に入力し、決定を押す。

7 他の項目を設定するときは、手順3～6をくり返す。

8 ↑→で[接続診断]を選んで、決定を押す。

9 ←→で[はい]を選んで、決定を押す。

接続診断が始まります。「正常です。正しく入力されています。」と表示されたら、戻るボタンをくり返し押して、設定を終了してください。

設定項目

項目	説明
IPアドレス	ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号です。通常は3桁の数字4組を点で区切った形になっています。 例:169.254.xxx.xxx 「xxx」は0～255の任意の数字を入力します。
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、ネットワークに接続する機器に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するしくみです。 例:255.255.xxx.xxx
デフォルトゲートウェイ	IPアドレスの取得方法が[固定IPアドレスを指定]の場合で、インターネットに接続しないときは、本機のIPアドレスを指定してください。 例:169.254.xxx.xxx
DNSサーバー(プライマリ)／DNSサーバー(セカンダリ)	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、IPアドレスで特定されています。 例:169.254.xxx.xxx
MACアドレス	ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号を表示します。入力はできません。

オプションでできること…

●ネットワーク設定画面表示中

項目	できること
プロキシ設定	**プロキシサーバー使用**:インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは、[する]に設定してください。 **プロキシサーバー**:[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。 例:proxy.xxx.xxx.xxx **ポート(1～65535)**:[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。

ちょっと一言

「DNSサーバーが応答しません。」と表示された場合は、「故障かな?と思ったら」(☞125ページ)をご覧になり、接続と設定を確認してください。

ホームネットワーク設定をする

写真･音楽･映像ファイルなどのコンテンツを保存、配信する機器を総称して「サーバー」と呼びます。
本機は「プレーヤー」として、離れたところにある「サーバー」に保存されている写真･音楽･映像ファイルをネットワークを通して受信･再生できます。
ホームネットワークを楽しむためには、本機のほかに「サーバー」となるネットワーク機器が必要です。VAIOやブルーレイディスクレコーダーなど、ネットワーク機器の最新情報を以下のホームページで確認できます。
http:// www.sony.jp/event/DLNA/

サーバーと本機それぞれで設定を行います。

ホームネットワークサーバーを準備する

必ずサーバーの準備をはじめに行ってください。
サーバーの設定を行って本機からのアクセスが可能な状態にしてください。
サーバーでの設定について詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機にホームネットワークサーバーを登録する

より便利に使うために、接続したサーバーごとにホームメニューに表示して選択するかどうかを設定できます。まずはサーバーをホームメニューから選べるように設定します。なお、接続したサーバーは10台まで自動的に設定されます。

1 ホームメニューから(設定)→(通信設定)の順に選んで、決定を押す。

2 ↑↓で[接続サーバー設定]を選んで、決定を押す。

「接続サーバー設定」画面が表示されます。

3 ↑↓でホームメニューに表示したいサーバーを選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[する]を選んで、決定を押す。

サーバーをホームメニューに表示しないようにするには

1 左記の手順1、2を行う。

2 ↑↓でホームメニューに表示しないサーバーを選んで、決定を押す。

3 ↑↓で[しない]を選んで、決定を押す。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●接続サーバー設定画面表示中

項目	できること
すべて削除	すべての接続サーバーを削除します。
サーバーリスト更新	サーバーリストを最新の情報に更新できます。
情報	選んでいる接続サーバーの情報を表示できます。
削除	選んでいる接続サーバーを削除します。

次のページにつづく⇨

接続サーバー診断をする

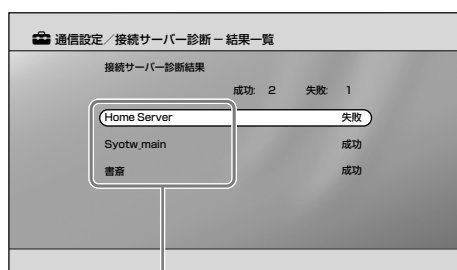
ホームネットワークにうまく接続できないときに、本機でサーバーを正しく認識できるか確認します。

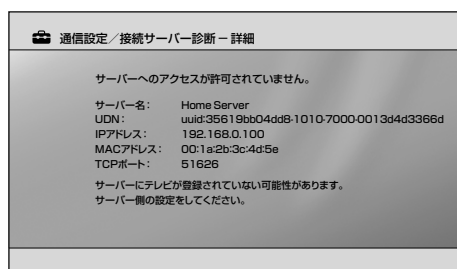
1 **ホームメニューから（設定）→（通信設定）の順に選んで、決定を押す。**

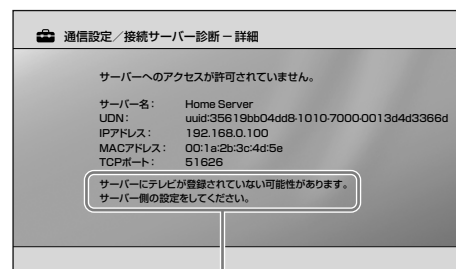
2 **↑↓で［接続サーバー診断］を選んで、決定を押す。**

3 **［はい］が選ばれていることを確認して、決定を押す。**

接続サーバー診断が始まります。

4 **接続サーバー診断終了後に、↑↓で確認したいサーバーを選んで、決定を押す。**

ホームネットワーク上で見つかったサーバー

5 **診断結果内容を確認する。**

診断結果が失敗だったときは

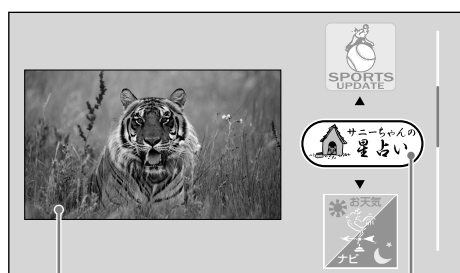
理由と対処方法を見て、接続や設定を確認してください。詳しくは、「故障かな？と思ったら」（☞125ページ）をご覧ください。

失敗した理由と対処方法

アプリを楽しむ[アプリキャスト]

あらかじめ接続(☞100ページ)と[ネットワーク設定](☞102ページ)をしてください。

放送中の番組とインターネット上のアプリを同時に楽しめます。アプリの一覧からお好みのアプリを選ぶだけで、さまざまな情報を見ることができます。

1 (アプリキャスト)を押す。

2 ↑↓で使いたいアプリを選んで、決定を押す。

放送中の番組やビデオなどの映像　選んでいるアプリ

3 ↑↓←→や決定などを使って、画面に従って操作する。

アプリの一覧から他のアプリを選ぶ

ホームメニューからお好みのアプリを選べます。

1 ホームを押す。

2 ←→で(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で使いたいアプリまたはフォルダを選んで、決定を押す。

フォルダを選んだときは、次に、使いたいアプリを選んで、決定を押してください。
左記の手順2の画面が表示されます。

4 ↑↓で使いたいアプリを選んで、決定を押す。

5 ↑↓←→や決定などを使って、画面に従って操作する。

マークの意味

NEW :追加になったアプリ
更新 :内容が更新になったアプリ
中断 :一時的に利用不可のアプリ
終了 :サービスが終了になったアプリ
登録済 :登録したアプリ(☞106ページ)

ネットワークで楽しむ

次のページにつづく⇨

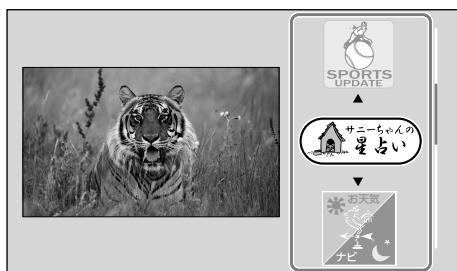
ご注意

- すべてのアプリの登録を解除したときは、アプリキャストを起動できません。アプリの一覧からアプリを選んでください。
- 左画面にPC入力やネットワーク機器、インターネットブラウザの画面は表示できません。
- 字幕や文字スーパーは表示できません。
- ラジオ放送は音声のみ出力され、データ放送は表示できません。
- アプリを楽しむには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要になります。
- インターネットに接続するときに、よりよいサービスの提供のため、本機からMACアドレスやIPアドレスをサーバーへ自動的に送信します。インターネット接続が完了している場合は、電源を入れたときやアプリの利用時に、定期的にソニーが管理しているサーバーに送信されます。MACアドレスがソニーの管理しているサーバー以外に送信されることはありません。
- アプリは予告なく停止したり、終了することがあります。

ちょっと一言

- ホームメニューで(ネットワーク)→スタート(アプリキャストのはじめかた)を選ぶと、アプリキャストの紹介が表示されます。
- PC入力中にアプリキャストを起動すると、左画面は、前回視聴していた放送になります。
- 放送中の番組やビデオなどの映像は切り換えられます。
- お買い上げ後、初回のインターネット接続時に、いくつかのアプリが自動的に登録されます。
- アプリキャストは、放送中の番組やビデオなどを視聴中にオプションから[アプリキャスト]を選んでも起動できます(☞44、59ページ)。
- USB機器をつないでいるときは、ホームメニューで(USB)が表示されます。(USB)にアプリが表示された場合は、アプリを選択できます。
- ホームメニューの追加情報を消したいときは、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください(☞106ページ)。

アプリを登録する

アプリキャストにアプリを登録すると、アプリキャストボタンを押すだけで2画面に切り換わり、アプリを探す手間が省けます。
登録したアプリはすべて右画面に表示されます。

登録したアプリ

アプリを登録するには

アプリキャストには、最大30個までアプリを登録できます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で登録したいアプリを選んで、オプション(オプション)を押す。

フォルダを選んだときは、次に、登録したいアプリを選んで、オプションボタンを押してください。

4 ↑↓で[登録]を選んで、決定を押す。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●ホームメニューでアプリ選択中／ 2画面表示中

項目	できること
追加情報表示	ホームメニューの右下に表示されるアプリの追加情報を、表示するかどうかを設定します。
アプリ全件解除	アプリキャストからすべてのアプリの登録を解除します。
1画面表示	1画面に切り換え、左画面を大きく表示します。
オートスクロール	何も操作をしないで設定した時間が経過すると、自動でアプリをスクロールします。 オートスクロールをやめるには[切]を選んでください。
アプリ選択	2画面に切り換え、選んだアプリを右画面に表示します。
アプリ設定	アプリに設定ができるときは、設定画面を表示します。例えば、天気のアプリでお住まいの地域を最初に表示する設定など、アプリによって設定は異なります。
登録／登録解除	アプリをアプリキャストに登録または登録を解除します。
アプリ説明	アプリの概要や提供者に関する情報を表示します。
コピーを登録	同じアプリをもう1つ登録します。増えたアプリにコピー元の設定は引き継がれません。
視聴中通知	アプリが対応しているときは、2画面を解除しても、アプリからのお知らせを受け取れるようにします。アプリからのお知らせがあるときは、画面右下にアイコンが表示されます。
並び換え	アプリを並べ換えられます。
お問い合わせ	アプリのお問い合わせ先を表示します。

ホームページを見る

あらかじめ接続(☞100ページ)と[ネットワーク設定](☞102ページ)をしてください。

本機からインターネットにつないで、テレビ用に作られたホームページを閲覧できます。

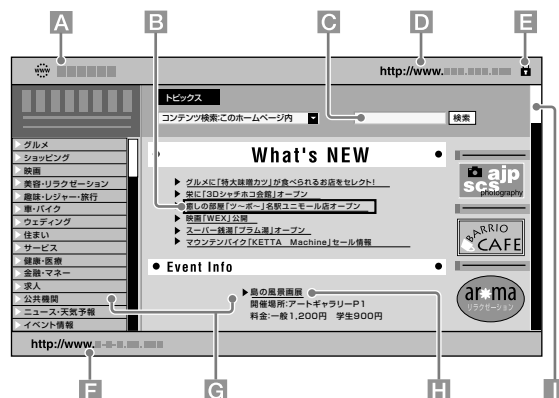
1 ホーム を押す。

2 ←→で🌐(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓でwww(インターネットブラウザ)を選んで、決定を押す。

インターネットに接続します。

インターネットブラウザを終了するには、ホームボタンを押してください。

インターネットブラウザ画面について

A ホームページタイトル

B カーソル
↑↓←→で移動します。見たい部分にカーソルを合わせて決定を押すと、関連付けられたホームページを表示します。

C 文字入力欄
文字を入力できます。カーソルを合わせて決定を押すと、ソフトウェアキーボードを表示します(☞56ページ)。複数行入力できるマルチラインテキストエリアのときは、オプションから[入力]を選んでください。

D URL
現在表示しているホームページの住所(アドレス)にあたるものです。

E 鍵マーク
通信内容を保護し安全にやりとりできるホームページであることを示すマークを表示します。

F リンク先のURL
カーソルを合わせているリンク先のURLを表示します。

G フレーム
複数に分割されているホームページの枠です。フレームで分かれたホームページでは、まず、↑↓←→でそのうちの1つを選び、決定を押してください。選んだフレーム内でカーソルが動かせるようになります。戻るボタンを押すと、別のフレームを選べるようになります。

H リンク
↑↓←→でカーソルを合わせて決定を押すと、関連付けられたホームページを表示します。

I スクロールバー
ホームページ上での現在表示位置を示します。

次のページにつづく⇨

ご注意

- ホームページを見るには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要になります。
- インターネットサービスの種類によっては、本機が対応していない機能を使用しているものがあります。そのため正しく表示されなかったり、動作しなかったりする場合があります。また、今後新たに開発される技術には対応できない場合もあります。

ちょっと一言

データ放送視聴中に、表示されているリンク先を↑↓←→で選んで、決定を押すと、インターネットブラウザが起動して、リンク先のホームページを見ることができます。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● ホームページ表示中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
ブラウザ設定	ブラウザ設定画面を表示します。 **文字サイズ**:文字の表示サイズを変更します。 **JavaScriptの設定**:JavaScriptの使用の有効/無効を設定します。 **Cookieの設定**:Cookieの使用の有効/無効を設定します。 **Cookieの全削除**:Cookieをすべて削除します。 **スタートページに設定**:表示しているホームページをスタートページに設定します。 スタートページは、一度本機の電源を切ったあとでインターネットブラウザ画面を表示したときに表示されます。本機の電源を切らずに再びインターネットブラウザ画面を表示したときは、最後に見ていたホームページが表示されます。 **SSLの警告表示**:セキュリティで保護されたページに接続するときの確認表示の入/切を設定します。
ウィンドウ一覧	現在開いているホームページを一覧表示します。
お気に入り一覧	登録した「お気に入り」を一覧表示します。
前のページ	以前に表示していたホームページに戻ります。
次のページ	前のページを見たあとに、元のページに再び進みます。
読込み中止	読込みを中止します。
再読込み	表示中のホームページを更新します。
URL入力	直接URLを入力するためにソフトウェアキーボードを表示します(☞56ページ)。
お気に入りに追加	表示中のホームページを「お気に入り」に登録します。
新しいウィンドウで開く	リンク先のホームページを新しいウィンドウで開きます。
文字エンコード指定	表示言語の文字コードを設定します。本機は文字の自動判別機能を備えていますが、ホームページが正しく表示されないときに設定します。
情報	表示中のホームページのタイトルやURL、サーバー証明書の情報を表示します。

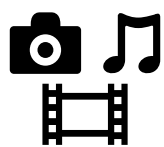
● ウィンドウ一覧画面表示中

項目	できること
ウィンドウを閉じる	複数のウィンドウを開いているとき、選んだウィンドウを閉じます。
選択	選んだウィンドウを表示します。
情報	選んだウィンドウのタイトルやURL、サーバー証明書の情報を表示します。

● 複数行入力できる文字入力欄選択中

項目	できること
左削除	文字入力中に、カーソルの左側の文字を削除します。
入力	ソフトウェアキーボードを表示します(☞56ページ)。
改行	改行します。

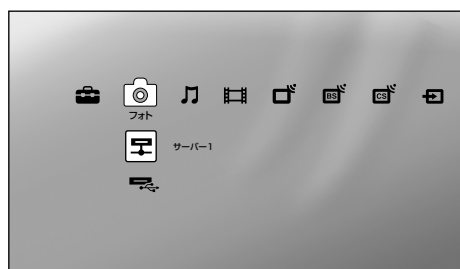
● お気に入り一覧画面表示中

項目	できること
最近使った順に並べる	最近閲覧した順に並べ換えます。
タイトル順に並べる	タイトル順に並べ換えます。
登録順に並べる	新しく登録した順に並べ換えます。
選択	選んだ「お気に入り」を表示します。
お気に入りの削除	選んだ「お気に入り」を削除します。
タイトルの編集	選んだ「お気に入り」のタイトルを編集できます。ソフトウェアキーボードを表示します(☞56ページ)。
情報	タイトル、URL、登録日時、最後に閲覧した日時を表示します。

パソコン(PC)などに保存した写真や音楽、映像をテレビで楽しむ

あらかじめ接続(☞100ページ)と[ネットワーク設定](☞102ページ)、[接続サーバー設定](☞103ページ)をしてください。「ネットワーク機器について」(☞139ページ)もご覧ください。

本機につないだネットワーク機器の静止画ファイル(写真)や音楽ファイル、映像ファイルを本機で再生できます。ネットワーク機器は、DLNAガイドラインまたはソニールームリンクに対応している必要があります。
ネットワーク機器の情報を以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.jp/event/DLNA/
ネットワーク機器の設定を変更した場合は、テレビ本体の電源スイッチで主電源を入れ直してください。

1 ホームを押す。

2 ←→で(フォト)または(ミュージック)、(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で再生したいファイルが保存されている機器を選んで、決定を押す。
ファイルまたはフォルダのリストが表示されます。

サムネイル一覧を表示するには
リスト表示中に、黄を押す。
リスト表示に戻すには、もう一度黄ボタンを押してください。

4 ↑↓で再生したいファイルまたはフォルダを選んで、決定を押す。
フォルダを選んだときは、次に、再生したいファイルを選んで、決定を押してください。再生が始まります。

(フォト)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
決定	一時停止/再生
戻る	再生停止(ファイル/フォルダの選択画面へ)
↑←	前のファイルへ
↓→	次のファイルへ

(ミュージック)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
決定	一時停止/再生
戻る	再生停止(ファイル/フォルダの選択画面へ)
←→を押したままにする	飛び先指定
↑	頭出し再生*
↓	次のファイルへ

* ファイル冒頭から3秒以内のときは、前のファイルを頭出し再生します。

次のページにつづく⇨

ご注意
- ネットワーク機器によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合があります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
- (フォト)では、ファイルのサイズや横縦比によっては、画面いっぱいに表示されません。
- (フォト)では、静止画の表示に時間がかかるものがあります。

ちょっと一言
静止画にGPS情報があるときは地図が表示されます(☞110ページ)。地図を消したいときはオプションの[地図画像表示]を[非表示]にしてください(☞111ページ)。
地図を詳細表示させるには、インターネットの接続(☞100ページ)が必要です。

(ビデオ)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
(決定)	一時停止/再生
戻る	再生停止(ファイル/フォルダの選択画面へ)
←→	早戻し/早送り
←→を2回または3回押す	高速戻し/高速送り
←→を押したままにする	飛び先指定
↑	約30秒先へ
↓	15秒前へ

情報パネルについて

情報パネルで再生の状態や再生時間などを確認できます。情報パネルは、画面表示ボタンで表示したり、閉じたりします*。

A 再生状態

B 再生位置
総時間を認識できないファイルの場合は表示されません。

C 再生時間/総時間
(ミュージック)や(ビデオ)でファイル再生中に→(早送り)、←(早戻し)を押したままにすると、飛び先を表示します。

D 操作ガイド表示欄
再生中に使えるリモコンボタンをガイド表示します。操作ガイドは約5秒で消えます。

* (フォト)で静止画表示中は情報パネルは表示されません。

あらかじめ[通信設定]の[レンダラー機能]、[レンダラーアクセス制御設定]、[レンダラー詳細設定](☞93、94ページ)をしてください。

デジタルカメラなどの画像をテレビで楽しむ[レンダラー]

レンダラーとは、対応機器の操作により、デジタルカメラや携帯電話の写真や音楽ファイル、映像ファイルを、ネットワークを通して本機で再生する機能です。レンダラーを楽しむためには、デジタルカメラや携帯電話などのレンダラー対応機器がコントローラーとして必要です。
コントローラーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コントローラーで選んだファイルを、本機で再生する。
つないだネットワークを通して本機でファイルを再生します。

ファイル再生中の操作は、本機のリモコンまたはコントローラーで行います。

デジタルカメラなどの画像に地図を表示させる[地図画像表示]

地図画像表示とは、デジタルカメラなどの静止画にGPS情報がある場合に、撮られた写真の場所を地図画面で表示することができる機能です。
地図を詳細表示させるには、インターネットの接続(☞100ページ)が必要です。
操作はリモコンのオプションボタンで行います。

ご注意

- 地図画像表示を使うには、写真にGPS情報が書き込まれていることが必要です(Exif2.1以降準拠)。
- 地図情報はオンラインサービスより取得しています。当該サービスはお客様への予告なく変更、終了となる可能性があります。
- お使いのネットワーク機器によっては、地図画像表示ができない場合があります。
- 地図は正確に表示されないことや、国によって表示できないことがあります。

ちょっと一言

- 地図画像表示中に青ボタンを押すと地図の表示位置を移動させたり、地図を非表示にすることができます。
- リピート再生のスライドショー中は、地図が最広域になります。
- 別売りのソニー GPSユニットキットを使用すれば、パソコンで静止画にGPS情報を書き込むこともできます。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● (フォト)選択中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
画像表示範囲	全画面で表示するかどうかを設定します。[全画面]に設定した場合、フェイスフレーミング機能により写真の顔の位置を検出し、人の顔が切れないように自動調整します。
地図画像表示	GPS情報のある静止画のときに表示される地図の位置を移動したり、表示されないように設定できます。
再生方法	リピート/シャッフルのフォト再生設定ができます。
フォト再生設定	再生のしかたやスライドショー実行中の効果などを設定します。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧/リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	ファイルを再生します。
スライドショー	ファイルを連続再生します。BGMを流すには、あらかじめ♫(ミュージック)でBGMを登録してください。
回転	静止画を左右に90度または180度回転します。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。ファイル形式に「*」が付いているファイルは、他のネットワーク機器で再生できない場合があります。

ネットワークで楽しむ

次のページにつづく⇨

ご注意

- [画像表示範囲]で[全画面]を選んだときは、画像の一部が表示されないことがあります。
- フェイスフレーミング機能は、写真によっては効果が出ない場合があります。

ちょっと一言

フェイスフレーミング機能は写真から人物の顔の位置を自動検出する機能です。
ソニー独自の顔認識技術「FACE DETECTION」を採用しています。

● ♫(ミュージック)選択中

項目	できること
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
フォト再生時BGM解除	登録したBGMを解除します。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のミュージック再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	前回停止した位置、または先頭からファイルを再生します。
フォト再生時BGM登録	(フォト)でスライドショー実行中に流すBGMを登録します。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。ファイル形式に「*」が付いているファイルは、他のネットワーク機器で再生できない場合があります。

● (ビデオ)選択中

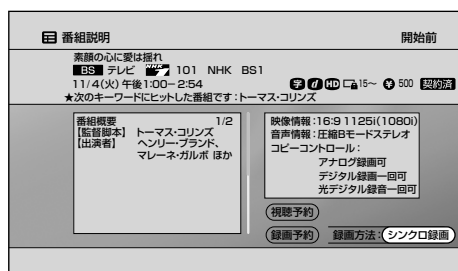
項目	できること
画質	画質を調整できます(☞75ページ)。
音質	音質を調整できます(☞80ページ)。
サラウンド	臨場感のある音声になります(☞80ページ)。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のビデオ再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	前回停止した位置、または先頭からファイルを再生します。
頭出し再生	冒頭からファイルを再生します。
次チャプター再生	次のチャプターに飛びます。
前チャプター再生	チャプターの先頭または前のチャプター(チャプターの先頭から3秒以内のとき)に戻ります。
モーションエンハンサー	動きを滑らかにして映像の残像感を減らします(☞78ページ)。
番組説明	再生している番組の説明を表示します。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
画面モード	画面モードを切り換えます(☞83ページ)。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。ファイル形式に「*」が付いているファイルは、他のネットワーク機器で再生できない場合があります。

ネットワークを通して録画予約する

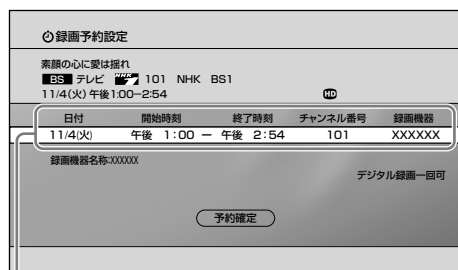
**あらかじめ接続(☞100ページ)と[ネットワーク設定](☞102ページ)、[接続サーバー設定](☞103ページ)をしてください。
「ネットワーク機器について」(☞139ページ)もご覧ください。**

本機と離れたところに設置しているネットワーク録画に対応した録画機器(2007年9月以降発売)に、本機から録画予約の情報を送れます。

1 **「番組表から録画予約する」(☞115ページ)の手順1～6を行う。**

2 **↑↓←→で[録画方法]を選んで、決定を押す。**

3 **↑↓で[ネットワーク]を選んで、決定を押す。**
ネットワーク録画に対応した録画機器が見つからないときは、[ネットワーク]は選べません。

4 **↑↓←→で[録画予約]を選んで、決定を押す。**

5 **↑で設定欄を選んで、決定を押す。**

6 **[録画機器]を選んで、決定を押す。**
ネットワーク録画に対応した録画機器が複数あるときは、↑↓で録画する機器を選びます。

7 **↑↓で[予約確定]を選んで、決定を押す。**
録画機器の電源が入り、予約情報が送信されます。予約した時間になると録画機器のデジタルチューナーを使って録画開始します。

予約の修正や削除をする場合には、録画機器で操作してください。

ご注意

- 放送時間が変更になった場合などは、変更に合わせた録画はできません。
- 予約情報が録画機器に送信されたあとは、本機とは関係なくすべて録画機器側の動作となります。また、本機の予約リストや録画予約結果リストには表示されません。
- 契約が必要なチャンネルの番組を録画予約するときは、録画機器に契約済みのB-CASカードを入れてください。

ちょっと一言

[日付]、[開始時刻]、[終了時刻]を変更するには、手順5の後で変更したい項目を選んで、設定してください。[日付]は前後1日ずつ変更できます。ただし当日の番組を予約するときは、昨日にすることはできません。

つないだ録画機器で番組を録画する／予約する

本機と録画機器をつなげば、下記の方法でデジタル放送の録画設定ができます。また、視聴予約の設定もできます。地上アナログ放送は、本機では録画や予約の設定はできません。つないだ機器側で録画や予約の設定を行ってください。

録画方法の設定と準備

シンクロ録画
お手持ちの機器がシンクロ録画に対応しているときは、[録画方法]を[シンクロ録画]にする。

AVマウス録画
AVマウスをつないだときは、[録画方法]を[AVマウス]にする。

☞91ページ

放送／番組の種類

デジタル放送

現在放送中および放送開始前の番組

本機での録画／予約の種類

番組表から録画予約／視聴予約
録画予約または視聴予約したい番組を決めるだけで予約完了！
☞115ページ

日時指定録画予約
時間とチャンネルを指定して予約！
☞116ページ

ネットワーク録画
本機と離れたところに設置しているネットワーク録画に対応した録画機器に、ネットワークを通して録画予約したいときは、番組説明画面で[録画方法]を[ネットワーク]にする。

☞「ネットワークを通して録画予約する」(113ページ)

シンクロ録画：録画機器が映像・音声信号を受信している時間のみ、自動で録画する機能です。録画機器側で録画操作しても録画できません。
AVマウス録画：録画開始、終了などの指示を、AVマウスを通して録画機器に伝え、自動で録画する機能です。本機からの映像・音声信号は常に出力されます。
ネットワーク録画：本機とネットワーク録画対応機器がネットワークでつながっているときのみ設定できます。本機から録画予約の情報を、ネットワークを通して録画機器に送信します。

ご注意

- AVマウス録画またはシンクロ録画で録画予約したときは**本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。**主電源が切れていると、予約した時刻になっても電源は入らず、録画が始まりません。
- ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機などのときは、録画予約する前に、複合機器側で録画する機器(HDDやDVDなど)を選んでおいてください。
- 録画機器側がデジタル放送を受信できる場合は、シンクロ録画やAVマウス録画ではなく録画機器側の録画機能をご利用ください。

録画・予約をする前に接続(☞27ページ)と[録画予約設定](☞91ページ)をしてください。

本機には最大で録画予約は20件、視聴予約は10件まで設定できます。

番組表から録画予約する

1 ホーム を押す。

2 ◆◆で(ビデオ)を選ぶ。

3 ◆◆で(番組予約)を選んで、決定を押す。

4 ◆◆で(録画予約)を選んで、決定を押す。

5 ◆◆で予約したい放送の番組表を選んで、決定を押す。

番組表が表示されます。

6 ◆◆◆◆で録画したい番組を選んで、決定を押す。

番組説明が表示されます。

7 ◆◆で[録画予約]を選んで、決定を押す。

くり返し同じ時間帯(月ー土など)に録画する場合は、◆を押したあとに決定を押してから、◆◆で[日付]を設定してください。

8 [予約確定]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

番組表から視聴予約する

電源が入っている状態で放送開始時刻になると、自動で予約した番組にチャンネルが切り換わります。

1 「番組表から録画予約する」の手順1 〜 6を行う。

2 ◆◆で[視聴予約]を選んで、決定を押す。

3 [予約確定]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

次のページにつづく⇨

ご注意

- 録画実行中は本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。録画が中止されます。
  リモコンの電源スイッチで電源を切っても録画は継続します。
- 独立データ放送のデータ画面はデジタル放送/ビデオ出力端子から出力されないため、録画予約できません。
- 本体またはリモコンの電源スイッチで、切またはスタンバイの状態にしているときは、視聴予約の時刻になっても電源が入らず、視聴予約が実行されません。
- 「日時指定録画予約」の場合と、番組表からの録画予約でくり返し録画するように設定したときには、[流動編成・イベントリレー対応設定](☞91ページ)で設定できても、流動編成・イベントリレーには対応しません。

日時を指定して録画予約する［日時指定録画予約］

1 ホーム を押す。

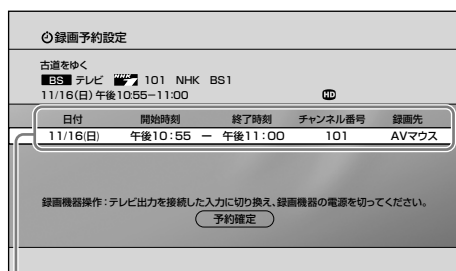
2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（番組予約）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で（録画予約）を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で予約したい放送の日時指定予約を選んで、決定を押す。

6 設定欄が選ばれていることを確認して、決定を押す。

「日付」欄が選ばれます。

設定欄

7 ←→で項目を選んで、↑↓で設定して、→で次の項目を選ぶ。

予約したい内容を設定してください。

項目	できること
日付	録画する日付またはくり返しを設定できます。
開始時刻	録画開始時刻を設定できます。
終了時刻	録画終了時刻を設定できます。
チャンネル番号	録画するチャンネルを選べます。

8 決定を押す。

9 ↑↓で［予約確定］を選んで、決定を押す。

録画を停止するには

1 録画中のチャンネルに切り換える（☞42ページ）。

2 オプション（オプション）を押す。

3 ↑↓で［録画停止］を選んで、決定を押す。

4 ←→で［はい］を選んで、決定を押す。

くり返し録画するには

番組表からの録画予約と「日時指定録画予約」ではくり返し同じ時間帯に録画するように設定できます。

番組表から録画予約を設定するときは「番組表から録画予約する」（☞115ページ）の手順7のあとで設定してください。録画予約の設定が完了したあとで「予約リスト」（☞117ページ）で修正することもできます。

「日時指定録画予約」のときは左記の手順7でくり返しを設定してください。

ちょっと一言

- 有料番組を予約すると、予約時には料金がかかりませんが、録画が始まると料金がかかります。
- 映像／音声信号などが複数ある番組では、信号選択画面が表示されます。
- 録画実行中は本機前面の電源／録画予約／録画ランプが赤色に点灯しているので、録画実行中であることを確認できます。
- 未購入のペイパービュー（有料番組）は日時指定録画予約設定ができても録画はできません。
- 番組情報取得の状況によっては、番組名などが表示されないことがあります。

予約の内容を確認する

予約を確認する／修正する

1 ホーム を押す。

2 ←→で(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で(番組予約)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で(予約リスト)を選んで、決定を押す。

予約リストが表示されます。

↑↓で選び決定を押すと、「予約修正」画面が表示され、予約の修正、削除、保護設定ができます。

A **予約番号（☞「マークの意味」）**

B **予約設定の内容**
番組のタイトル、予約日時、チャンネル

マークの意味

(赤)：録画予約

(青)：視聴予約

1：予約番号。番号の順に実行されます。

REC 1：録画実行中の予約。「REC」の点滅中は、録画準備中または終了処理中です。

1：保護設定されている録画予約。

1（「！」部分：赤）：重複していて、実行できない録画予約または視聴予約。

1（「！」部分：黄）：一部重複していて、部分的に録画できない予約、またはくり返し予約の一部が録画できない予約。

録画予約が実行されたかを確認する

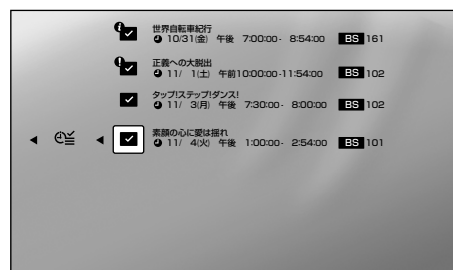
1 ホーム を押す。

2 ←→で(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で(番組予約)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で(録画予約結果リスト)を選んで、決定を押す。

録画予約結果リストが表示されます。

最大で20件までの録画予約が表示され、古いものから順に削除されます。

マークの意味

：正しく終了した録画予約。

：正しく終了した録画予約で「お知らせ」があるもの。
↑↓で選んで、決定を押すと詳細が表示されます。

：正しく終了できなかった録画予約。
↑↓で選んで、決定を押すと詳細が表示されます。

5 詳細を確認したいときは、↑↓で番組を選んで、決定を押す。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● (録画予約結果リスト)表示中

項目	できること
全件削除	予約の履歴をすべて削除します。

長くお使いいただくためのお手入れ方法

液晶画面には、反射による映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために、特殊な表面処理を施しています。
誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つける原因にもなりますので、次のことを必ずお守りください。

液晶画面、外装のお手入れ

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされているので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 本機に直接洗剤をかけないでください。吹きかけた洗剤が画面下部や、外装部にたれて本機が故障する場合があります。

固く絞る。
中性洗剤を水で薄める。

- 画面や外装の汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 万一、油性マジックなどが付着してしまった場合は、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください(強くこすると、液晶表面に傷がつきます)。
- クレンザーのような研磨剤が入った洗剤は使わないでください。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧に拭いてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。

揮発性のもの(殺虫剤、シンナー、ベンジンなど)は使用しないでください。

- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、シンナーやベンジンなどは使ったりしないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどを使うときは、その販売会社に確認してください。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。

修理に出す前に

修理に出す前に、もう一度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、巻末にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

液晶デジタルテレビ

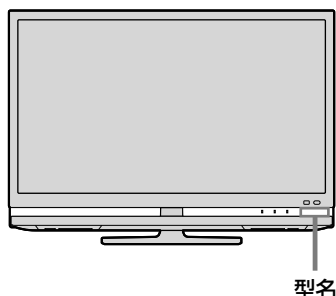
ケーディーエル エックス
KDL-40X1

ケーディーエル エックス
KDL-46X1

ケーディーエル エックス
KDL-52X1

ケーディーエル エックスアール
KDL-46XR1

ケーディーエル エックスアール
KDL-55XR1

画面サイズ(番号)がどれかわからないときは、保証書や本機前面右下に記載されている型名をお知らせください。

マルチリモコンの型名:

アールエムエフ ジェイディー
RMF-JD005

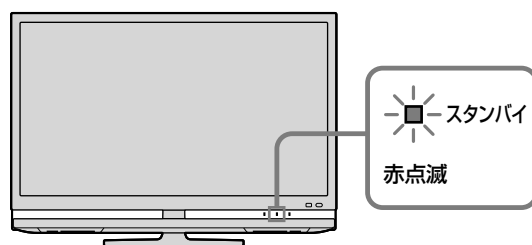
TVリモコンの型名:

アールエム ジェイディー
RM-JD017

故障の状況:できるだけくわしく

購入年月日:

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイランプの点滅およびその速さで本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイランプが赤く点滅したら、下の手順に従って、巻末にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせの内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 本機前面のスタンバイランプの点滅回数を数えてください。

2 テレビ本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーご相談窓口に点滅回数をお知らせください。

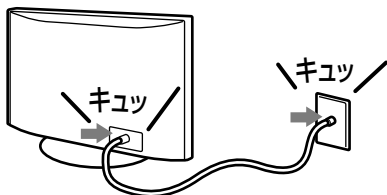
本機の設置場所を変えたときは

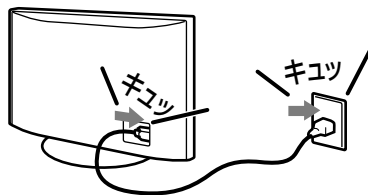
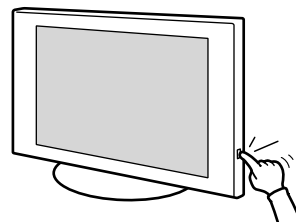
お引越しや模様替えなどで、アンテナをつなぎ換えたときは、もう一度、本機でかんたん初期設定をしてからお使いください(☞「かんたん初期設定をあとでやり直すには」25ページ)。

故障かな？と思ったら

インターネットのホームページでもよくあるお問い合わせ「Q&A」を紹介しています。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

まず確認してください

アンテナ線をしっかりつなぐ。

付属のVHF/UHF用
アンテナ接続ケーブルを使う。

電源コードをしっかりつなぐ。

本体の電源スイッチを入れる。

KDL-46XR1/KDL-55XR1の電源
スイッチは本体上面右側にあります。

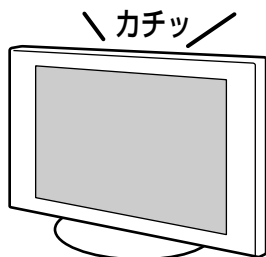
こんな場合は故障ではありません

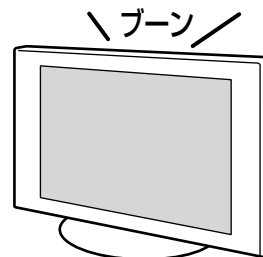
画面に光る点、または光らない点がある。

液晶テレビの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。
また電源スタンバイ時は、デジタル放送からのデータを取得するため、本機の電源が自動的に入り、音がします。

「ブーン」という音が出る。
KDL-46XR1/KDL-55XR1のみ

内部のファンが回っている音です。

映像

全般

症状	対処のしかた	参照ページ
本機の**電源が突然切れた**／いつのまにか消えていた。	• [無操作電源オフ]を設定していると自動的に電源が切れます。	96
	• 無信号状態が続くと「オートシャットオフ」により電源が自動的に切れます。	137
	• [オンタイマー]を利用して電源を入れた場合、設定した視聴時間を経過すると、電源が切れます。	74
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• (画質・映像設定)をお好みに合わせて調整してください。	75
	• [消費電力]を確認してください。[減(明)]または[減(暗)]に設定されていると画面が暗くなります。	96
音声は出るが**画像が出ない。**	• [消費電力]を確認してください。[減(消画)]に設定されていると画像は出ません。このときは本機前面の消画／通信／タイマーランプが緑色に点灯します。	96
画像が**乱れる。**	• 本機の近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。	
	• 画像の輪郭が乱れる場合は[モーションエンハンサー]を[標準]または[切]にするか、[シネマドライブ]を[切]にしてください。	78
画面サイズが勝手に切り換わる。映像が上下に動く。	• [オートワイド]が[入]に設定されていると映像に適した画面サイズを自動的に判断します(お買い上げ時は[入]に設定されています)。気になるときは[オートワイド]を[切]にしてください。	83
チャンネルが映らない。	• チャンネルを再度設定してください。	87、88
チャンネル＋／－ボタンで選局できない。	• チャンネル登録で、チャンネル＋／－ボタンで選局できるチャンネルを設定してください。	87、88、89

地上アナログ

症状	対処のしかた	参照ページ
画像が**二重、三重**になる。	• [GR設定](ゴースト・リダクション)を[入]に設定してください(KDL-46XR1/KDL-55XR1のみ)。	89
	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	86
雪が降るような画面、**うすい**画面、風がふくと**ちらつく。**	• アンテナが壊れたり曲がったりしていないか確認してください。	
	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	86
斑点や**点模様**が走る。	• アンテナ線は電源コードからできるだけ離してください。	
	• フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにお問い合わせください。	
	• アンテナはなるべく道路から離して設置してください。ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けている可能性があります。	

次のページにつづく⇨

地上デジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
地上デジタルが**受信できない**／地上デジタルの**画像が乱れる。**	• お住まいの地域で地上デジタルが放送開始されているか確認してください。	
	• 地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。	
	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	86
	• ブースターのレベルを下げてみてください。信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。	
	• アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビ(CATV)を受信しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社によって、再送信の方式が異なります(本機が対応しているのはパススルー方式のみです)。	133
	• 有料放送を見るには視聴契約してください。	135
	• お住まいの地域によって放送が異なります。必ず、チャンネルスキャンの前に[デジタル共通:地域設定(県域)]を設定してください。	87
	• [地上デジタル:自動チャンネル設定]で[初期スキャン]または[再スキャン]してください。	87

BS/110度CSデジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
BSデジタル･110度CSデジタルが**受信できない。**	• BS･110度CSデジタルに対応したアンテナおよび同軸ケーブルにつないでください。	18
	• アンテナや分配器や分波器、ブースターなどがBS･110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。	
	• BSアナログチューナー内蔵の録画機器からアンテナ接続ケーブルをつなぐと受信できません。分配器を使って本機とBSアナログチューナー内蔵録画機器にそれぞれつないでください。	20
	• 衛星アンテナの前方に障害物がないか確認してください。	
	• [BS/CS:衛星アンテナ設定]を[オート]または[入]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。	86
	• 衛星アンテナレベルを確認しながら衛星アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	86
	• 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約(加入申し込み)をしてください。	135
BSデジタル･110度CSデジタルの**画像が乱れる。**	• 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。天候の回復をお待ちください。	
	• 降雨対応放送の場合は、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で受信します。	134

困ったときは

接続機器

症状	対処のしかた	参照ページ
つないだ機器の**画像が出ない。**	• つないだ機器の電源が入っているか確認してください。	
	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	28、31
	• 本体またはリモコンの入力切換ボタンを押して、入力を切り換えてください。	59
	• ビデオ1入力のS2映像端子からの映像を見るときは、［オートS映像］を［入］にしてください。	92
	• デジタルカメラにメモリーカードなどを正しく入れてください。	
	• デジタルカメラのメモリーカードなどは、デジタルカメラの取扱説明書に従ってフォーマットしてあるものをお使いください。	
	• すべてのUSB機器に対して動作を保障するものではありません。また、USB機器の機能や再生する映像などによって動作が異なります。	
ホームメニューで、つないだ機器が選べない、入力を切り換えられない。	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	28、31
	• ［オートインプットスキップ設定］の［スキップ設定］を［表示する］に設定してください。	60

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
画像は出るが、**音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。	
	• 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンまたは音量＋ボタンを押して表示を消してください。	173
	• ［スピーカー出力］を［テレビスピーカー］にしてください。［AVアンプ］に設定されていると、本機からは音は出ません。	81
	• ヘッドホンを抜いてください。ヘッドホンと本機のスピーカーの両方から音声を出したいときは、［ヘッドホン使用時設定］を［スピーカー･ヘッドホン併用］にしてください。	81
聞きたい音声になっていない。	• 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっている場合は、音声切換ボタンを押して、音声を切り換えてください。	175
音声が出ない／音声が**おかしい。**	• ［サラウンド］を［切］に設定してください。番組によっては、サラウンド音声にしていると音が聞こえにくかったり、聞こえなくなることがあります。	80
	• HDMI入力端子およびコンポーネント入力端子につないだ機器を再生しているときは、デジタル放送／ビデオ出力端子から音声は出力されません。また、HDMI入力端子につないだ機器を再生しているとき、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。	

次のページにつづく⇨

録画

症状	対処のしかた	参照ページ
録画予約した番組が録画されない。	• (録画予約結果リスト)で、録画されなかった理由を確認してください。	117
	• 録画予約後に電源を切る場合は、リモコンの電源スイッチを押して本機を電源スタンバイ状態にしてください。	114
	• 録画機器の入力切換が正しいか確認してください。	
	• 地上アナログは録画予約できません。お使いの録画機器の予約機能を使って録画してください。	
	• 番組の変更に合わせて録画するには、[流動編成·イベントリレー対応設定]を[する]に設定してください。録画予約した番組の開始時刻が変わったとき[しない]に設定されていると、正しく録画されません。	91
見ている映像が録画されない。	• 次の映像や音声は、デジタル放送／ビデオ出力端子からは出力されません。 – コンポーネント入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 – HDMI入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 – PC入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 – 字幕放送の字幕 – デジタル放送のラジオやデータの画像(音声は出力され記録できます) S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。	
録画した番組の映像が映らない／乱れる。	• (録画予約結果リスト)で、録画時の状況を確認してください。	117
AVマウスを使って録画予約した番組が録画されない。	• AVマウスの取り付け位置が正しいか確認してください。	27
	• 録画予約する場合は、録画機器の電源を「切」にしてください。	
	• リモコンコードが正しく設定できているか確認し、AVマウスを動作テストしてください。お使いの録画機器によってはリモコンコードを設定できないことがあります。	91
	• 次の機器ではAVマウスは使えません。シンクロ録画に対応している機器はシンクロ録画してください。シンクロ録画に対応していない機器は録画機器の予約機能を使って録画してください。 – ビデオ一体型テレビ(テレビデオやビデオコンボなど) – AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき(メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているため)	

ネットワーク

DLNA（ホームネットワーク）

症状	対処のしかた	参照ページ
写真や音楽、映像**ファイル**が出ない／**アイコン**が表示されない。	• つないだ機器がDLNAまたはソニールームリンクに対応しているか確認してください。	139
	• つないだ機器が［接続サーバー設定］または［レンダラーアクセス制御設定］で登録されているか確認してください。	93、94、103
	• LANケーブルやネットワーク機器の電源コードがはずれていないか確認してください。	
	• ネットワーク機器が正しく設定されているか確認してください。サーバーの設定を変更した場合は、テレビ本体の電源スイッチで主電源を入れ直してください。	
	• 選んだ機器がネットワークにつながれてアクセスできる状態か確認してください。	
	• （通信設定）で［IPアドレス取得方法］を［DHCPを利用（DNS自動）］または［DHCPを利用（DNS手動）］に設定している場合、DHCPサーバーが存在しないと機器の認識に時間がかかる場合があります。［接続診断］をしてください。また、［接続診断］の結果で「DNSサーバーが応答しません」と表示されるときは、接続と設定もあわせて確認してください。	93、100、102
	• PCをサーバーにしている場合、PCの負荷状況やセキュリティソフトを入れているなどで、サーバーアプリケーションがうまく動作しないことがあります。またVAIOでは20台までのアクセスのみ可能です。詳しくはお使いのPC、ソフト、VAIOの説明をご覧ください。	
	• すべてのネットワーク機器に対して動作保証するものではありません。また、ネットワーク機器の機能やコンテンツによって動作が異なります。	

インターネット／アプリキャスト

症状	対処のしかた	参照ページ
ホームページ／アプリが**まったく表示されない。**	• LANケーブルやネットワーク機器の電源コードがはずれていないか確認してください。	
	• ［ネットワーク設定］または［現在時刻設定］が正しく設定されているか確認してください。	74、93、102
アプリの**動きがおかしい。**	• アプリキャストで2画面表示中にリモコンのオプションボタンを押して「お問い合わせ」画面を表示し、お問い合わせください。	106
ホームページが**正しく表示されない。**	• ホームページの内容によっては、文字や画像、レイアウトが正しく表示されない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、正しい文字コードを設定してください。	108
特定のホームページだけが表示されない。	• URLが正しく入力されているか確認してください。	107
	• しばらくたってからもう一度、ホームページを読み込んでください。インターネットの回線が混んでいる、または障害が発生して表示できない場合があります。	
ホームメニューで、突然画面の右下に情報が表示される。	• 本機をネットワークに接続している場合、ホームメニューに追加情報が表示されることがあります。表示を消すには、追加情報が表示されている状態で、オプションの［追加情報表示］を［切］にしてください。	106

次のページにつづく⇨

その他

ランプの点滅

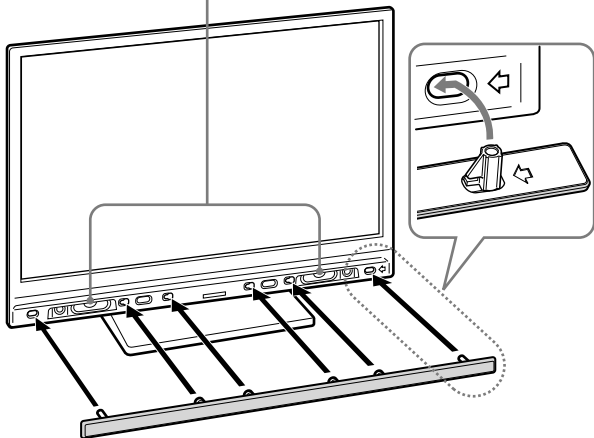
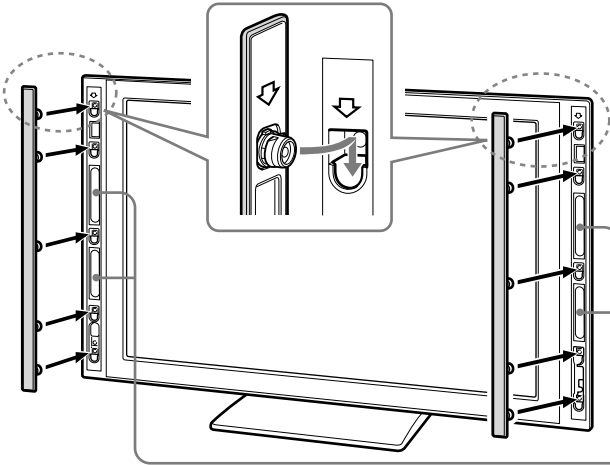
症状	対処のしかた	参照ページ
電源／録画予約／録画ランプが緑色に点滅する。	• 衛星アンテナがショートしています。「エラーメッセージ」をご覧になり対処してください。	129
消画／通信／タイマーランプがオレンジ色に点滅する。	• 本機が自動的にソフトウェアの書き換えをしています。異常ではありません。	131、132
スタンバイランプが赤色に点滅する。	• 本機に何らかの異常が起きています。点滅回数をご確認のうえ、ソニーご相談窓口にお問い合わせください。	119

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンで**本機を操作できない。**	• 電池を交換してください。	23、173
	• 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。	23、173
	• スタンバイランプが赤色に点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。	23
	• 近くに電子レンジや無線装置があるときはマルチリモコンで操作できないことがあります。	
	• マルチリモコンをもう一度登録し直してください。	23
	• リモコン先端部を手などで覆わないようにして操作してください。	
	• マルチリモコンは最後に登録した1台のテレビしか操作できません。	
リモコンの①～⑫/選局**の数字ボタン**を押しても、チャンネルが選べない。	• 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）のボタンを押してください。	43
	• チャンネル番号を直接入力する場合は、10キーボタンを押したあとに数字ボタンを押してください。最後に⑫/選局ボタンを押すとチャンネルが切り換わります。	43
本機のマルチリモコンで、**つないだ機器を操作できない。**	• 本機のマルチリモコンで操作できるのはブラビアリンク対応機器のみです。	
	• つないだ機器ごとにマルチリモコンに登録してください。	61
	• ブルーレイディスクレコーダーをつないだときは、つないだ機器側とリモコンモード設定を合わせてください。	62
	• マルチリモコンの機器選択ボタンで選んでから操作してください。	63

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表や現在番組表に表示される**番組が少ない。**	• お買い上げ時、または長時間本体の電源スイッチで主電源を切った状態のあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。しばらく視聴すると表示されます。	
	• 番組表や現在番組表が表示されているときに、オプションから[番組情報取得]を選んでください。番組情報を取得し直します。	52
	• [デジタル共通:番組情報取得]を設定しておくと、電源スタンバイ時に自動で番組情報を取得します。	87
番組表や現在番組表に表示される**チャンネルが少ない。**	• チャンネル登録で、番組表や現在番組表に表示されるチャンネルを設定してください。	87、88
	• 番組表や現在番組表が表示されているときに、オプションから[チャンネル表示形式]を選んで[すべて表示]に設定してください。	52

番組の購入

症状	対処のしかた	参照ページ
有料放送(ペイパービューなど)が購入できない／視聴できない。	• 電話回線の接続と設定が正しいか確認してください。	94、99
	• 視聴契約してください。また、番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。	135
	• 番組の購入可能件数を超えると購入できなくなります。	

画面表示

症状	対処のしかた	参照ページ
表示されない設定項目がある。	• 受信している放送や設定･調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。	
地上デジタルの**放送局のマーク**が表示されない。	• 地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。	
ホームメニューの動作が遅い、スクロールできない。	• [ホームメニュー速度設定]を確認してください。[標準]以外に設定されていると動作がゆっくりになったり、スクロールが無効になります。	96

次のページにつづく⇨

スピーカーグリル

症状	対処のしかた	参照ページ
スピーカーグリルがはずれた。	• KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-52X1のとき スピーカーグリルをはめ直して、左にスライドしてください。 その際に、スピーカーやスピーカーの周辺に触れないようにご注意ください。 スピーカーに触れないでください。	
	• KDL-46XR1/KDL-55XR1のとき スピーカーグリルをはめ直して、下にスライドしてください。 その際に、スピーカーやスピーカーの周辺に触れないようにご注意ください。 スピーカーに触れないでください。	

エラーメッセージ

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
衛星アンテナがショートしたため、衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました。取扱説明書をご覧ください。		(1) 本体の電源スイッチで主電源を切り、衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 (2) 本体の電源スイッチで主電源を入れてください。 (3)「かんたん設定」の途中でメッセージが表示された場合は、「かんたん設定」をやり直してください。 (4) [BS/CS:衛星アンテナ設定]を[オート]または[入]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。 (5) それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にお問い合わせください。	24 86
B-CASカードを入れてください。		• B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく入れてください。	16
B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード:××××	• B-CASカード以外は使えません。付属のB-CASカードをお使いください。	16
		• B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。	16
		• B-CASカードが破損している場合や、入れ直してもメッセージが表示されるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。	16
このB-CASカードには必要な情報がありません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード:××××	• 選局した番組は未契約のため視聴できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでお問い合わせください。	135
本機では、このサービスには対応していません。	E210	• 放送チャンネルではないため、視聴できません。 別のチャンネルを選局してください。	
信号レベルが低下しています。視聴できる状態ではありません。アンテナ線の緩みや抜けの可能性もあります。	E201	• 雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われていない可能性もあります。	
降雨対応放送に切り換わりました。	E201	• 雨などの影響により、衛星からの電波が弱くなったため、降雨対応放送に切り換わりました。画質や音質が低下した状態で受信します。天候が回復次第、もとの状態に戻ります。	134
受信できません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。大雨·大雪が影響している場合もあります。	E202	• 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合もあります。	
このチャンネルは現在休止中です。	E203	• 放送を休止しているチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	

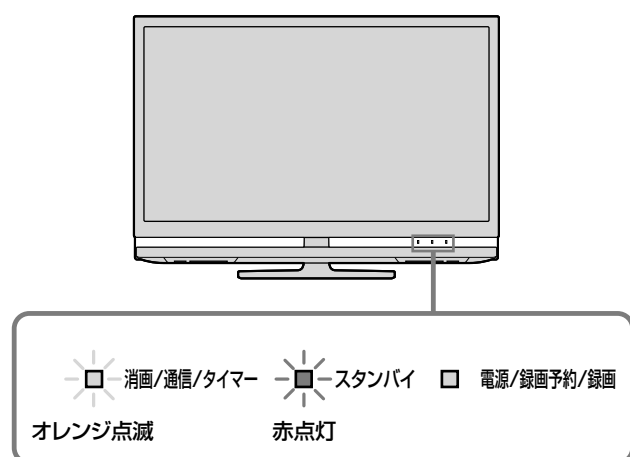
次のページにつづく⇨

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
該当するチャンネルはありません。	E204	• 放送のないチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	
本機では、データを表示できません。	E401	• データ放送を正しく受信できません。 別のチャンネルを選局してください。	
チャンネルが設定されていません。		• チャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押しています。	87、88、89
この信号には対応していません。入力する信号を変更してください。		• パソコンまたはHDMIの入力信号が未対応の信号です。	158
この信号は推奨していません。入力する信号を変更してください。		• パソコンまたはHDMIの入力信号が推奨でない信号です。	158
展示モードを実行中です。		• 展示モードが「入」に設定されています。展示モードの解除を行ってください。	131
USB機器の接続設定が正しくない可能性があります。		• つないだUSB機器によっては設定が必要な場合がありますので、USB機器側の設定を行ってください。	

電源スタンバイ中の動作について

電源スタンバイ中（スタンバイランプが赤く点灯）、以下のデータを受信したときに、「カチッ」と音がして、本機前面の消画／通信／タイマーランプが点滅し続けることがあります。

－双方向サービス情報の取得中
－最新ソフトウェアへの更新中

ソフトウェア更新中／データ取得中の表示

消画／通信／タイマーランプ点滅中は、本機内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えをしています。
データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、消画／通信／タイマーランプも消灯します。

展示モードを解除する

お買い上げ時に本機の展示モードが「入」に設定されていることがあります。画面右下に「展示モード を実行中です。」と表示されたときは、下記のいずれかの方法で展示モードを解除してください。

－個人情報の初期化を行う
[個人情報初期化]（☞97ページ）

－地上デジタルのチャンネルスキャンを行う
[地上デジタル：自動チャンネル設定]（☞87ページ）で[再スキャン]または[初期スキャン]を選ぶ。

－地上アナログのチャンネルスキャンを行う
[地上アナログ：自動チャンネル設定]（☞88ページ）で[スキャン]を選ぶ。

個人情報を初期化する

本機を廃棄するときやお買い上げ時の設定に戻したいときは、個人情報を初期化してください。以下のすべての情報が、一括して消去されます。

初期化される内容

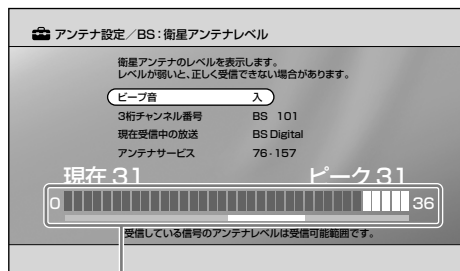
- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 暗証番号・パスワードなどの登録情報
- 予約の情報
- 予約やペイパービューなどの履歴情報
- メール
- 登録したブックマーク
- 登録発呼の登録・履歴情報
- お好みナビの設定や学習情報、語句の設定
- 放送設定の設定内容（地域設定など）
- 接続サーバーの設定
- ネットワーク設定（IPアドレスなど）
- レンダラーの設定（アクセス許可など）
- 通信などによる各種証明書
- デジタル放送各種チャンネル設定
- 画質・音質などの設定
- オプション項目の並び換えなどの設定

ダウンロードの流れについて

本機を最新の状態に保つために、デジタル放送から最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新します。

ダウンロードに必要な条件

- **デジタル放送のアンテナレベル(☞86ページ)が緑のレベルであること**

例:BS放送のアンテナレベル表示画面の場合

ここが緑のレベルであれば、ダウンロードが正しく行われます。

- **[デジタル放送からのダウンロード]が[オート]に設定されていること(☞97ページ)**

ダウンロードの流れ

ダウンロード案内のメールが届く*
ダウンロードの日程や注意事項が書かれています。

ダウンロードの実行
ダウンロードは自動的に行われます。

データ取得メールが届く*
更新のための注意事項が書かれています。

ソフトウェアの更新
ソフトウェアの更新は自動的に行われます。

更新終了のメールが届く*

* 新しいメールが届くと古いメールは自動的に削除されます。
メールを確認するには、☞73ページをご覧ください。

ダウンロードの実行

数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機が自動的にその信号を受信します。ダウンロードの実行には20分前後かかります。

ソフトウェアの更新

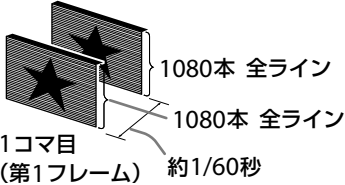
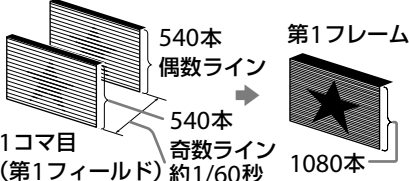
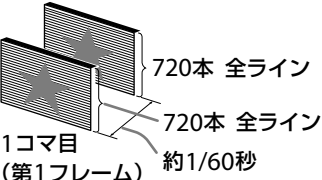
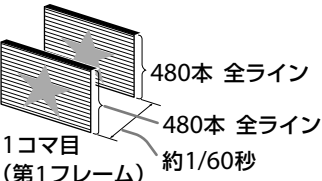
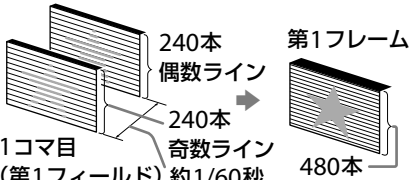
ダウンロード終了後、リモコンで電源を切ると自動で内部ソフトウェアを更新します。ソフトウェアの更新は10分前後かかります。更新中は本機前面の消画／通信／タイマーランプが点滅し、操作ができないことがあります。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ソフトウェア更新中に電源コードを抜くとどうなるの？」
ソフトウェア更新中は、電源コードを抜かないでください。ソフトウェア更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードをしないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。
- お買い上げ時は[地上デジタル:自動チャンネル変更]が[する]に設定されているため、新しく放送局が開設されたときなどは、ダウンロードによって受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わります。録画予約を設定しているときも、チャンネル番号が変わると正しく予約が行われないことがありますので、ご注意ください。
  ホームメニューから(設定)→(放送受信設定)→[地上デジタル:自動チャンネル変更]の順に選ぶ。

デジタル放送／デジタル信号について

画像について

下記のように**全部で5種類の画像方式があります。**

画像方式	説明
1125p（1080p）のデジタルハイビジョン信号HD	2コマ目（第2フレーム） 1080本 全ライン 1080本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
1125i（1080i）のデジタルハイビジョン信号HD	2コマ目（第2フィールド） 540本 偶数ライン 第1フレーム 540本 奇数ライン 1コマ目（第1フィールド） 約1/60秒 1080本
750p（720p）のデジタルハイビジョン信号HD	2コマ目（第2フレーム） 720本 全ライン 720本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
525p（480p）の標準テレビ信号SD	2コマ目（第2フレーム） 480本 全ライン 480本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
525i（480i）の標準テレビ信号SD	2コマ目（第2フィールド） 240本 偶数ライン 第1フレーム 240本 奇数ライン 1コマ目（第1フィールド） 約1/60秒 480本

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

地上デジタル放送について

アンテナについて

現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタルを受信できますが、詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

ケーブルテレビについて

ケーブルテレビでも受信･視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタルが放送開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機はパススルー方式のすべての周波数に対応しています。

BS･110度CSデジタル放送について

- 高画質･高音質で、各種テレビ放送･データ放送･ラジオ放送が楽しめます。
- BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは受信契約が別途必要です。

音声について

次のような音声モードがあります。

音声モード	説明
モノラル	通常のニュース放送などに使われています。
ステレオ	音楽番組などに使われています。
サラウンド	映画などに使われています。
圧縮Bモード	CDと同等の高音質になります。

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。
本機では、5.1chサラウンドなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。

次のページにつづく⇨

1つの放送局でのマルチ放送について

地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号HDの1チャンネル放送と、標準テレビ信号SDの複数チャンネル(2～5チャンネル)放送を、右の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

1つの放送局がデジタルハイビジョン信号で放送するとき、それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で同じ番組を放送する場合があります(イベント共有)。チャンネル+／−ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。

HD デジタルハイビジョン信号

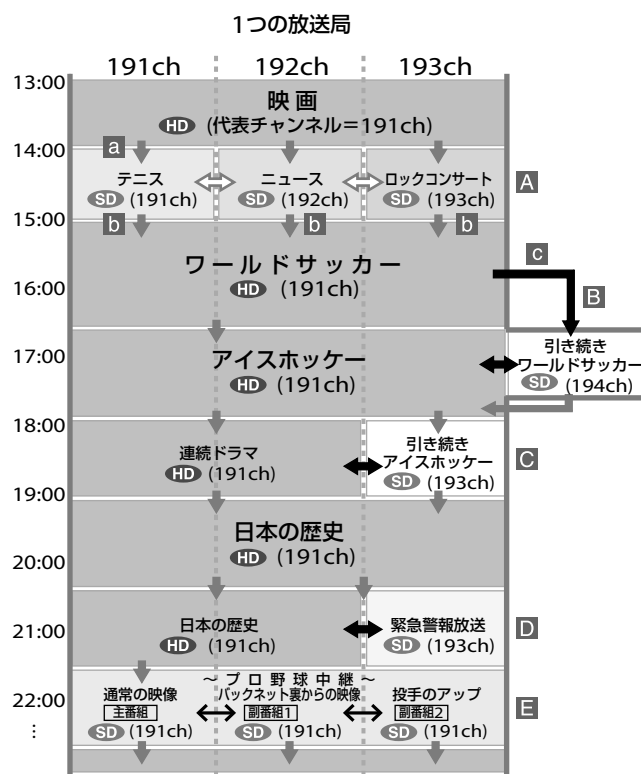
SD 標準テレビ信号

➡ 自動的に切り換わる

⇨ チャンネル+／−ボタンで切り換える

➡ 数字ボタンでチャンネル番号を入力して切り換える

→ オプションの[映像切換]で切り換える

右記の番組は例であり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

A 複数のチャンネルで違う番組を同時に放送[マルチチャンネル放送]

上の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時間帯に放送します。

a マルチチャンネル放送開始／b マルチチャンネル放送終了

B 延長した番組を最後まで放送[臨時放送]

上の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組のアイスホッケーを放送します。

c 臨時放送開始

C 他のチャンネルで引き続き放送[イベントリレー]

放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送されるときは、お知らせが表示されます。[番組の継続視聴]を[する]に設定(☞88ページ)しているときは、時間になると自動的に切り換わります。

D 地震などの災害時に特別番組を放送[緊急警報放送]

警戒警報や津波警報が発令されたときなどに放送されることがあり、画面に案内が表示されます。放送を見るときは、[はい]を選んでください。

E さまざまな角度から番組を放送[マルチビュー放送]

上の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向(通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ)の画面を見ることができます。オプションから[映像切換]を選びます。

雨天など受信状態が悪いときの放送

[降雨対応放送]

お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました。」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように設定されています。

ちょっと一言

[BS/CS:降雨対応放送受信]を[切]に設定すると、降雨対応放送に切り換わらなくなります(☞86ページ)。

デジタル放送お問い合わせ先一覧

2008年10月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス
WOWOW[*1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・ チャンネル[*2]	スター・チャンネル カスタマーセンター 0570-013-111 PHS、IP電話のお客様は 045-339-0399 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/ なお、スター・チャンネルBSの加入申し込みは、下記のスカパー！ｅ２へお問い合わせください。

＊1 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW プロモチャンネル：791ch）は無料放送です。

＊2 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス
スカパー！ｅ２	■ カスタマーセンター 「スカパー！ｅ２ カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「スカパー！ｅ２ ホームページ」 http://www.e2sptv.jp

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

機関	ホームページアドレス
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	http://www.dpa.or.jp

地デジの受信相談について

機関	お問い合わせ電話番号
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話：0570-07-0101 （平日 9:00 ～ 21:00、 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

録画制限と著作権保護について

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されています

● **録画禁止**

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためデジタル録画できません。地上デジタルやBSデジタルの無料放送は、VHSなどのアナログ録画機器で録画できますが、BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは、番組によってアナログ録画できない場合があります。

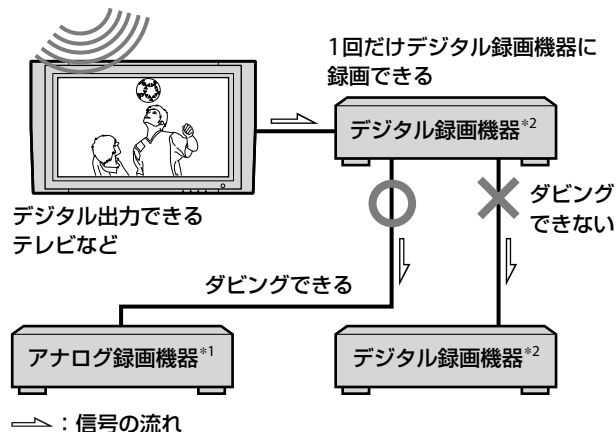
● **1回だけ録画可能**

「1回だけ録画可能」な番組は、著作権保護技術に対応した録画機器及び記録メディアにてデジタル録画できます。しかし、デジタル録画した番組を更にデジタル録画(コピー)することはできません。VHSなどのアナログ録画機器では録画に制約はありません。

● **録画可能**

個人的に利用される場合に限って、制限なしに録画可能です。

「番組説明」画面(☞53ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

「1回だけ録画可能」の例

*1 VHS、8mmなど。
*2 DVDレコーダー、ハードディスクレコーダー、D-VHSビデオなど。

「1回だけ録画可能」な番組の録画について

録画機器	接続方法	録画制限
DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなど	アナログ接続(映像・音声ケーブル)	録画可能*3
VHSなど	アナログ接続(映像・音声ケーブル)	録画可能

*3 DVDレコーダーでは、CPRM対応の録画用DVD-RWディスクを使用して、VRモードでのみ録画できます。また、CPRM対応のDVD-RAMディスクを使用しても録画できます。

アナログ接続で録画するときの録画制限について

本製品は、マクロビジョン社が保有する米国特許及びその他知的財産権によって保護されている著作権保護技術を採用しております。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部観賞用の使用に制限されています。分解、解析したり、改造することも禁じられております。

光デジタル音声出力における録音制限について

著作権が保護されている番組では、光デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりすることがあります。また、本機の映像信号を、録画機器を経由して外部モニターに出力すると、録画防止機能のため画像が乱れる場合があります。その場合、本機の映像出力端子から外部モニターに直接接続してください。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

ご注意

2008年7月より、一部のデジタル放送には「ダビング10」のコピー制御信号が加えられています。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

本機の省エネ対応について

本機では、通常時の消費電力量を設定によって抑えたり、しばらく何も操作をしなかったときなどに自動で電源スタンバイになるようにするなど、省エネに対応しています。

したいこと	操作
消費電力	[消費電力]を[減(明)]または[減(暗)]に設定すると、消費電力を軽減できます。 また、ラジオ放送などをお楽しみになるときは、[減(消画)]にすれば、画面を消して音声のみを楽しめます。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[消費電力]の順に選ぶ。
オートシャットオフ*	約9分間、無信号を検出すると「オートシャットオフによりまもなく電源が切れます。」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイになります。深夜などの放送終了後には、自動で電源スタンバイになります。 ＊ 地上アナログのときのみ働きます。
無操作電源オフ	[無操作電源オフ]を[1時間]または[2時間]、[3時間]に設定すると、チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作をしなかったときは、「無操作電源オフによりまもなく電源が切れます。」と表示され、その5分後に自動で電源スタンバイになります。 お買い上げ時の設定は、[切]になっています。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[無操作電源オフ]の順に選ぶ。
明るさセンサー	周囲の明るさに合わせて、自動的に画面の明るさを調整します。画質モード(☞75ページ)と消費電力の設定により、効果が異なったり、効果が出にくい場合があります。お買い上げ時の設定は[切]になっています。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[明るさセンサー]の順に選ぶ。
バックライト	[バックライト]を低くすると消費電力を軽減できます。 ホームメニューから(設定)→(画質･映像設定)→[画質]→[バックライト]の順に選ぶ。
PCパワー マネジメント (HDMIケーブルでの接続は除く)	[PCパワーマネジメント]を[入]にしている場合、無信号を検出すると「PC入力信号がありません。」と表示され、その後約30秒間で自動的に電源スタンバイ(低消費電力モード)になります。信号が入力されたときに、自動で電源が入ります。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[PCパワーマネジメント]→[入]の順に選ぶ。

ご注意

明るさセンサー(☞170ページ)の前に物を置かないでください。自動明るさ調節機能が働かないことがあります。

ちょっと一言

消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは[消費電力]が[標準]に戻ります。

ブラビアリンクで使われている HDMI機器制御について

ブラビアリンクの使いかたについて詳しくは、☞別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」をご覧ください。

HDMI機器制御とは

HDMI機器制御は、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。ソニーのHDMI機器制御対応のテレビやハードディスク搭載ブルーレイディスクレコーダー、AVアンプなどをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI機器制御機能を使うには

- 対応機器それぞれで、正しい接続・設定をする。
- 本機と対応機器の主電源を切らない。
- 本機で、対応機器を接続したHDMI入力に切り換える。
- 本機で、対応機器の映像や音声が正常に出ることを確認する。

対応機器をつなぐ*

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはソニー製のHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。AVアンプとの接続には、HDMIケーブルの他に本機の光デジタル音声出力端子とAVアンプの間を光デジタル接続ケーブルで接続してください（☞28、30ページ）。

* HDMI機器制御機能は、ソニーのHDMI機器制御対応機器間のみで可能です。

HDMI機器制御の設定をする

HDMI機器制御を使うには、本機とつないだ機器側でそれぞれ設定が必要です。本機側の設定については、☞92ページをご覧ください。つないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
HDMI機器制御設定連動に対応しているソニー製機器をつないでいるときは、本機のHDMI機器制御設定を有効にすると、つないだ機器のHDMI機器制御設定も有効になります。

HDMI機器制御でできること（☞64ページ）

- つないだ機器の電源を本機と連動して切ることができる。
- つないだ機器で再生すれば、本機の電源も連動し入力も自動で切り換わる。
- 簡単な操作でAVアンプからの音声に切り換えられる。
- AVアンプの音量調節をしたり消音したりできる。
- ホームメニューでHDMI機器を選べば、選んだ機器の電源が自動で入る。
- 本機のマルチリモコンで他機器の基本的な操作ができる。
- つないだ機器の操作メニューを表示して、基本的な操作ができる。

ブラビアリンクに対応している機器

左のロゴが付いている機器で、ブラビアリンクを使えます。

対応機器リスト

対応機器について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

ブラビアリンクに対応していない機器

下記の機器では、ブラビアリンクは使えません。

- ブラビアリンクロゴが付いていない機器
- ソニー製　ハードディスク搭載DVDレコーダー「スゴ録」
- ソニー製　ブルーレイディスクレコーダー BDZ-V9/BDZ-V7
- ソニー製以外の機器（つないだときの動作は保証できません）

ご注意

AVアンプは、ホームメニューの⊡（外部入力）からは選べません。

ネットワーク機器について

DLNAについて

本機は、DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器（サーバー）に記録された、写真・音楽・映像を楽しめます。
操作のしかたについては☞109ページを、接続については☞100ページを、設定については☞102、103ページをご覧ください。

接続対象機器

- DLNAガイドライン対応のネットワーク機器
- ソニールームリンク機能に対応したネットワーク機器

2008年7月現在推奨機種

- ソニー製　ブルーレイディスクレコーダー
  BDZ-V9
  BDZ-L70*1
  BDZ-X90*1
  BDZ-A70*1

*1 AVCのフォーマットで録画されたものは、本機で再生できません。

- ソニー製　DVDレコーダー
  RDZ-D97A
  RDZ-D77A
- ソニー製　デジタルスチルカメラ
  DSC-G1
- ソニー製　HDDコンポ
  NAS-M95HD
  NAS-M75HD
  NAS-D55HD
- VAIO Media Ver. 5.0以降のプリインストールモデル
- VAIO Media plus Ver. 1.0以降*2

*2 レンダラー機能を楽しむためにはVAIO Media plus Ver. 1.1へのアップデートが必要です。

- ソニー製 ホームサーバー
  VGF-HS1シリーズ

本機とのDLNA接続に対応しているサーバーかどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

ネットワーク機器について

- ネットワーク機器の種類によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合もあります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク機器でファイアウォールが設定されている場合にはネットワーク機能が使えない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書をご覧のうえ、必要な設定変更をしてください。

再生対象ファイル形式について

ネットワーク機器から送られるファイル形式が下記に該当するファイルを再生できます。ネットワーク機器によっては、ファイル形式を変換して送ります。その場合、変換されたあとのファイル形式が対象となります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

- 静止画：JPEG形式
- 音楽：MP3形式／リニアPCM形式
- 映像：MPEG2形式／ DTCP-IPで著作権保護されたデジタル放送コンテンツ*

* DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

上記のファイル形式でも、一部再生できない場合があります。

その他

次のページにつづく⇨

ネットワーク録画予約について

本機とネットワーク録画予約に対応している機器をつなげば、本機からネットワークを通してつないだ機器への録画予約ができます。操作のしかたについては☞113ページをご覧ください。
ネットワーク録画に対応した録画機器について、詳しくは下記のホームページをご覧ください。
www.sony.co.jp/bravia/support/

レンダラー機能について

レンダラーとはネットワーク上の他の対応コントローラー機器からの操作により写真や音楽、映像を本機で再生して楽しむことができる機能です。
本機のレンダラー機能に対応しているコントローラーについては、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

インターネットブラウザについて

インターネットブラウザの利用、またはかかる機能(ソフトウェアを含む)の不具合、通信障害などに起因または付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

マルチリモコンについて

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、巻末にあるソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、巻末にあるソニーご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS1

この表示のある無線装置は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ただし、液晶パネルは2年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

巻末にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）にお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器（"メモリースティック"、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど）に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーご相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： KDL-40X1　KDL-46XR1
KDL-46X1　KDL-55XR1
KDL-52X1

型名について詳しくは、☞119ページをご覧ください。

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

お買い上げ店
TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

地域別チャンネル表

地上アナログ放送

かんたん初期設定(☞24ページ)の地上アナログ設定で、チャンネル自動登録として「オート」を選んだとき、リモコンの①～⑫/選局の数字ボタンに割り当てられる地上アナログの放送局は下記のとおりです。
引越しなどで最初からチャンネルを割り当て直したいときは、かんたん初期設定を行うか、メニュー(ホームメニュー)からチャンネルスキャンをやり直してください(☞88ページ)。

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
北海道	帯広	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	6	6	⑥
		STVテレビ	10	10	⑩
		HTBテレビ	34	34	①
		UHBテレビ	32	32	⑧
	釧路	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	41	41	⑧
	北見(網走)	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	1	1	①
		STVテレビ	5	5	⑤
		HTBテレビ	35	35	⑨
		UHBテレビ	27	27	⑦
	新北見	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	53	53	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	61	61	⑩
		UHBテレビ	59	59	⑧
	旭川	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	37	37	⑧
		TVHテレビ	33	33	④
	札幌	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	1	1	①
		STVテレビ	5	5	⑤
		HTBテレビ	35	35	⑩
		UHBテレビ	27	27	⑦
		TVHテレビ	17	17	④
	小樽	NHK総合	11	11	⑪
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	9	9	⑨
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	4	4	④
		UHBテレビ	26	26	⑥
		TVHテレビ	24	24	⑧
	函館	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		HBCテレビ	6	6	⑥
		STVテレビ	12	12	⑫
		HTBテレビ	35	35	③
		UHBテレビ	27	27	②
		TVHテレビ	21	21	①
	室蘭	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	37	37	⑧
		TVHテレビ	29	29	④
	苫小牧	NHK総合	51	51	③
		NHK教育	49	49	⑫
		HBCテレビ	55	55	①
		STVテレビ	57	57	⑤
		HTBテレビ	61	61	⑩
		UHBテレビ	53	53	⑦
		TVHテレビ	47	47	④

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
青森	青森	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		青森放送	1	1	①
		青森テレビ	38	38	⑫
		青森朝日放送	34	34	⑩
		HTBテレビ	35	35	⑪
		UHBテレビ	27	27	⑧
	八戸	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	7	7	⑦
		青森放送	11	11	⑪
		青森テレビ	33	33	⑫
		青森朝日放送	31	31	④
岩手	盛岡	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		IBCテレビ	6	6	⑥
		テレビ岩手	35	35	③
		めんこいテレビ	33	33	②
		岩手朝日テレビ	31	31	⑤
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑦
		東日本放送	32	32	⑩
宮城	仙台	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑩
		東日本放送	32	32	⑦
	石巻	NHK総合	51	3	③
		NHK教育	49	5	⑤
		東北放送	59	1	①
		仙台放送	57	12	⑫
		ミヤギテレビ	55	34	⑩
		東日本放送	61	32	⑦
秋田	秋田	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		秋田放送	11	11	⑪
		秋田テレビ	37	37	⑫
		秋田朝日放送	31	31	⑤
	大館	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		秋田放送	6	6	⑥
		秋田テレビ	57	57	⑫
		秋田朝日放送	59	59	⑤
		青森放送	1	1	①
山形	山形	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	4	4	④
		山形放送	10	10	⑩
		山形テレビ	38	38	⑫
		テレビユー山形	36	36	⑥
		さくらんぼテレビ	30	30	⑤
	鶴岡	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	6	6	⑥
		山形放送	1	1	①
		山形テレビ	39	39	⑫
		テレビユー山形	22	22	⑧
		さくらんぼテレビ	24	24	⑤

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
福島	福島･郡山	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		福島テレビ	11	11	⑪
		福島中央テレビ	33	33	⑥
		福島放送	35	35	⑩
		テレビユー福島	31	31	④
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑧
		東日本放送	32	32	⑦
	いわき平	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		福島テレビ	8	8	⑧
		福島中央テレビ	58	34	⑥
		福島放送	60	36	⑫
		テレビユー福島	62	32	②
	いわき勿来	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		福島テレビ	8	8	⑧
		福島中央テレビ	34	34	⑥
		福島放送	36	36	⑫
		テレビユー福島	32	32	②
	会津若松	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		福島テレビ	6	6	⑥
		福島中央テレビ	37	37	⑧
		福島放送	41	41	⑩
		テレビユー福島	47	47	④
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑨
		東日本放送	32	32	⑦
茨城	水戸	NHK総合	44	1	①
		NHK教育	46	3	③
		日本テレビ	42	4	④
		TBSテレビ	40	6	⑥
		フジテレビ	38	8	⑧
		テレビ朝日	36	10	⑩
		テレビ東京	32	12	⑫
		放送大学	16	16	⑤
	日立	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
栃木	宇都宮	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	41	10	⑩
		テレビ東京	44	12	⑫
		とちぎテレビ	31	31	⑤
	矢板	NHK総合	40	1	①
		NHK教育	30	3	③
		日本テレビ	36	4	④
		TBSテレビ	42	6	⑥
		フジテレビ	45	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		とちぎテレビ	33	33	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
群馬	前橋	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		群馬テレビ	48	48	⑤
		放送大学	40	16	⑦
	桐生	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	57	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	35	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		群馬テレビ	41	48	⑤
埼玉	さいたま	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		テレビ埼玉	38	38	⑦
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
		群馬テレビ	48	48	⑪
		千葉テレビ	46	46	⑨
	熊谷･児玉	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	35	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		テレビ埼玉	30	38	⑦
		放送大学	40	40	⑤
		群馬テレビ	48	48	⑪
千葉	千葉	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		千葉テレビ	46	46	⑨
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	東金	NHK総合	35	1	①
		NHK教育	38	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		千葉テレビ	31	46	⑪
	銚子	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		千葉テレビ	39	46	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
東京	東京	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		MXテレビ	14	14	②
		放送大学	16	16	⑤
		tvk	42	42	⑦
		千葉テレビ	46	46	⑨
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	八王子	NHK総合	33	1	①
		NHK教育	29	3	③
		日本テレビ	35	4	④
		TBSテレビ	37	6	⑥
		フジテレビ	31	8	⑧
		テレビ朝日	45	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		MXテレビ	40	14	⑤
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	多摩	NHK総合	49	1	①
		NHK教育	47	3	③
		日本テレビ	51	4	④
		TBSテレビ	53	6	⑥
		フジテレビ	55	8	⑧
		テレビ朝日	57	10	⑩
		テレビ東京	59	12	⑫
		MXテレビ	61	14	⑤
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
神奈川	横浜1（みなと）	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		tvk	48	42	⑦
	横浜2	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		tvk	42	42	⑦
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
	平塚	NHK総合	33	1	①
		NHK教育	29	3	③
		日本テレビ	35	4	④
		TBSテレビ	37	6	⑥
		フジテレビ	39	8	⑧
		テレビ朝日	41	10	⑩
		テレビ東京	43	12	⑫
		tvk	31	42	⑤
	小田原	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		tvk	46	42	⑤
	秦野	NHK総合	47	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	51	4	④
		TBSテレビ	53	6	⑥
		フジテレビ	55	8	⑧
		テレビ朝日	57	10	⑩
		テレビ東京	59	12	⑫
		tvk	61	42	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
山梨	甲府	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		山梨放送	5	5	⑤
		テレビ山梨	37	37	⑥
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑦
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
長野	長野1	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	9	⑨
		テレビ信州	40	40	⑥
		長野朝日	50	50	④
		信越放送	48	48	⑪
		長野放送	42	42	⑩
	長野2	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	9	9	⑨
		テレビ信州	30	30	⑥
		長野朝日	20	20	④
		信越放送	11	11	⑪
		長野放送	38	38	⑩
	飯田	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	3	3	③
		テレビ信州	42	42	⑨
		長野朝日	44	44	⑪
		信越放送	6	6	⑥
		長野放送	40	40	⑦
	松本	NHK総合	44	44	②
		NHK教育	46	46	⑨
		テレビ信州	48	48	③
		長野朝日	50	50	⑩
		信越放送	40	40	⑪
		長野放送	42	42	⑤
新潟	新潟	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		新潟放送	5	5	⑤
		新潟総合テレビ	35	35	⑩
		テレビ新潟	29	29	④
		新潟テレビ21	21	21	③
	上越	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	1	1	①
		新潟放送	10	10	⑩
		新潟総合テレビ	33	33	⑫
		テレビ新潟	27	27	⑧
		新潟テレビ21	37	37	⑥
富山	富山	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	10	10	⑩
		北日本放送	1	1	①
		富山テレビ	34	34	⑫
		チューリップテレビ	32	32	⑥
		北陸放送	6	6	②
		石川テレビ	37	37	④
	高岡	NHK総合	48	48	③
		NHK教育	46	46	⑩
		北日本放送	50	50	①
		富山テレビ	44	44	⑫
		チューリップテレビ	42	42	⑥
石川	金沢	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		テレビ金沢	33	33	⑩
		北陸朝日	25	25	⑦
		北陸放送	6	6	⑥
		石川テレビ	37	37	⑫
		北日本放送	1	1	①
		富山テレビ	34	34	③
福井	福井	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	3	3	③
		福井放送	11	11	⑪
		福井テレビ	39	39	⑫
		北陸放送	6	6	⑥

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
岐阜	岐阜	NHK総合	39	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑥
		岐阜テレビ	37	37	⑦
		テレビ愛知	25	25	④
		三重テレビ	33	33	⑧
	各務原	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		テレビ愛知	25	25	④
		中京テレビ	35	35	⑫
		岐阜テレビ	41	41	⑦
静岡	静岡	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		静岡放送	11	11	⑪
		テレビ静岡	35	35	⑫
		第一テレビ	31	31	④
		あさひテレビ	33	33	⑥
	浜松	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		静岡放送	6	6	⑥
		テレビ静岡	34	34	⑫
		第一テレビ	30	30	②
		あさひテレビ	28	28	⑩
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		テレビ愛知	25	25	⑦
	富士	NHK総合	52	52	⑨
		NHK教育	54	54	②
		静岡放送	41	41	⑪
		テレビ静岡	39	39	⑦
		第一テレビ	27	27	③
		あさひテレビ	29	29	⑤
	三島･沼津	NHK総合	53	53	⑨
		NHK教育	51	51	②
		静岡放送	55	55	⑪
		テレビ静岡	59	59	⑦
		第一テレビ	61	61	③
		あさひテレビ	57	57	⑤
	藤枝	NHK総合	42	42	⑨
		NHK教育	44	44	②
		静岡放送	40	40	⑪
		テレビ静岡	38	38	⑦
		第一テレビ	24	24	③
		あさひテレビ	26	26	⑤
	島田	NHK総合	56	56	⑨
		NHK教育	54	54	②
		静岡放送	62	62	⑪
		テレビ静岡	58	58	⑦
		第一テレビ	48	48	③
		あさひテレビ	50	50	⑤
愛知	名古屋	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑦
		テレビ愛知	25	25	⑫
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥
	豊橋	NHK総合	54	54	③
		NHK教育	50	50	⑨
		東海テレビ	56	56	①
		CBCテレビ	62	62	⑤
		メ～テレ	60	60	⑪
		中京テレビ	58	58	⑦
		テレビ愛知	52	52	④
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
愛知	豊田	NHK総合	53	53	③
		NHK教育	51	51	⑨
		東海テレビ	57	57	①
		CBCテレビ	55	55	⑤
		メ～テレ	61	61	⑪
		中京テレビ	59	59	⑦
		テレビ愛知	49	49	④
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥
三重	津	NHK総合	31	31	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑫
		三重テレビ	33	33	⑦
		テレビ愛知	25	25	②
	伊勢	NHK総合	53	31	③
		NHK教育	49	9	⑨
		東海テレビ	57	1	①
		CBCテレビ	55	5	⑤
		メ～テレ	61	11	⑪
		中京テレビ	47	35	⑦
		三重テレビ	59	33	④
		テレビ愛知	25	25	⑫
滋賀	大津	NHK総合	28	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	36	4	④
		ABCテレビ	38	6	⑥
		関西テレビ	40	8	⑧
		読売テレビ	42	10	⑩
		びわ湖放送	30	30	⑨
		KBS京都	34	34	⑦
	彦根	NHK総合	52	2	②
		NHK教育	50	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		びわ湖放送	56	56	⑨
京都	京都	NHK総合	32	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		KBS京都	34	34	⑦
		テレビ大阪	19	19	③
	山科	NHK総合	38	2	②
		NHK教育	50	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	56	6	⑥
		関西テレビ	58	8	⑧
		読売テレビ	60	10	⑩
		KBS京都	40	34	⑦
		テレビ大阪	19	19	③
大阪	大阪	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		テレビ大阪	19	19	③
		KBS京都	34	34	⑦
		サンテレビ	36	36	⑨
兵庫	神戸･芦屋	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		サンテレビ	36	36	③
		テレビ大阪	19	19	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
兵庫	姫路	NHK総合	50	2	②
		NHK教育	52	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		サンテレビ	56	3	③
	明石	NHK総合	51	2	②
		NHK教育	49	12	⑫
		毎日放送	53	4	④
		ABCテレビ	57	6	⑥
		関西テレビ	59	8	⑧
		読売テレビ	61	10	⑩
		サンテレビ	55	3	③
	川西	NHK総合	29	2	②
		NHK教育	31	12	⑫
		毎日放送	35	4	④
		ABCテレビ	37	6	⑥
		関西テレビ	39	8	⑧
		読売テレビ	41	10	⑩
		サンテレビ	33	3	③
	長田	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	38	4	④
		ABCテレビ	40	6	⑥
		関西テレビ	42	8	⑧
		読売テレビ	48	10	⑩
		サンテレビ	34	3	③
	三木	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	34	4	④
		ABCテレビ	38	6	⑥
		関西テレビ	40	8	⑧
		読売テレビ	42	10	⑩
		サンテレビ	55	3	③
奈良	奈良	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		奈良テレビ	55	55	⑤
		KBS京都	34	34	③
和歌山	和歌山	NHK総合	32	2	②
		NHK教育	25	12	⑫
		毎日放送	42	4	④
		ABCテレビ	44	6	⑥
		関西テレビ	46	8	⑧
		読売テレビ	48	10	⑩
		テレビ和歌山	30	30	⑤
	海南	NHK総合	50	2	②
		NHK教育	52	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		テレビ和歌山	56	56	⑤
鳥取	鳥取	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	4	4	④
		山陰中央テレビ	24	24	⑫
		山陰放送	22	22	⑩
		日本海テレビ	1	1	①
	米子	NHK総合･鳥取	32	32	⑤
		NHK総合･島根	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		山陰中央テレビ	34	34	③
		山陰放送	10	10	⑩
		日本海テレビ	30	30	①
島根	松江	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		山陰中央テレビ	34	34	③
		山陰放送	10	10	⑩
		日本海テレビ	30	30	①

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
島根	浜田	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	9	9	⑨
		山陰中央テレビ	58	58	⑧
		山陰放送	5	5	⑤
		日本海テレビ	54	54	③
岡山	岡山	NHK総合	5	5	⑤
		NHK教育	3	3	③
		西日本放送	9	9	⑨
		瀬戸内海放送	25	25	⑦
		山陽放送	11	11	⑪
		テレビせとうち	23	23	②
		岡山放送	35	35	①
広島	広島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	7	7	⑦
		中国放送	4	4	④
		広島テレビ	12	12	⑫
		広島ホームテレビ	35	35	②
		テレビ新広島	31	31	①
	福山	NHK総合	5	5	⑤
		NHK教育	3	3	③
		中国放送	7	7	⑦
		広島テレビ	11	11	⑪
		広島ホームテレビ	57	57	②
		テレビ新広島	54	54	①
	尾道	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	7	7	⑦
		中国放送	10	10	⑩
		広島テレビ	12	12	⑫
		広島ホームテレビ	24	24	⑤
		テレビ新広島	26	26	⑥
	呉	NHK総合	11	11	⑪
		NHK教育	1	1	①
		中国放送	9	9	⑨
		広島テレビ	5	5	⑤
		広島ホームテレビ	24	24	④
		テレビ新広島	26	26	⑥
山口	山口	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	1	1	①
		山口放送	11	11	⑪
		テレビ山口	38	38	⑦
		山口朝日放送	28	28	④
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	⑫
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩
		大分放送	5	5	⑤
	下関	NHK総合	39	39	⑨
		NHK教育	41	41	①
		山口放送	4	4	④
		テレビ山口	33	33	⑦
		山口朝日放送	21	21	⑤
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	⑪
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩
	宇部	NHK総合	58	6	⑨
		NHK教育	55	12	①
		山口放送	61	4	⑪
		テレビ山口	44	33	⑦
		山口朝日放送	24	21	⑤
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		テレビ西日本	10	10	⑩
	岩国	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	1	1	①
		山口放送	11	11	⑪
		テレビ山口	62	22	⑦
		山口朝日放送	28	28	⑤

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
徳島	徳島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		四国放送	1	1	①
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		テレビ大阪	19	19	②
		サンテレビ	36	36	⑦
		テレビ和歌山	55	55	⑤
香川	高松	NHK総合	37	37	⑤
		NHK教育	39	39	③
		西日本放送	41	9	⑨
		瀬戸内海放送	33	33	⑦
		山陽放送	29	29	⑪
		テレビせとうち	19	19	①
		岡山放送	31	31	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
	丸亀	NHK総合	44	44	⑤
		NHK教育	40	40	③
		西日本放送	50	50	⑨
		瀬戸内海放送	42	42	⑦
		山陽放送	48	48	⑪
		テレビせとうち	46	46	⑥
		岡山放送	52	52	⑫
愛媛	松山	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	2	2	②
		南海放送	10	10	⑩
		愛媛朝日テレビ	25	25	⑦
		あいテレビ	29	29	⑧
		テレビ愛媛	37	37	⑫
		西日本放送	9	9	⑨
		山陽放送	11	11	⑪
		テレビせとうち	23	23	①
		広島テレビ	12	12	③
		広島ホームテレビ	35	35	④
		テレビ新広島	31	31	⑤
	新居浜	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	4	4	④
		南海放送	6	6	⑥
		愛媛朝日テレビ	14	14	⑩
		あいテレビ	27	27	⑧
		テレビ愛媛	36	36	⑫
		西日本放送	9	9	⑨
		山陽放送	11	11	⑪
		テレビせとうち	23	23	①
		広島テレビ	12	12	③
		テレビ新広島	31	31	⑤
		瀬戸内海放送	33	33	⑦
高知	高知	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	6	6	⑥
		高知放送	8	8	⑧
		テレビ高知	38	38	⑩
		高知さんさんテレビ	40	40	⑪
福岡	福岡	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	6	6	⑥
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	④
		FBSテレビ	37	37	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑤
		テレビ西日本	9	9	⑨
	北九州	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	④
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
福岡	久留米	NHK総合	46	46	③
		NHK教育	54	54	⑥
		KBCテレビ	57	57	①
		RKBテレビ	48	48	④
		FBSテレビ	52	52	⑫
		TVQ九州放送	14	14	⑤
		テレビ西日本	60	60	⑨
		サガテレビ	36	36	②
	大牟田	NHK総合	53	53	③
		NHK教育	50	50	⑥
		KBCテレビ	58	58	①
		RKBテレビ	61	61	④
		FBSテレビ	43	43	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑤
		テレビ西日本	55	55	⑨
		サガテレビ	36	36	②
	行橋	NHK総合	49	49	⑥
		NHK教育	46	46	⑫
		KBCテレビ	57	57	②
		RKBテレビ	60	60	⑧
		FBSテレビ	43	43	④
		TVQ九州放送	19	19	③
		テレビ西日本	54	54	⑩
佐賀	佐賀	NHK総合	38	38	⑨
		NHK教育	40	40	②
		サガテレビ	36	36	④
		KBCテレビ	57	57	①
		RKBテレビ	48	48	⑧
		FBSテレビ	52	52	③
		TVQ九州放送	14	14	⑤
		テレビ西日本	60	60	⑩
		RKKテレビ	11	11	⑪
		テレビ熊本	34	34	⑥
		長崎放送	5	5	⑦
		テレビ長崎	37	37	⑫
長崎	長崎	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	1	1	①
		長崎放送	5	5	⑤
		テレビ長崎	37	37	⑪
		長崎文化放送	27	27	⑨
		長崎国際テレビ	25	25	⑦
		KBCテレビ	57	57	②
		RKBテレビ	4	4	④
		テレビ西日本	9	9	⑧
		RKKテレビ	11	11	⑩
		テレビ熊本	34	34	⑥
		KKTテレビ	22	22	⑫
	佐世保	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	2	2	②
		長崎放送	10	10	⑩
		テレビ長崎	35	35	④
		長崎文化放送	31	31	⑤
		長崎国際テレビ	17	17	⑨
熊本	熊本	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		RKKテレビ	11	11	⑪
		テレビ熊本	34	34	⑥
		KKTテレビ	22	22	④
		熊本朝日放送	16	16	③
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑩
		テレビ長崎	37	37	⑦
		サガテレビ	36	36	⑧
		長崎放送	5	5	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
大分	大分	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		大分放送	5	5	⑤
		テレビ大分	36	36	⑦
		大分朝日放送	24	24	⑨
		南海放送	10	10	⑥
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	④
		FBS放送	37	37	⑧
		TVQ九州放送	19	19	⑩
		テレビ西日本	9	9	⑪
宮崎	宮崎	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		宮崎放送	10	10	⑩
		テレビ宮崎	35	35	③
		南日本放送	1	1	①
		鹿児島テレビ	38	38	⑨
		鹿児島放送	32	32	⑦
	延岡	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	2	2	②
		宮崎放送	6	6	⑥
		テレビ宮崎	39	39	⑧
鹿児島	鹿児島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		南日本放送	1	1	①
		鹿児島テレビ	38	38	⑨
		鹿児島放送	32	32	⑦
		鹿児島読売テレビ	30	30	⑪
		テレビ熊本	34	34	②
		KKTテレビ	22	22	⑧
		熊本朝日放送	16	16	⑩
		宮崎放送	10	10	⑥
		テレビ宮崎	35	35	④
	阿久根	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		南日本放送	10	10	⑩
		鹿児島テレビ	35	35	⑥
		鹿児島放送	23	23	④
		鹿児島読売テレビ	17	17	①
		テレビ熊本	34	34	②
		KKTテレビ	22	22	⑦
		熊本朝日放送	16	16	⑨
		RKKテレビ	11	11	⑪
沖縄	那覇	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		琉球放送	10	10	⑩
		琉球朝日放送	28	28	①
		沖縄テレビ	8	8	⑧

次のページにつづく⇨

地上デジタル放送

リモコンの①～⑫選局の数字ボタンに割り当てられる地上デジタルの放送局は下記のとおりです（2008年9月現在は放送を開始していない放送局もあります）。
引越しや新しく放送局が開設されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、メニュー（ホームメニュー）からチャンネルスキャンをやり直してください（☞87ページ）。
また、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。このときは数字ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の番号として割り当てます。

都道府県	放送局名	リモコンボタン
北海道（帯広）	NHK総合・帯広	③
	NHK教育・帯広	②
	HBC帯広	①
	STV帯広	⑤
	HTB帯広	⑥
	UHB帯広	⑧
	TVH帯広	⑦
北海道（釧路）	NHK総合・釧路	③
	NHK教育・釧路	②
	HBC釧路	①
	STV釧路	⑤
	HTB釧路	⑥
	UHB釧路	⑧
	TVH釧路	⑦
北海道（北見）	NHK総合・北見	③
	NHK教育・北見	②
	HBC北見	①
	STV北見	⑤
	HTB北見	⑥
	UHB北見	⑧
	TVH北見	⑦
北海道（旭川）	NHK総合・旭川	③
	NHK教育・旭川	②
	HBC旭川	①
	STV旭川	⑤
	HTB旭川	⑥
	UHB旭川	⑧
	TVH旭川	⑦
北海道（札幌）	NHK総合・札幌	③
	NHK教育・札幌	②
	HBC札幌	①
	STV札幌	⑤
	HTB札幌	⑥
	UHB札幌	⑧
	TVH札幌	⑦
北海道（函館）	NHK総合・函館	③
	NHK教育・函館	②
	HBC函館	①
	STV函館	⑤
	HTB函館	⑥
	UHB函館	⑧
	TVH函館	⑦
北海道（室蘭）	NHK総合・室蘭	③
	NHK教育・室蘭	②
	HBC室蘭	①
	STV室蘭	⑤
	HTB室蘭	⑥
	UHB室蘭	⑧
	TVH室蘭	⑦

都道府県	放送局名	リモコンボタン
青森	NHK総合・青森	③
	NHK教育・青森	②
	RAB青森放送	①
	ATV青森テレビ	⑥
	青森朝日放送	⑤
岩手	NHK総合・盛岡	①
	NHK教育・盛岡	②
	IBCテレビ	⑥
	テレビ岩手	④
	めんこいテレビ	⑧
	岩手朝日テレビ	⑤
宮城	NHK総合・仙台	③
	NHK教育・仙台	②
	TBCテレビ	①
	仙台放送	⑧
	ミヤギテレビ	④
	KHB東日本放送	⑤
秋田	NHK総合・秋田	①
	NHK教育・秋田	②
	ABS秋田放送	④
	AKT秋田テレビ	⑧
	AAB秋田朝日放送	⑤
山形	NHK総合・山形	①
	NHK教育・山形	②
	YBC山形放送	④
	YTS山形テレビ	⑤
	テレビユー山形	⑥
	さくらんぼテレビ	⑧
福島	NHK総合・福島	①
	NHK教育・福島	②
	福島テレビ	⑧
	福島中央テレビ	④
	KFB福島放送	⑤
	テレビユー福島	⑥
茨城	NHK総合・水戸	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	放送大学	⑫
栃木	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	とちぎテレビ	③
	放送大学	⑫

都道府県	放送局名	リモコンボタン
群馬	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	群馬テレビ	③
	放送大学	⑫
埼玉	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	テレ玉	③
	放送大学	⑫
千葉	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	チバテレビ	③
	放送大学	⑫
東京	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	東京MXテレビ	⑨
	放送大学	⑫
神奈川	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	tvk	③
	放送大学	⑫
新潟	NHK総合・新潟	①
	NHK教育・新潟	②
	BSN	⑥
	NST	⑧
	TeNYテレビ新潟	④
	新潟テレビ21	⑤

都道府県	放送局名	リモコンボタン
富山	NHK総合·富山	③
	NHK教育·富山	②
	KNB北日本放送	①
	BBT富山テレビ	⑧
	チューリップテレビ	⑥
石川	NHK総合·金沢	①
	NHK教育·金沢	②
	テレビ金沢	④
	北陸朝日放送	⑤
	MRO	⑥
	石川テレビ	⑧
福井	NHK総合·福井	①
	NHK教育·福井	②
	FBCテレビ	⑦
	福井テレビ	⑧
山梨	NHK総合·甲府	①
	NHK教育·甲府	②
	YBS山梨放送	④
	UTY	⑥
長野	NHK総合·長野	①
	NHK教育·長野	②
	テレビ信州	④
	abn長野朝日放送	⑤
	SBC信越放送	⑥
	NBS長野放送	⑧
静岡	NHK総合·静岡	①
	NHK教育·静岡	②
	SBS	⑥
	テレビ静岡	⑧
	静岡第一テレビ	④
	静岡朝日テレビ	⑤
岐阜	NHK総合·岐阜	③
	NHK教育·名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	岐阜テレビ	⑧
愛知	NHK総合·名古屋	③
	NHK教育·名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	テレビ愛知	⑩
三重	NHK総合·津	③
	NHK教育·名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	三重テレビ	⑦
滋賀	NHK総合·大津	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	BBCびわ湖放送	③
京都	NHK総合·京都	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	KBS京都	⑤

都道府県	放送局名	リモコンボタン
大阪	NHK総合·大阪	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ大阪	⑦
兵庫	NHK総合·神戸	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	サンテレビ	③
奈良	NHK総合·奈良	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	奈良テレビ	⑨
和歌山	NHK総合·和歌山	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ和歌山	⑤
鳥取	NHK総合·鳥取	③
	NHK教育·鳥取	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
島根	NHK総合·松江	③
	NHK教育·松江	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
岡山	NHK総合·岡山	①
	NHK教育·岡山	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧
広島	NHK総合·広島	①
	NHK教育·広島	②
	RCCテレビ	③
	広島テレビ	④
	広島ホームテレビ	⑤
	TSS	⑧
山口	NHK総合·山口	①
	NHK教育·山口	②
	KRY山口放送	④
	ｔｙｓテレビ山口	③
	ｙａｂ山口朝日	⑤
徳島	NHK総合·徳島	③
	NHK教育·徳島	②
	四国放送	①
香川	NHK総合·高松	①
	NHK教育·高松	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧

都道府県	放送局名	リモコンボタン
愛媛	NHK総合·松山	①
	NHK教育·松山	②
	南海放送	④
	愛媛朝日	⑤
	あいテレビ	⑥
	テレビ愛媛	⑧
高知	NHK総合·高知	①
	NHK教育·高知	②
	高知放送	④
	テレビ高知	⑥
	さんさんテレビ	⑧
福岡	NHK総合·福岡 NHK総合·北九州	③
	NHK教育·福岡 NHK教育·北九州	②
	KBC九州朝日放送	①
	RKB毎日放送	④
	FBS福岡放送	⑤
	TVQ九州放送	⑦
	TNCテレビ西日本	⑧
佐賀	NHK総合·佐賀	①
	NHK教育·佐賀	②
	STSサガテレビ	③
長崎	NHK総合·長崎	①
	NHK教育·長崎	②
	NBC長崎放送	③
	KTNテレビ長崎	⑧
	NCC長崎文化放送	⑤
	NIB長崎国際テレビ	④
熊本	NHK総合·熊本	①
	NHK教育·熊本	②
	RKK熊本放送	③
	TKUテレビ熊本	⑧
	KKTくまもと県民	④
	KAB熊本朝日放送	⑤
大分	NHK総合·大分	①
	NHK教育·大分	②
	OBS大分放送	③
	TOSテレビ大分	④
	OAB大分朝日放送	⑤
宮崎	NHK総合·宮崎	①
	NHK教育·宮崎	②
	MRT宮崎放送	⑥
	UMKテレビ宮崎	③
鹿児島	NHK総合·鹿児島	③
	NHK教育·鹿児島	②
	MBC南日本放送	①
	KTS鹿児島テレビ	⑧
	KKB鹿児島放送	⑤
	KYT鹿児島読売TV	④
沖縄	NHK総合·那覇	①
	NHK教育·那覇	②
	RBCテレビ	③
	QAB琉球朝日放送	⑤
	沖縄テレビ（OTV）	⑧

別売りアクセサリーを取り付ける［壁掛け・スタンド］

テレビスタンドSU-FL350MまたはSU-FL350Lを使用されるかたは、テレビスタンドに付属の赤色印刷の型紙を使って取り付けてください。
フロアスタンドSU-FL71シリーズを使用されるかたは、フロアスタンドに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機は別売りアクセサリーの壁掛けユニットSU-WL500を使用して、壁に取り付けることができます。
テレビの機種名を確認して、指定された壁掛けユニットを使用してください。また、必ず壁掛けユニットの取扱説明書もご覧になり、確実に行ってください。

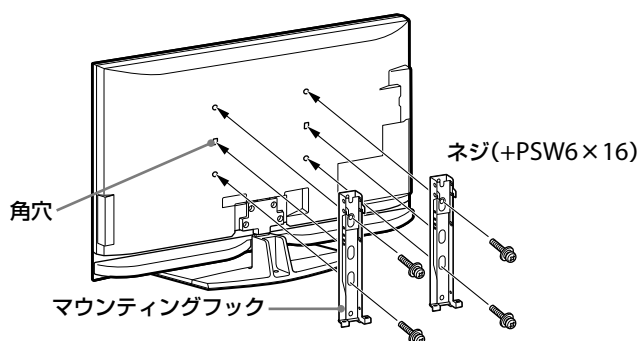
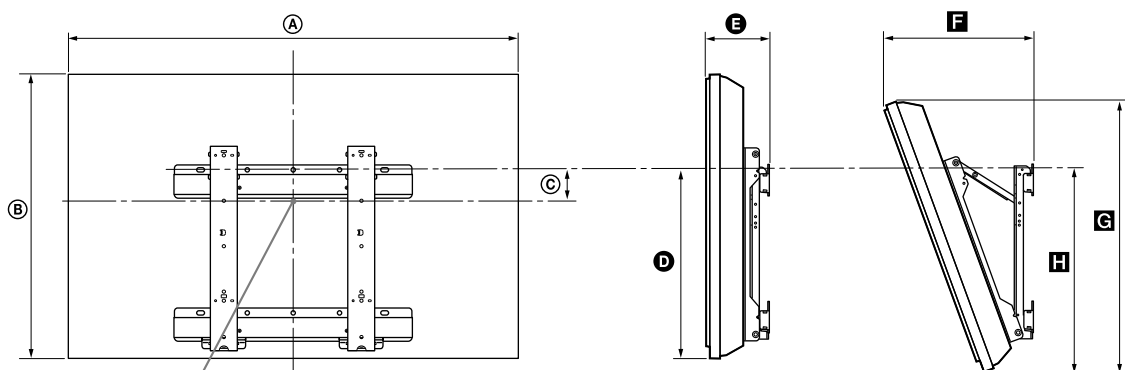
壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。
専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットSU-WL500を使用するかたへ

下記もご覧ください。

- 壁掛けユニットの取扱説明書
- 「スタンドの付けかた／はずしかた」（☞13ページ）
- 「テレビ取り付け寸法表」（☞153ページ）
- 「ネジ・フック位置一覧表」（☞153ページ）

テレビ本体を付属のテーブルトップスタンドの上に設置し、マウンティングフックを取り付けてください。

テレビ取り付け寸法表

テレビを取り付けたときの画面の中心位置

⚠警告
取り付ける壁にはテレビ質量の4倍に耐えられる強度を要します。
テレビの質量は「主な仕様」(☞155、157ページ)をご覧ください。

単位：mm

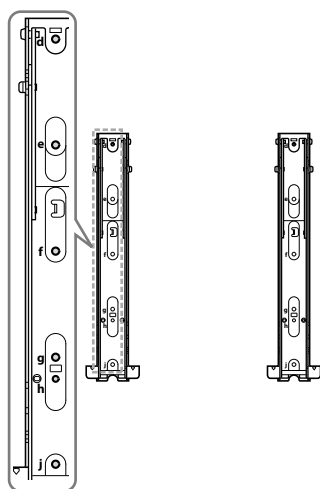
テレビ型名	テレビ寸法		画面中心寸法	取り付け角度による長さ				
				角度0°		角度20°		
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	F	G	H
KDL-55XR1	1486	803	25	429	207	454	766	484
KDL-46XR1	1259	685	84	429	204	411	656	483
KDL-52X1	1257	831	39	493	187	420	788	532
KDL-46X1	1089	723	87	488	164	363	683	520
KDL-40X1	953	645	126	488	163	335	610	519

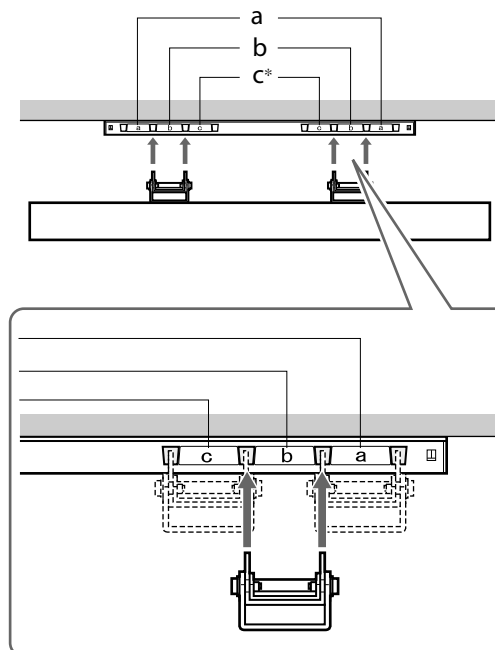
取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。

ネジ・フック位置一覧表

テレビ型名	ネジ位置	フック位置
KDL-55XR1	d、g	a
KDL-46XR1/ KDL-52X1/ KDL-46X1/KDL-40X1		b

ネジ位置

マウンティングフックをテレビに取り付ける場合

フック位置

テレビをベースブラケットに取り付ける場合

＊ 上記のテレビ型名表に記載されているモデルでは、cのフック位置は使用しません。

その他

主な仕様

テレビ型番(KDL-)		40X1	46X1	52X1
システム	受信方式	NTSC方式、地上デジタル放送方式、BSデジタル放送方式、110度CSデジタル放送方式		
	受信チャンネル	VHF 1 ～ 12チャンネル、UHF 13 ～ 62チャンネル、CATV(ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要)、 地上アナログ:C13 ～ C63、地上デジタル･BSデジタル･110度CSデジタル(テレビ･ラジオ･独立データ)の各チャンネル		
	BSデジタル･110度CSデジタル対応周波数	1022 ～ 2072MHz		
	BSデジタル･110度CSデジタル対応ローカル周波数	10.678GHz		
	使用スピーカー	フルレンジ 3×10cm楕円型(2) ツイーター 3cm円型(2) ウーファー 5×10cm楕円型(1)		フルレンジ 3×10cm楕円型(2) ツイーター 3cm円型(2) ウーファー 5.5×12cm楕円型(1)
	音声出力	フルレンジ 実用最大出力:9W+9W、負荷インピーダンス:8Ω ウーファー 実用最大出力:12W、負荷インピーダンス:6Ω		
入出力端子	アンテナ端子	VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター(コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側+、オート/入/切、メニュー切り換え)		
	ビデオ1 ～ 3入力端子	S2映像:4ピンミニDIN　Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負　C:0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω 映像:ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声:ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上		
	コンポーネント1、2入力端子	D5映像:D端子　Y:1Vp-p(0.3V負同期付き)　PB/PR、CB/CR:±350mVp-p、入力インピーダンス 75Ω 音声:ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上		
	HDMI1 ～ 4入力端子	映像:デジタルRGB/Y CB(PB) CR(PR) 音声:PCM(32kHz、44.1kHz、48kHz)、ドルビーデジタル (アナログ)音声(HDMI1入力のみ):ビデオ3音声入力端子を兼用		
	デジタル放送/ビデオ出力端子	S2映像:4ピンミニDIN　Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負　C:0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω 映像:ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声:ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 4.7kΩ以下 テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力 −12dB時の数値です。		
	音声出力(可変/固定)端子	2ch出力、ピンジャック、最大出力レベル 2.0Vrms、出力インピーダンス 5kΩ		
	ヘッドホン端子	ステレオミニジャック、負荷インピーダンス 16Ω以上		
	光デジタル音声出力端子	角型端子、AAC/AC3/PCM対応		
	電話回線端子	モジュラージャック、直流抵抗値 295Ω		
	LAN(10/100)端子	10BASE-T/100BASE-TXコネクター(ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。 本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)		
	AVマウス端子	ミニジャック		
	PC入力端子	RGB映像:Mini D-Sub15ピン　RGB信号:0.7Vp-p、75Ω同期信号:TTLレベル、2.2kΩ 音声:ステレオミニジャック、500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上		
	USB端子	Hi-Speed USB		

テレビ型番（KDL-）		40X1	46X1	52X1
電源部、その他	モデム通信速度	2400bps		
	使用温度	0℃～40℃		
	消費電力	235W	280W	310W
	消費電力（待機時）	0.13W（リモコン待機時ただし、データ取得時を除く） 13W（緊急警報放送待機中）		
	年間消費電力量	217kWh ／年（スタンダード時）	251kWh ／年（スタンダード時）	256kWh ／年（スタンダード時）
	区分名	BJJ		
	受信機型サイズ	40V	46V	52V
	パネル解像度	1920×1080×3（RGB）（ドット：水平×垂直）		
	有効画面サイズ（幅・高さ・対角）	88.6・49.8・101.6cm	101.8・57.3・116.8cm	115.2・64.8・132.2cm
	視野角	178度（JEITA規格準拠コントラスト比10:1）		
	最大外形寸法（最大突起部分を除く）（幅×高さ×奥行き）	95.3×64.5×10.3cm 95.3×68.4×27.9cm（スタンド含む）	108.9×72.3×10.4cm 108.9×76.5×30.7cm（スタンド含む）	125.7×83.1×12.7cm 125.7×87.4×34.6cm（スタンド含む）
	質量	22.0kg 25.5kg（スタンド含む）	25.0kg 29.5kg（スタンド含む）	36.5kg 43.5kg（スタンド含む）
	電源	AC100V、50/60Hz		
	付属品	「付属品を確かめる」（☞10ページ）をご覧ください。		

次のページにつづく⇨

テレビ型番（KDL-）		46XR1	55XR1
システム	受信方式	NTSC方式、地上デジタル放送方式、BSデジタル放送方式、110度CSデジタル放送方式	
	受信チャンネル	VHF 1 ～ 12チャンネル、UHF 13 ～ 62チャンネル、CATV（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）、 地上アナログ：C13 ～ C63、地上デジタル･BSデジタル･110度CSデジタル（テレビ･ラジオ･独立データ）の各チャンネル	
	BSデジタル･110度CSデジタル対応周波数	1022 ～ 2072MHz	
	BSデジタル･110度CSデジタル対応ローカル周波数	10.678GHz	
	使用スピーカー	フルレンジ 2×14cm楕円型（4） ウーファー 5×10cm楕円型（2）	フルレンジ 3×12cm楕円型（4） ツイーター 3cm円型（2） ウーファー 5×10cm楕円型（2）
	音声出力	フルレンジ 実用最大出力：10W＋10W、負荷インピーダンス：8Ω ウーファー 実用最大出力：12W＋12W、負荷インピーダンス：6Ω	
入出力端子	アンテナ端子	VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート／入／切、メニュー切り換え）	
	ビデオ1 ～ 3入力端子	S2映像：4ピンミニDIN　Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負　C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上	
	コンポーネント1、2入力端子	D5映像：D端子　Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）　P_B/P_R、C_B/C_R：±350mVp-p、入力インピーダンス 75Ω 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上	
	HDMI1 ～ 4入力端子	映像：デジタルRGB/Y C_B（P_B） C_R（P_R） 音声：PCM（32kHz、44.1kHz、48kHz）、ドルビーデジタル （アナログ）音声（HDMI1入力のみ）：ビデオ3音声入力端子を兼用	
	デジタル放送／ビデオ出力端子	S2映像：4ピンミニDIN　Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負　C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 4.7kΩ以下 テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力 －12dB時の数値です。	
	音声出力（可変／固定）端子	2ch出力、ピンジャック、最大出力レベル 2.0Vrms、出力インピーダンス 5kΩ	
	ヘッドホン端子	ステレオミニジャック、負荷インピーダンス 16Ω以上	
	光デジタル音声出力端子	角型端子、AAC/AC3/PCM対応	
	電話回線端子	モジュラージャック、直流抵抗値 295Ω	
	LAN（10/100）端子	10BASE-T/100BASE-TXコネクター（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。 本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）	
	AVマウス端子	ミニジャック	
	PC入力端子	RGB映像：Mini D-Sub15ピン　RGB信号：0.7Vp-p、75Ω同期信号：TTLレベル、2.2kΩ 音声：ステレオミニジャック、500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上	
	USB端子	Hi-Speed USB	

テレビ型番（KDL-）		46XR1	55XR1
電源部、その他	モデム通信速度	2400bps	
	使用温度	0℃～40℃	
	消費電力	350W	480W
	消費電力（待機時）	0.25W（リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く） 13W（緊急警報放送待機中）	0.27W（リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く） 13W（緊急警報放送待機中）
	受信機型サイズ	46V	55V
	パネル解像度	1920×1080×3（RGB）（ドット：水平×垂直）	
	有効画面サイズ（幅・高さ・対角）	101.8・57.3・116.8cm	121.0・68.0・138.8cm
	視野角	178度（JEITA規格準拠コントラスト比10:1）	
	最大外形寸法（最大突起部分を除く）（幅×高さ×奥行き）	125.9×68.5×14.4cm 125.9×73.7×31.5cm（スタンド含む）	148.6×80.3×14.7cm 148.6×85.5×35.6cm（スタンド含む）
	質量	33.5kg 38.5kg（スタンド含む）	47.5kg 54.0kg（スタンド含む）
	電源	AC100V、50/60Hz	
	付属品	「付属品を確かめる」（☞10ページ）をご覧ください。	

次のページにつづく⇨

PC入力対応信号表

解像度	水平[pixel]／垂直[line]	水平周波数[kHz]／垂直周波数[Hz]	VESA規格
VGA	720/400	31.5/70	–
	640/480	**31.5/60**	–
	640/480	37.5/75	○
SVGA	**800/600**	**37.9/60**	○
	800/600	46.9/75	○
XGA	**1024/768**	**48.4/60**	○
	1024/768	56.5/70	○
	1024/768	60.0/75	○
WXGA	**1280/768**	**47.4/60**	○
	1280/768	**47.8/60**	○
	1280/768	60.3/75	○
	1360/768	**47.7/60**	○
SXGA	**1280/1024**	**64.0/60**	○
	1280/1024	80.0/75	○
HDTV	1920/1080	67.5/60	–

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。
- ご使用のパソコンによっては、1920 pixel×1080 line/60 Hz出力が選べないものがあります。また、1920 pixel×1080 line/60Hz出力が選べる場合でも、本機で動作確認されている1920 pixel×1080 line/60Hzとは異なる信号が出力されるものがあります。これらの場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

D端子について

デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i(480i)	525本	480本
525p(480p)	525本	480本
1125i(1080i)	1125本	1080本
750p(720p)	750本	720本
1125p(1080p)	1125本	1080本

iはインターレース:飛び越し走査、pはプログレッシブ:順次走査の略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p	1125p
D1端子	○	×	×	×	×
D2端子	○	○	×	×	×
D3端子	○	○	○	×	×
D4端子	○	○	○	○	×
D5端子	○	○	○	○	○

別売りアクセサリー

2008年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビスタンド　SU-FL350L（KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-52X1/KDL-46XR1のみ）
SU-FL350M（KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-46XR1のみ）
フロアスタンド　SU-FL71L
SU-FL71M（KDL-40X1/KDL-46X1のみ）
壁掛けユニット　SU-WL500
接続ケーブルなど　VM-50（AVマウス）
衛星アンテナなど

区分名と年間消費電力量について

- 区分名
  「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称を言います。
- 年間消費電力量
  省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- "XMB"、および"クロスメディアバー"は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- "FACE DETECTION"のロゴはソニー株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- AdobeはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機は電気通信事業法の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	認証番号
KDL-40X1	A08-0167005
KDL-46X1	A08-0168005
KDL-52X1	A08-0169005
KDL-46XR1	A08-0168005
KDL-55XR1	A08-0169005

- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

その他

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

この度は弊社製品（以下「本製品」）をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェアに関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書及び本冊子の次のページ以降に記載されております各「お知らせ」をご確認ください。

なお、下記のソフトウェア使用許諾契約書と、各「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬などがある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先致します。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「使用者」とします）と弊社（以下「ソニー」とします）との間における許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条（総則）
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条（使用権）
1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 前項に定める使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、使用者は許諾ソフトウェアを営利目的に用いてはならないものとします。

第3条（許諾条件）
1. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部又は全部を複製、複写若しくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアを日本国外に輸出又は移送してはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアを使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
7. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書及び本契約文書を含みます）を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェア及び前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することができるものとします。尚、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー及びソニーが許諾ソフトウェアに含まれるソフトウェアの使用、再許諾を許諾された原権利者（以下「原権利者」といいます）に帰属するものとし、使用者は、許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（無保証）
許諾ソフトウェアの使用は、使用者の責任で行っていただくものとします。許諾ソフトウェアは現状有姿でソニーから使用者に対して提供されるものとし、ソニー及び原権利者は使用者に対して、エラー・バグ等の不具合がないこと、中断なく稼動すること、有用であること、使用者のご利用目的に合致していること等を含め、許諾ソフトウェアに関し明示であると黙示であるとを問わず何らの保証も行わないものとします。

第6条（ソニー及び原権利者の免責）
許諾ソフトウェア（全ての構成部分、媒体、電子文書、マニュアルなどの関連書類を含みます）に関連して使用者又は第三者に生じた損害に対して、ソニー及び原権利者が負うべき責任の範囲は、許諾ソフトウェアの使用権取得に際して使用者が負担された金額を超えないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第7条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じた場合、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第8条（許諾ソフトウェアのアップデート）
使用者は、許諾ソフトウェアの機能の向上、エラーの修正等の目的のため、ソニー、原権利者、放送事業者又はそれらが委託した第三者が、インターネット、放送、外部機器等を利用して、許諾ソフトウェアを適宜アップデートすること、及びアップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約の各条件が適用されることに同意するものとします。

第9条（契約解除）
1. ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由が生じた場合、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
   (1) 本契約に定める条項に違反したとき
   (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき
2. 本契約解除後といえども、第1条、第4条乃至第7条、第10条および第11条の規定は、有効に存続するものとします。

第10条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は、直ちに許諾ソフトウェアの使用を中止し、許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、ソニーに対して返還するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェアを廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第11条（その他）
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約の準拠法は、日本国の法律とします。
3. 本契約に定めなき事項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー及び使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

以　上

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel
busybox
glibc
pump-autoip
libjs

これらのソースコードは、Web でご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURL にアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

次のページにつづく⇨

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
    a) The modified work must itself be a software library.
    b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
    c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
    d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

    (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

    These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

次のページにつづく⇨

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

BSDに関するお知らせ

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

以　上

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。

以上

FreeType2に関するお知らせ

This software is based in part of the work of the FreeType Team.

以上

モリサワフォントに関するお知らせ

本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

以上

OpenSSL ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL(「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む)」が搭載されております。当該 ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

= OpenSSL License =
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

= Original SSLeay License =
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word "cryptographic" can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

以　上

Expatに関するお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

以上

CURLに関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2006, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

以上

SEEに関するお知らせ

Copyright (c) 2003, 2004
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Mr Leonard nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID LEONARD AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID LEONARD OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

\- -

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

以上

AGGに関するお知らせ

The Anti-Grain Geometry Project
A high quality rendering engine for C++
http://antigrain.com

Anti-Grain Geometry - Version 2.3
Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.
This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

以上

libpixmanに関するお知らせ

libpixregion

Copyright 1987, 1998 The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

Copyright 1987 by Digital Equipment Corporation, Maynard, Massachusetts.

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Digital not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

DIGITAL DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL DIGITAL BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

\- -

libic

Copyright © 2001 Keith Packard

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

KEITH PACKARD DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL KEITH PACKARD BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

\- -

slim

slim is Copyright © 2003 Richard Henderson

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Richard Henderson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Richard Henderson makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

RICHARD HENDERSON DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL RICHARD HENDERSON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

以上

giflibに関するお知らせ

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

以上

使用上のご注意

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたってメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。消去方法について詳しくは、97ページをご覧ください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

液晶画面、外装のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 画面や外装の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。外装の汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラぶきしてください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

廃棄するときのご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

愛情点検

安全点検チェックリスト

安全点検項目

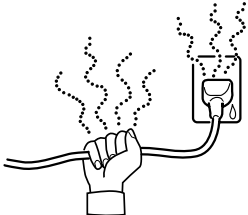
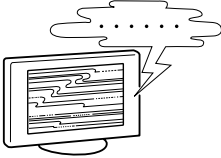
設置場所と設置方法

❶	布やテーブルクロスなどで**通風孔をふさいで**いませんか
❷	**水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に置いていませんか
❸	**不安定な場所**に置いたり、**不安定な置きかた**をしていませんか

電源コードとプラグ

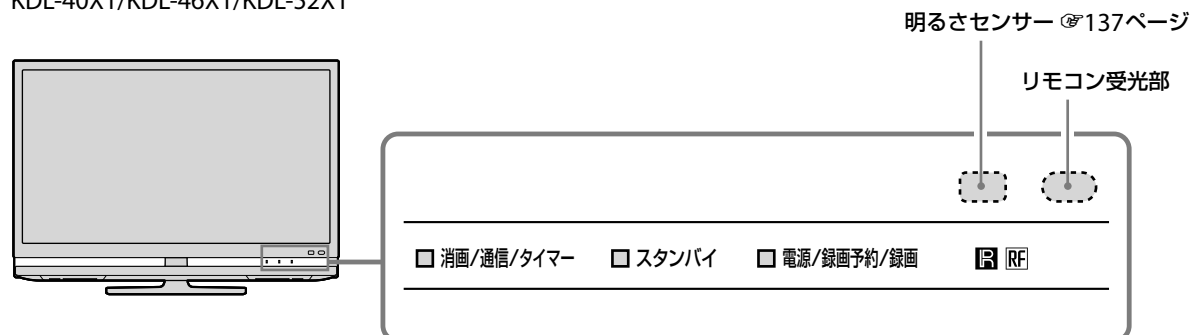
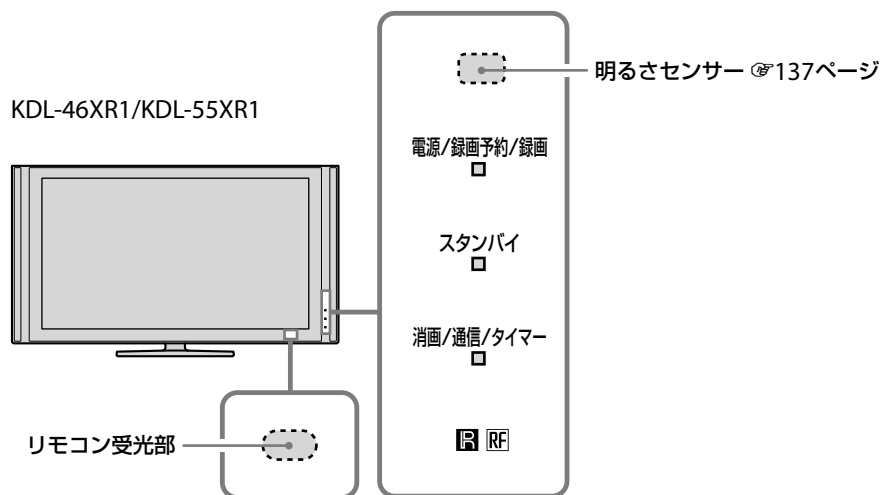
❹	電源コードが**物(椅子、机、台など)の下敷き**になっていませんか
❺	**たこ足配線**をしていませんか
1	電源コードを動かしたとき、**電源が入ったり切れたり**しませんか
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、キズがついたり**していませんか
3	電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか

液晶テレビ本体

4	**異常な熱や煙**が発生したり**変な臭いや音**(パチパチ)がしませんか
5	電源を入れても**画像や音が出ない**ことがありませんか
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか
7	**通風孔から水や異物**(紙･虫･クリップ･ピンなど)が入った形跡がありませんか
8	**故障状態のまま**使用していませんか

	点検結果 年／月 ○良い ×悪い					処置手順
❸						×印の項目があるとき ↓ **そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。** 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
3						
						1つでも×印があるとき ↓ **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** ↓ お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。
6						

各部の名前

本機前面のランプ

KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-52X1

KDL-46XR1/KDL-55XR1

ご注意

リモコン受光部、明るさセンサーの前には物を置かないでください。

その他

ランプの点灯・点滅について

イラストはKDL-40X1です。

主電源「切」のとき

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源スタンバイ中／ PCパワーマネジメント中(☞96ページ)

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

スタンバイ：赤点灯

電源を入れたとき(☞23ページ)

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

消画/通信/タイマー：赤点灯　スタンバイ：赤点灯　電源/録画予約/録画：赤点灯

電源が入っているとき

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源/録画予約/録画：緑点灯

消画中(☞96ページ)

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

消画/通信/タイマー：緑点灯　電源/録画予約/録画：緑点灯

通信中(☞101ページ)

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

消画/通信/タイマー：オレンジ点滅　電源/録画予約/録画：緑点灯

衛星アンテナ電源のショートなど(☞129ページ)

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源/録画予約/録画：緑点滅

自己診断表示(☞119ページ)

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

スタンバイ：赤点滅

主電源「切」以外のときは、上記に加えて、次のランプも点灯します。

スリープタイマー／オンタイマー作動中(☞74ページ)

ただし、消画中は緑色に点灯します。

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

消画/通信/タイマー：オレンジ点灯

録画予約待機中

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源/録画予約/録画：オレンジ点灯

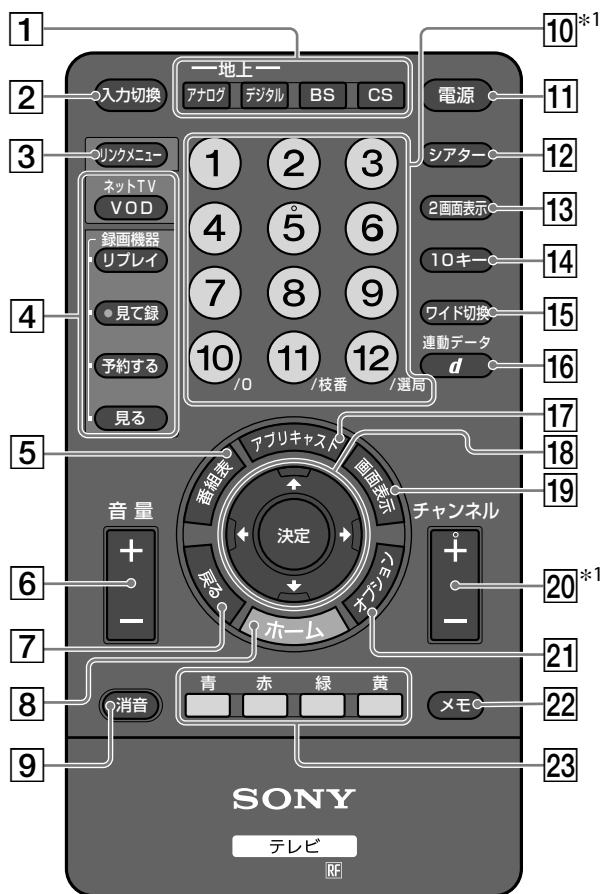
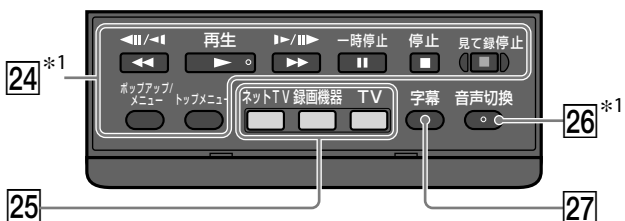
予約した録画の実行中(☞116ページ)

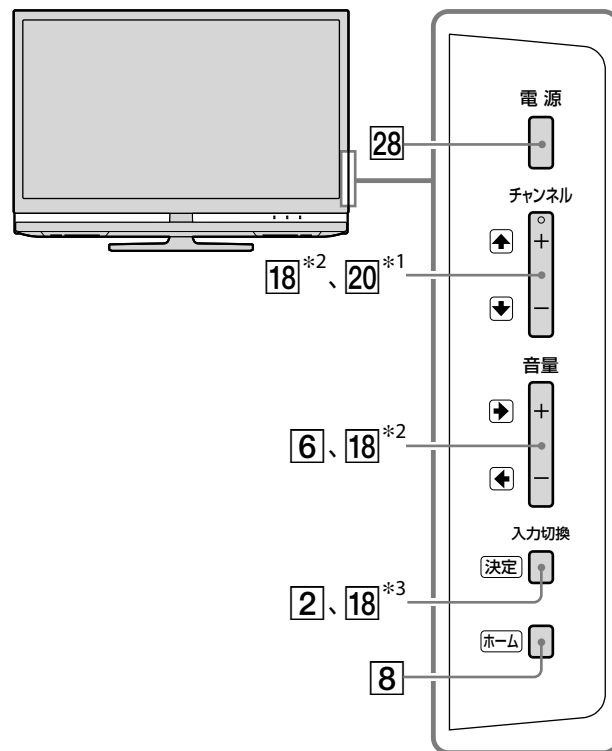
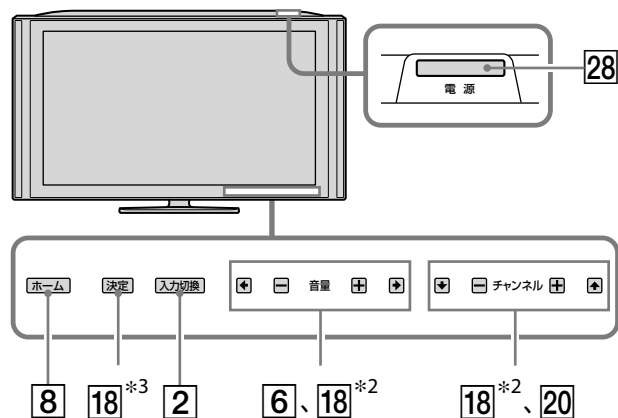
消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源/録画予約/録画：赤点灯

次のページにつづく⇨

リモコンと本体のボタン

マルチリモコン

ふたの中

本体

KDL-40X1/KDL-46X1/KDL-52X1

KDL-46XR1/KDL-55XR1

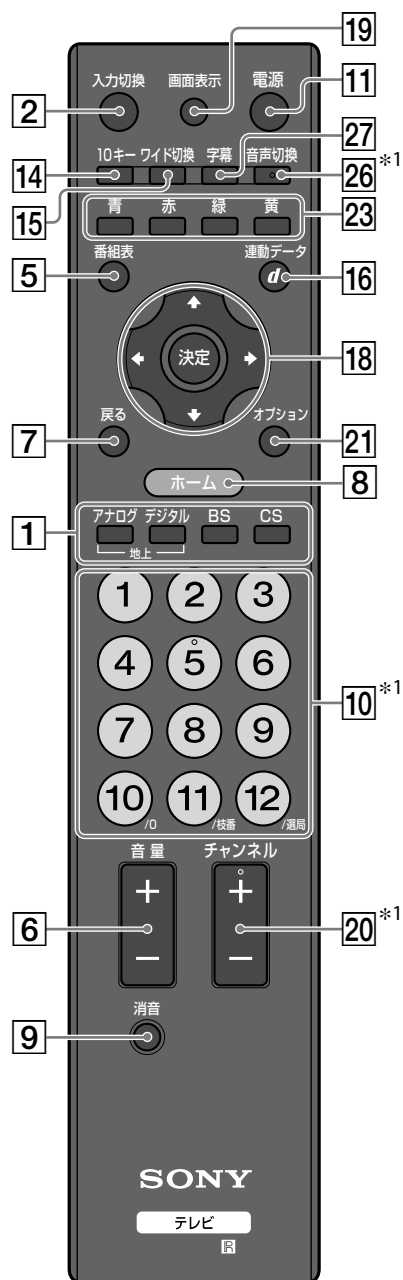
タッチセンサーについて

KDL-46XR1/KDL-55XR1本体のボタンはタッチセンサーになっていますので、1度触れるとボタン名称が点灯します。その後、ボタン操作を行ってください。

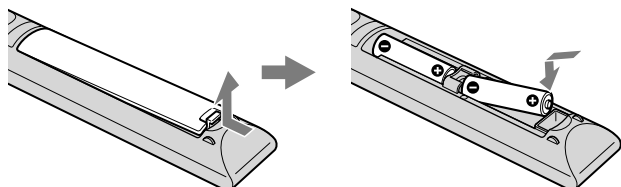
＊1 の付いたボタン（チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、再生ボタン、数字ボタンの「5」）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

＊2 ホームメニュー表示中は↑↓←→として働きます。

＊3 ホームメニュー表示中のみ、決定ボタンとして働きます。

TVリモコン

TVリモコンに電池を入れるには

つまみを押しながら、ふたを上げてください。

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

1 放送切換用ボタン(地上アナログ、地上デジタル、BS、CS)(☞43ページ)

2 入力切換(☞59ページ)

3 リンクメニュー(☞62ページ)

HDMI入力につないだHDMI機器を選び、機器の操作メニューを表示します。

4 他機器操作用ボタン(☞62ページ)

5 番組表(☞51ページ)

6 音量+／−

音量を調節します。

7 戻る

1つ前の画面に戻ります。

8 ホーム(☞38ページ)

9 消音

消音になります。電源スタンバイ時に押すと、最小の音量で電源が入ります。音量+ボタンを押すと、音声が出ます。

10 数字

チャンネルを切り換えたり(☞43ページ)、数字を入力します。

11 電源スイッチ

電源を入／スタンバイします。

12 シアター

シアターモードになります。映画の視聴に適した映像に自動で設定します。HDMIケーブルでAVアンプとつないでいれば、スピーカー出力も自動で切り換わります(☞65ページ)。
もとの設定に戻すには、もう一度ボタンを押してください。

ご注意

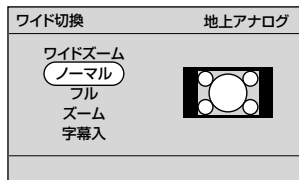
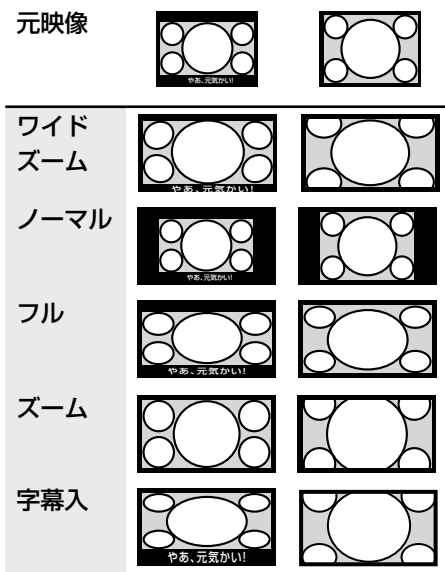
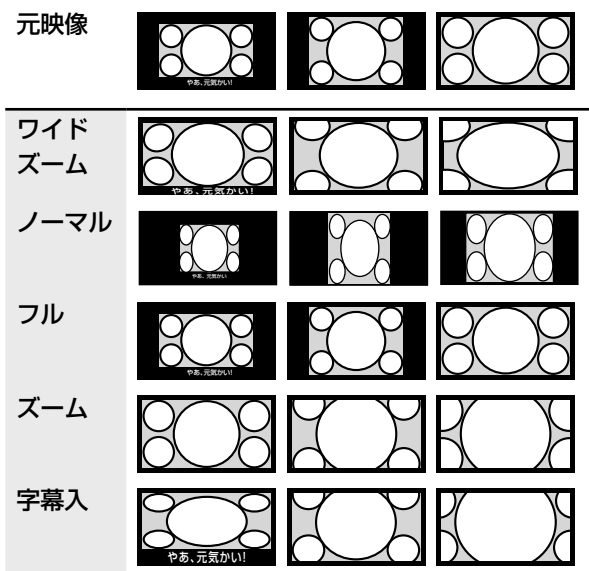
電源を切ると設定が「切」に戻ります。

13 2画面表示(☞49ページ)

14 10キー(☞43ページ)

次のページにつづく⇨

⑮ ワイド切換

押すと、下記の画面が表示されます。
↑↓で選んで、決定を押してください。

標準テレビ信号の4:3映像

デジタルハイビジョン信号の16:9映像

⑯ 連動データ*d*(☞45ページ)

⑰ アプリキャスト(☞105ページ)

⑱ ↑↓←→決定

↑↓←→でホームメニューなどの項目を選んだり、カーソルの移動をします。
決定で選んだ項目を決定します。

⑲ 画面表示

チャンネルや番組情報、時計などの表示/非表示を切り換えます。

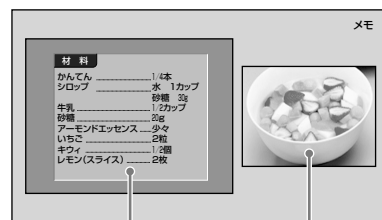
ご注意

[表示設定]で[時計表示]を[入]に設定しているときは、時計を非表示にできません。

⑳ チャンネル+/−(☞43ページ)

㉑ オプション(☞38ページ)

㉒ メモ

視聴中に押すと、メモ画面表示になり、もう一度押すと、1画面表示に戻ります。

メモ画面(静止画)　放送中の映像

ご注意

- 番組によっては、メモ画面を表示したあとでメモボタンを押さなくても、自動で放送中の映像(動画)が閉じることがあります。
- ラジオ放送と独立データ放送およびPC入力のときはメモボタンは働きません。

㉓ カラーボタン(青、赤、緑、黄)(☞45、46ページ)

㉔ 他機器操作用ボタン(☞62ページ)

㉕ 機器選択ボタン(☞62ページ)

その他

26 音声切換

副音声や第2音声(デジタル放送のみ)があるときに切り換えます。

ちょっと一言

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

27 字幕

字幕の入/切や言語を切り換えます。

ちょっと一言

- 字幕放送の取得には、時間がかかることがあります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、[第1言語]または[第2言語]、[切]に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

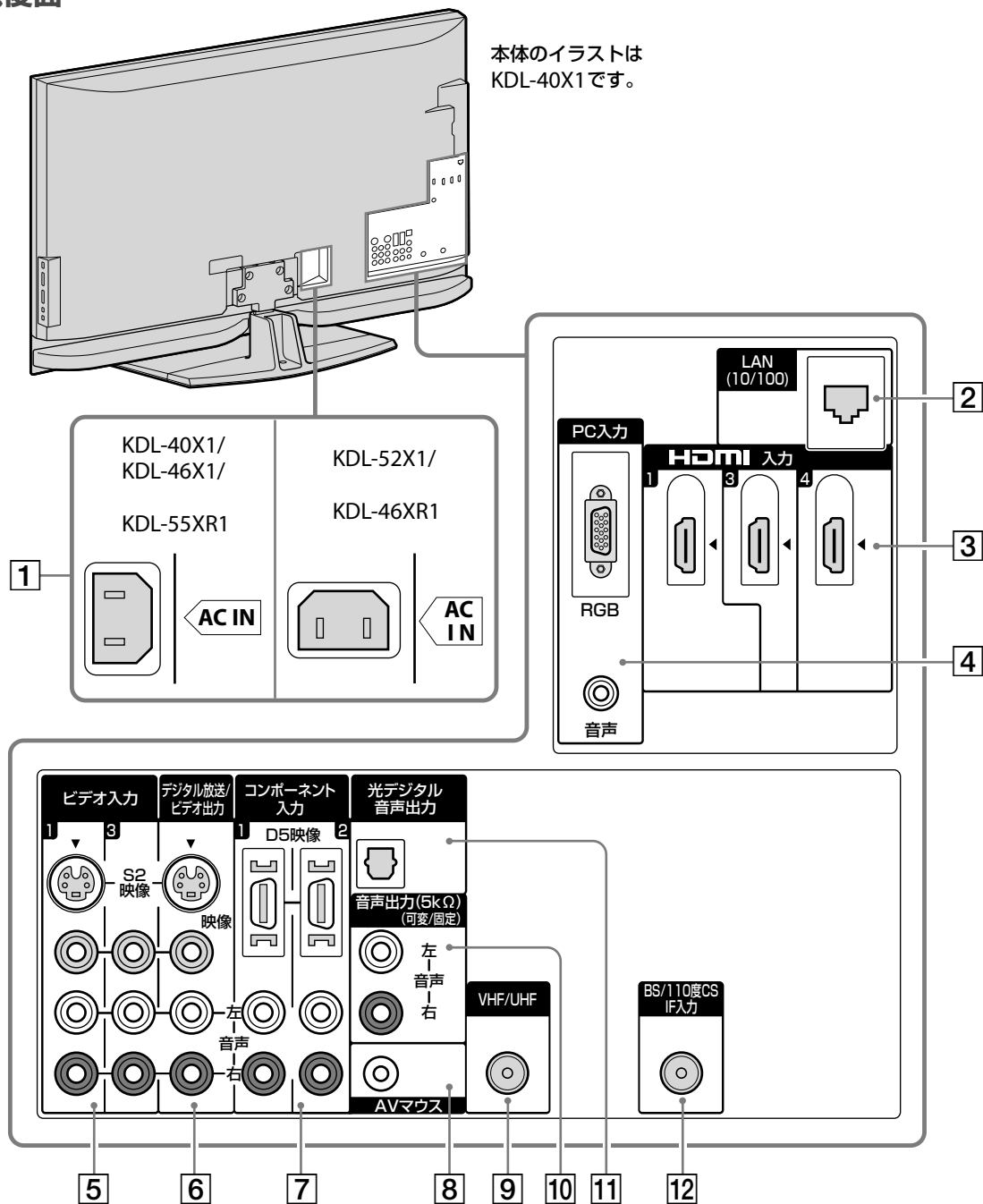
28 電源スイッチ

主電源を入/切します。

その他

次のページにつづく⇨

接続端子

本機後面

1 電源AC100V入力端子(☞22ページ)

付属の電源コードをつなぎます。

2 LAN(10/100)端子(☞100ページ)

別売りのLANケーブルを使って、モデムやルーターにつなぎます。

3 HDMI1、3、4入力端子（☞28ページ）

DVDプレーヤーやAVアンプ、パソコンのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像・音声信号を入力します。
対応している映像信号：525i（480i）、525p（480p）、750p（720p）、1125i（1080i）、1125p（1080p）、1125（1080）/24p
対応している音声信号：リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz、ドルビーデジタル

アナログ音声入力端子
HDMI1入力のアナログ音声は、ビデオ3入力の音声入力端子と兼用しています。DVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子につなぎます。

ご注意
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、ビデオ3入力の音声入力端子に音声ケーブルを接続してください。［オートインプットスキップ設定］でビデオ3入力の［スキップ設定］が［自動］に設定されていて、ビデオ3入力の映像端子にケーブルが接続されていない場合のみ、DVI端子搭載機器の音声が出力されます。
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルをご使用ください。
- HDMIおよびDVI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 1125（1080）/24pが入力されているときに、2画面にして左画面に表示すると、右画面の映像がちらついて見えることがあります。

4 PC入力端子（RGB ／音声）（☞31、158ページ）

RGB入力端子
別売りのMini D-Sub15 - Mini D-Sub15ディスプレイケーブル（アナログRGB）を使って、パソコンのD-SUB出力端子につなぎます。Macintoshコンピューターにつなぐときは、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。

音声入力端子
別売りの音声ケーブル（ステレオミニプラグ：抵抗なし）を使って、パソコンの音声出力端子につなぎます。

5 ビデオ1、3入力端子（S2映像／映像／音声）（ビデオID-1システム）（☞28ページ）

録画機器やレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの再生機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。
ビデオ3入力の音声入力端子は、HDMI1入力の音声入力端子を兼用しています。

6 デジタル放送／ビデオ出力端子（S2映像／映像／音声）（☞27ページ）

録画機器のビデオ入力端子につなぎます。
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル、ビデオ1 ～ 3入力*の信号が出力されます。
デジタル放送の録画実行中は映像・音声が固定されます。

＊ ビデオ1入力の信号については、［ビデオ1出力の設定］を［ビデオ1出力あり］に設定してください（☞92ページ）。
ホームメニューから（設定）→（外部入出力設定）→［ビデオ1出力の設定］→［ビデオ1出力あり］の順に選ぶ。

ご注意
- コンポーネント入力端子、HDMI入力端子、PC入力端子につないだ機器の映像・音声信号は出力されません。
- S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ1入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。

7 コンポーネント1、2入力端子（D5映像／音声）（☞28、158ページ）

D5映像入力端子
デジタルCSチューナーや録画機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子
デジタルCSチューナーや録画機器などの音声出力端子につなぎます。

8 AVマウス端子（☞27ページ）

別売りのAVマウスをつなぎます。

9 VHF/UHFアンテナ入力端子（☞18ページ）

VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

10 音声出力（5kΩ）（可変／固定）端子（左／右）（☞30ページ）

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。
録画予約の設定（☞91ページ）に関係なく、選んでいるチャンネルや入力の音声が出力されます。

11 光デジタル音声出力端子（☞30ページ）

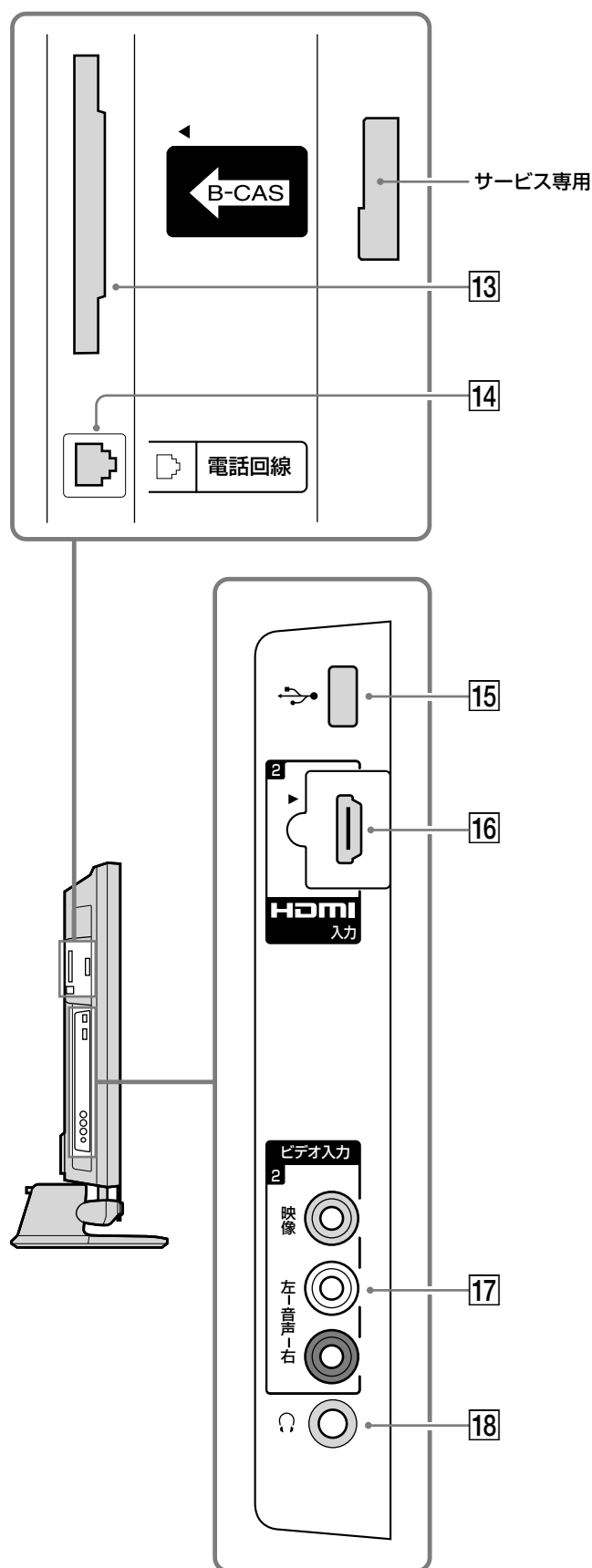
AVアンプやホームシアター機器などの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。
また、地上アナログやアナログ録画機器などからのアナログ音声などはPCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。
Super Audio CDやDVD-Audioを再生する場合、本機と再生する機器をHDMIケーブルでつないでいるときは、本機の光デジタル音声出力端子からは、音声は出力されない場合があります。

12 BS/110度CS IF入力端子（☞18ページ）

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

ご注意
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

次のページにつづく⇨

本機左側面

13 B-CASカード挿入口（☞16ページ）

付属のB-CASカードを挿入します。

14 電話回線端子（☞99ページ）

市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話回線コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。ADSL回線をお使いのときは、スプリッターと市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使ってつなぎます。

15 (USB)端子（☞32ページ）

デジタルカメラなどUSB端子のある機器につなぎます。

16 HDMI2入力端子

DVDプレーヤーやAVアンプ、パソコンのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像･音声信号を入力します。

対応している映像信号: 525i（480i）、525p（480p）、750p（720p）、1125i（1080i）、1125p（1080p）、1125（1080）/24p

対応している音声信号: リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz、ドルビーデジタル

ご注意

- DVI端子搭載機器と接続する場合は、HDMI1入力に接続し、ビデオ3入力の音声入力端子に音声ケーブルを接続してください。
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルをご使用ください。
- HDMIおよびDVI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 1125（1080）/24pが入力されているときに、2画面にして左画面に表示すると、右画面の映像がちらついて見えることがあります。

17 ビデオ2入力端子（映像／音声）（ビデオID-1システム）

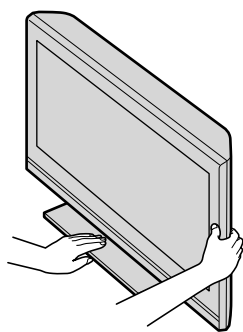
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

18 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

見やすい角度に調節する［スイーベル］

ご注意

- 本体とスタンドの間に手や指をはさまないように動かしてください。調節するときは、壁などにぶつからないようにしてください。
- 調節するときに、液晶画面には触れないでください。
- 本機画面の向きを左右に調節したときに、スタンドの角がテレビ台などからはみ出すと落下やけがの恐れがあります。はみ出さないようにスタンドの位置を調節してください。

角度を調節するときは、スタンド部分がずれたり、浮いたりしないように手で支えてください。

本機画面の向きを左右に調節する（スイーベル）

上から見た図

前側

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

その他

た行

な行

次のページにつづく⇨

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

ソニーご相談窓口のご案内

ソニー製品の使い方相談、修理相談、お買い物相談については下記の窓口またはお買い上げの販売店をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「故障とお考えになる前に」または「故障かな？」などを一度ご覧になり故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①**型名**　②**お買い上げ日**　③**故障症状**を具体的にご連絡ください。

【ソニー製品の使い方・修理・お買い物に関するお問い合わせ】

ホームページ　　製品のサポート情報やお問い合わせについてご覧いただけます。

サポート・お問い合わせ　**http://www.sony.jp/support/**

お電話

使い方相談窓口	修理相談窓口	買い物相談窓口
フリーダイヤル：0120−333−020 携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466−31−2511	フリーダイヤル：0120−222−330 携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466−31−2531 ※取扱説明書、リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	フリーダイヤル：0120−777−886 携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466−31−2546

受付時間　月〜金：9:00〜20:00　土・日・祝：9:00〜17:00
FAX（共通）　0120−333−389

【 Customer Information Center Japan 】
FreeDial 0120-000-488
The number you can call from your cellular phone or PHS or IP phone is following : 0466-31-2561
Business hours : Mon.- Fri. 9:00-20:00　Sat. Sun. & Public holidays 9:00-17:00

【ソニーお客様ご相談カウンター】

ソニー製品の基本的な使い方について、サポートをさせていただく「総合相談窓口」です。
詳細はホームページhttp://www.sony.jp/support/counter/にてご確認ください。
修理に関しては修理相談窓口（フリーダイヤル 0120-222-330）へご相談ください。

名　称	所　在　地
お客様ご相談カウンター銀座	〒104-0061　東京都中央区銀座5-3-1　ソニービル6Ｆ
お客様ご相談カウンター名古屋	〒460-0008　愛知県名古屋市中区栄1-23-10　SFI名古屋ビル1F
お客様ご相談カウンター梅田	〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT4F　ソニースタイル大阪 内
お客様ご相談カウンター福岡	〒810-0072　福岡県福岡市中央区長浜1-4-13　SFI福岡ビル1F

【出張修理受付窓口】

大型テレビなどの一部製品につきましては、出張修理を受け付けております。
出張修理は、「修理相談窓口」（フリーダイヤル 0120-222-330）へご相談ください。

【持込修理受付窓口】

お買い上げの販売店以外でも、「ソニーサービスステーション」と「ソニー修理受付認定店」で、持込修理の受け付けや付属品・部品のお取り寄せを承っております。
「ソニー修理受付認定店」につきましては、「修理相談窓口」（フリーダイヤル0120-222-330）へお問い合わせいただくか、ホームページhttp://www.sony.jp/support/でもご案内しておりますのでご利用ください。

ソニーサービスステーション一覧

（2009年4月現在）

名　称	電話番号	所　在　地
サービスステーション札幌	011-862-4486	〒003-0027 北海道札幌市白石区本通21丁目北1-14
サービスステーション仙台中央	022-292-1631	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-30 SFI仙台ビル1F
サービスステーション新潟	025-274-9178	〒950-0867 新潟県新潟市東区竹尾卸新町752-11
サービスステーション大宮	048-653-6900	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-210 SFI大宮ビル1F
サービスステーション品川	03-6748-3990	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 1F
サービスステーション秋葉原	03-5818-0521	〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2 秋葉原新高第一生命ビル1F
サービスステーション横浜	045-231-6968	〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町5-137 SFI横浜ビル1F
お客様ご相談カウンター名古屋	052-205-6860	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-23-10 SFI名古屋ビル1F
サービスステーション静岡	054-282-6874	〒422-8052 静岡県静岡市駿河区緑が丘町1-20
サービスステーション日本橋	06-6643-1501	〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1-13-17 ﾅﾝﾊﾞ辻本ﾆｯｾｲﾋﾞﾙ1F
サービスステーション京都	075-661-5040	〒601-8121 京都府京都市南区上鳥羽大物町8 SFI京都ビル1F
サービスステーション広島	082-545-4611	〒730-0811 広島県広島市中区中島町2-21 SFI広島ビル1F
お客様ご相談カウンター福岡	092-781-6682	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-4-13 SFI福岡ビル1F
サービスステーション那覇	098-877-0323	〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-17-15

●記載内容は予告なく変更になることがありますので、予めご了承ください。

「接続ガイド」ホームページ

本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。

http://www.sony.co.jp/im/

「Q&A」ホームページ

お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。

http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

本機を壁にかけて使用する場合の設置方法はこの取扱説明書に記載されています。別冊の取扱説明書「本機を壁にかけて使う」は付属していません。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「200」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389 **受付時間** 月〜金：9:00〜20:00 土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

Printed in Japan